

高齢者介護に関する調査

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
在宅介護実態調査
法人調査

調査結果報告書

令和8年3月
津島市

目次

1 調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査設計	1
(3) 回収結果	2
(4) 報告書の見方	2
2 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査	3
(1) 対象者の属性	3
調査票の記入者	3
性別	3
年齢	3
居住地域	4
要介護認定等の状況	4
(2) あなたのご家族や生活状況について	5
家族構成	5
主となって介護・援助する人の居住地	5
自身の介護・介助の必要性	6
現在の暮らしの経済的状況	6
住居形態	7
親や配偶者への介護の有無	7
就労状態	8
仕事を引退した年齢	9
(3) からだを動かすことについて	9
歩行や階段など	9
転倒の状況	10
転倒に対する不安	10
外出頻度	10
外出頻度の変化	11
外出を控えているか	11
外出を控えている理由	12
外出の際の移動手段	14
おでかけタクシーの認知度	15
外出に関する課題	16
(4) 食べることについて	18
BMI 値	18
固いものの食べにくさ	18
歯の状態	18
誰かと食事をする機会	19
(5) 毎日の生活について	19
物忘れ等の状況	19
普段の生活状況(IADL)	20

趣味の有無	21
生きがいの有無	21
パソコン・スマートフォンなどの利用状況	22
(6) 地域での活動について	23
会・グループ等への参加状況	23
会・グループ等に参加していない理由	24
地域づくり活動への参加意向	25
現在の生活に対する意向	26
(7) たすけあいについて	27
心配事や愚痴を聞いてくれる人・聞いてあげる人	27
看病や世話をしてくれる人	28
家族や友人以外の相談相手	29
友人・知人と話す機会	29
ボランティア活動への参加について	30
参加したいボランティア活動の内容	31
(8) 健康について	33
自身の健康状態	33
3年前と比べた健康状態	34
現在の幸福度	34
心の状態	35
喫煙の状況	35
耳の聞こえについて	35
現在治療中、または後遺症のある病気	36
(9) 地域の社会資源について	37
市の住みやすさに対する満足度	37
かかりつけ医の有無	37
地域包括支援センターの認知度	38
気軽に外出できる自宅近くの場所の有無	38
住民が主体となって運営する場への参加意向	39
住民が主体となって運営する場でやりたいこと	40
教室や講座に関する情報の入手方法	41
(10) 今後の介護・高齢者施策について	42
自身が受けたい介護	42
介護保険料と介護サービスのあり方についての考え方	43
市に望む介護体制の充実	44
最期を迎えたい場所	45
人生会議の実施状況	46
家族における認知症の症状の有無	46
認知症の相談窓口について	47
介護・高齢者福祉に対する意見・要望	48

3 在宅介護実態調査	53
(1) 対象者の属性	53
調査票の記入者	53
本人の性別	53
本人の年齢	53
本人の居住地区	54
本人の要介護度	54
本人の認知症高齢者自立度	54
(2) あなたのことについて	55
世帯類型	55
住居形態	55
主となって介護や援助をしてくれる人の居住地	56
介護が必要になった主な原因	57
(3) 必要な介護やサービスの利用などについて	58
介護保険サービスの利用状況	58
介護保険サービス を利用していない理由	59
自身が受けたい介護	60
施設等に入所・入院したい理由	61
施設等への入所・入居の検討状況	62
介護保険サービス等以外のサービスの利用状況	63
人生会議の実施状況	65
生きがいや楽しみについて	66
家族や親族の方からの介護の頻度	68
(4) 主な介護者の方について《介護者への質問》	69
主な介護者の続柄	69
主な介護者の性別	69
主な介護者の年齢	70
現在行っている介護	71
不安に感じる介護	73
介護を断念し、入所を検討する理由	76
津島市の認知症施策の認知度	77
介護について相談できる人の有無	78
主な介護者の健康状態	78
介護に関して知りたいこと	79
(5) 主な介護者の方の就労について《介護者への質問》	80
主な介護者の勤務形態	80
働き方の調整状況	81
仕事と介護の両立について、今後の見込み	82
介護を理由とした家族等の離職の有無	83
自宅で暮らし続けるために必要な支援	84
介護・高齢者福祉に対する意見・要望	86

4 法人調査	89
(1) サービス整備・提供の意向等について	89
サービス提供の状況	89
今後のサービス提供の予定	90
(2) 人材確保・育成について	91
人材マネジメント上の問題	91
人材の確保・定着・育成に関する考えや取組	92
多様な人材の受入れについて	93
人材育成等に取り組む際の課題	94
(3) 事業所運営について	95
居宅介護サービス計画作成時の問題点	95
介護予防サービス計画を担当することについて	95
ケアマネジャーの質の確保等のために重視していること	96
業務効率化に向けての取組み	97
(4) 地域連携・市の施策について	98
生活支援コーディネーター(社協)への相談	98
海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター(あまさぼ)の知名度	98
海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター(あまさぼ)に期待すること	99
多職種連携について	99
認知症に関する取組について	100
第10期計画期間で充実すべき内容	101
介護・高齢者福祉に対する意見・要望	102
5 調査結果のまとめ	103
(1) 在宅生活の継続	103
○介護に対する意識	103
○介護者の状況	103
○在宅生活の継続にむけて必要な支援	103
(2) 社会参加・介護予防	104
○外出・心身の状況	104
○活動への参加意向	104
(3) 認知症	105
○要介護認定者の状況	105
○相談・介護	105
○認知症施策	105

1 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、「津島市第10期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定にあたっての基礎資料として、また、今後の高齢者の福祉行政の基礎資料として、介護保険サービスの利用状況・利用意向や高齢者の生活実態、福祉をはじめとする各種事業の利用意向、意見・要望等を把握する目的で実施した。

(2) 調査設計

調査設計は以下のとおりである。

【介護予防・日常生活圏域ニーズ調査】

調査地域	津島市全域
調査対象	津島市に居住する65歳以上の者のうち、要介護認定を受けていない者、要支援1・2と認定された者及び事業対象者
サンプル数	1,500人
抽出方法	無作為抽出
調査方法	郵送配布・郵送回収
調査時期	令和7年11～12月

【在宅介護実態調査】

調査地域	津島市全域
調査対象	津島市に居住する65歳以上の者のうち、要介護認定を受けている者
サンプル数	855人
抽出方法	全数
調査方法	郵送配布・郵送回収
調査時期	令和7年11～12月

【法人調査】

調査地域	津島市全域
調査対象	津島市内にある介護保険事業所を有する法人
サンプル数	46法人
抽出方法	全数
調査方法	郵送配布・郵送回収
調査時期	令和7年11～12月

(3) 回収結果

回収結果は下表のとおりである。

	配布数	回収数	有効	無効
介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査	1,500 100.0%	975 65.0%	972 64.8%	3 0.2%
在宅介護実態調査	855 100.0%	443 51.8%	427 49.9%	16 1.9%
法人調査	46 100.0%	29 63.0%	29 63.0%	0 0.0%

※白紙票は無効とした。

(4) 報告書の見方

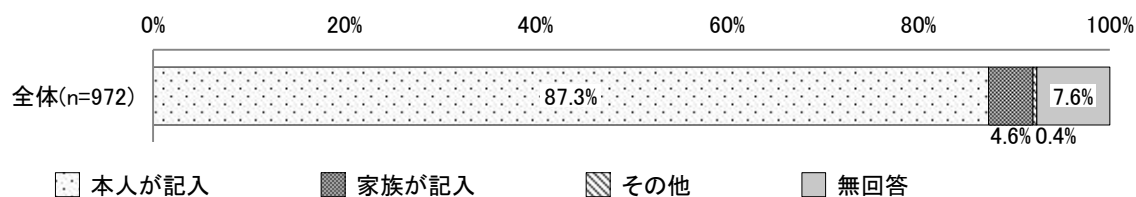
- ・ 比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。そのためパーセントの合計が100にならないことがある。複数項目の回答割合を合算した値についてコメントしている場合も、同様の理由により、掲載しているグラフ・表の当該数値を合算したものと一致しないことがある。
- ・ 基数となるべき実数は、件数として掲載している。したがって比率は、件数(「n」で示す)を100%として算出している。
- ・ 複数回答が可能な質問の場合は、その項目を選んだ人が、回答者全体のうち何%なのかという見方をしている。そのため、各項目の比率の合計は通常100%を超えている。
- ・ クロス集計表においては、各分類の合計が「全体」の件数と合わない場合がある。
- ・ 性別、年齢、居住地などの属性は、回答者ごとに付与したIDによって、住民基本台帳の属性データと紐づけて集計している。これらの項目の「無回答」は調査票に付与したIDが破棄されているなど、属性データと紐づけができなかったものが該当する。
- ・ 本報告書中の表、グラフ等の見出しでの回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合がある。

2 介護予防・日常生活圏域二エズ調査

(1) 対象者の属性

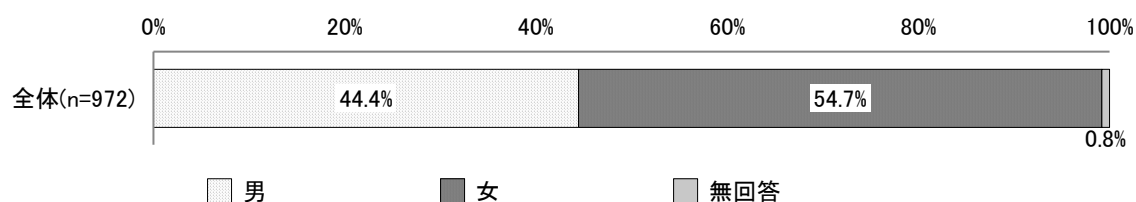
調査票の記入者

「本人が記入」が87.3%でもっとも割合が高く、次いで「家族が記入」が4.6%、「その他」が0.4%となっている。



性別

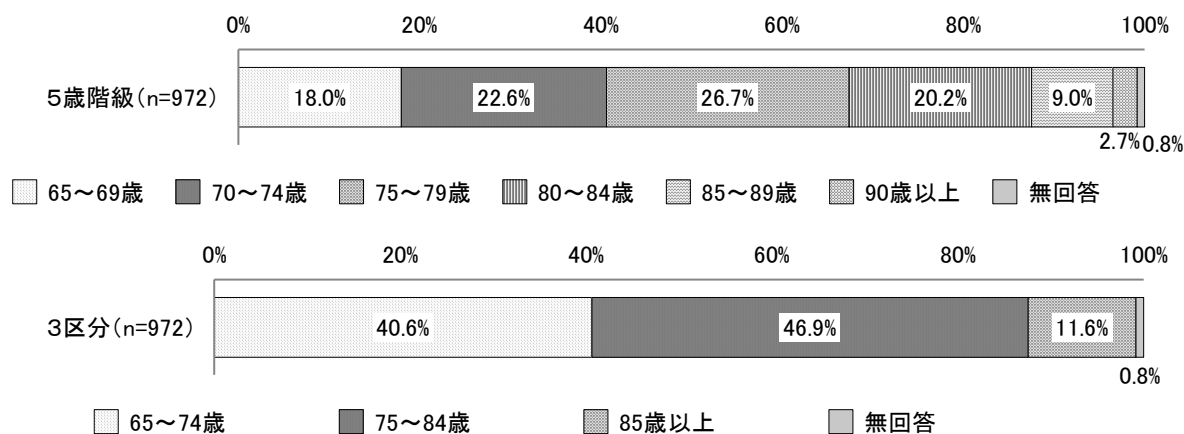
「男」が44.4%、「女」が54.7%となっている。



年齢

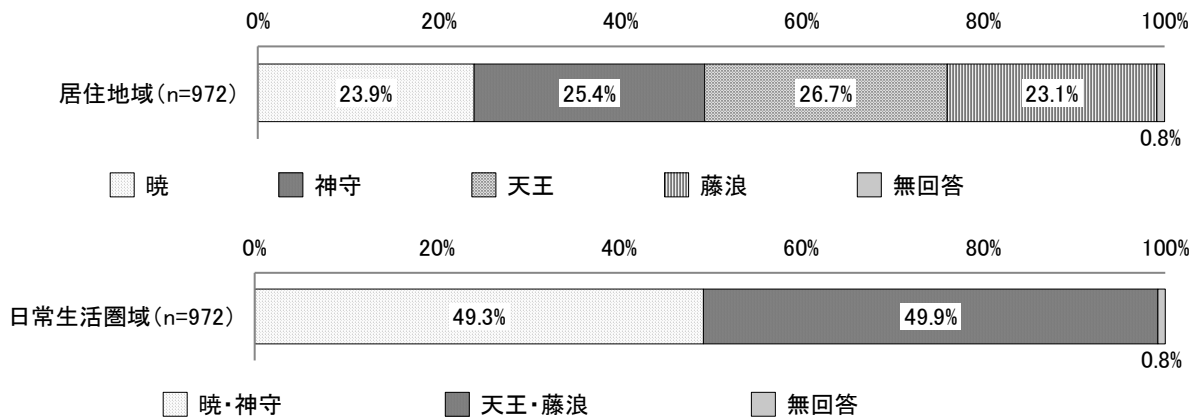
5歳階級では「75～79 歳」が 26.7%でもっとも割合が高く、次いで「70～74 歳」が 22.6%、「80～84 歳」が 20.2%となっている。

3区分では「75～84 歳」が 46.9%でもっとも割合が高く、次いで「65～74 歳」が 40.6%、「85 歳以上」が 11.6%となっている。



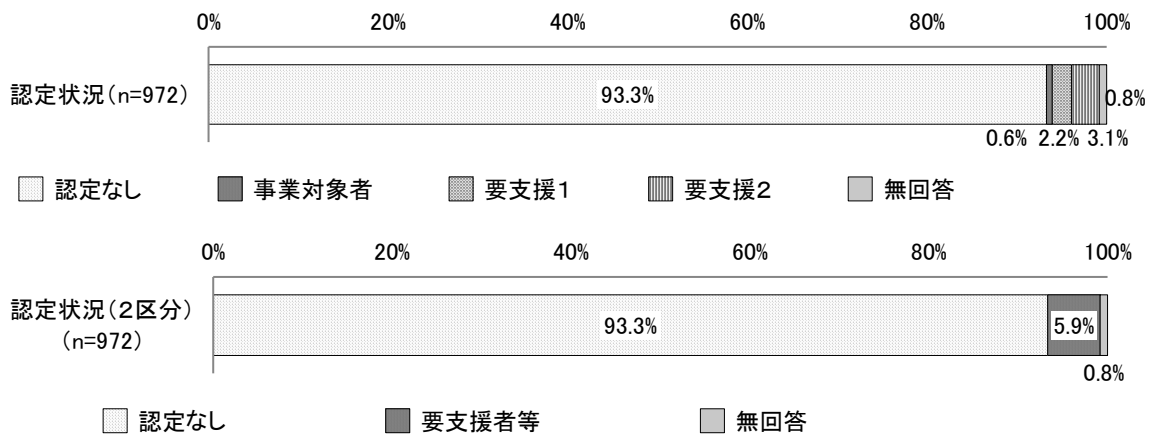
居住地域

各地域が 25%前後で概ね等しくなっている。日常生活圏域は「暁・神守」と「天王・藤浪」で概ね 50%ずつになっている。



要介護認定等の状況

認定状況を2区分で見ると、「認定なし」が 93.3%、「要支援者等」が 5.9%となっている。

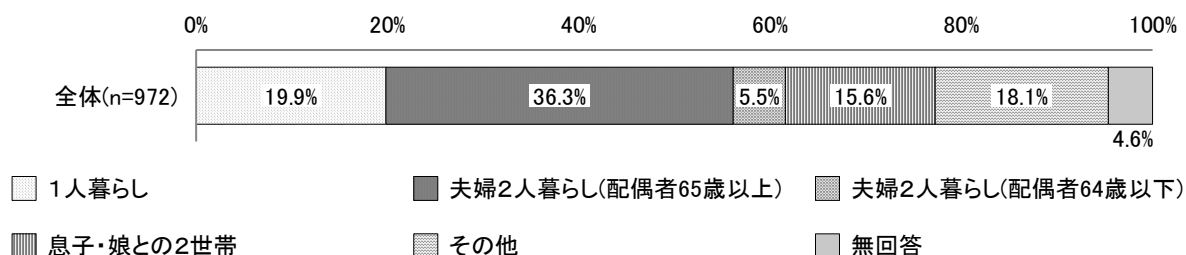


(2) あなたのご家族や生活状況について

家族構成

問1(1) 家族構成をお教えてください。(○は1つ)

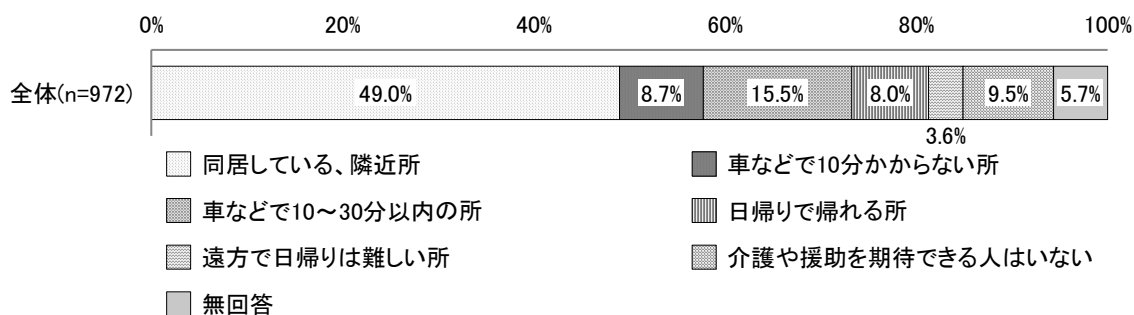
「夫婦2人暮らし(配偶者 65 歳以上)」が 36.3%でもっとも割合が高く、次いで「1人暮らし」が 19.9%、「その他」が 18.1%となっている。



主となって介護・援助する人の居住地

問1(2) あなたに介護や生活上のサポートが必要になった時に、主となって介護や援助をしてくれる家族・親族・友人等は、どこに住んでいますか。(○は1つ)

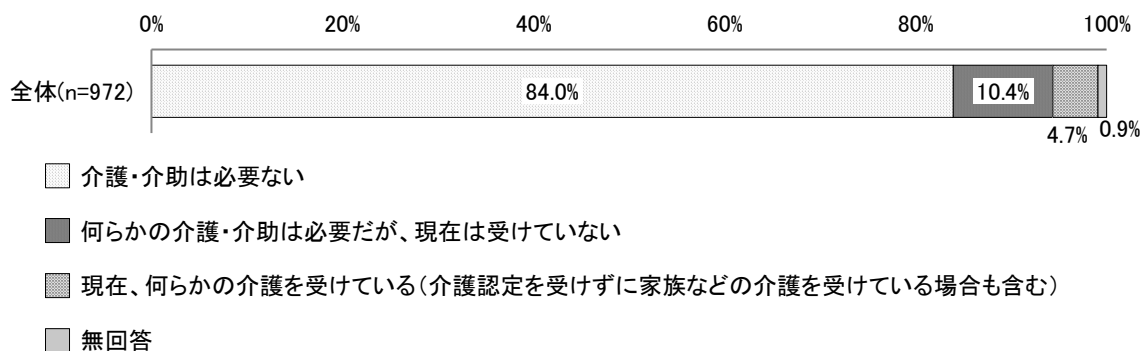
「同居している、隣近所」が 49.0%でもっとも割合が高く、次いで「車などで 10～30 分以内の所」が 15.5%、「介護や援助を期待できる人はいない」が 9.5%となっている。



自身の介護・介助の必要性

問1(3) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

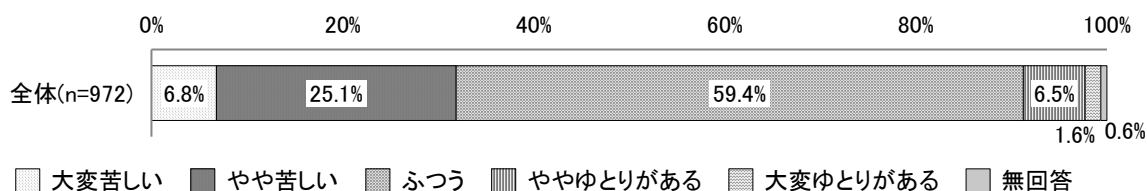
「介護・介助は必要ない」が 84.0%となっている。次いで、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が 10.4%、「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」が 4.7%となっている。



現在の暮らしの経済的状況

問1(4) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

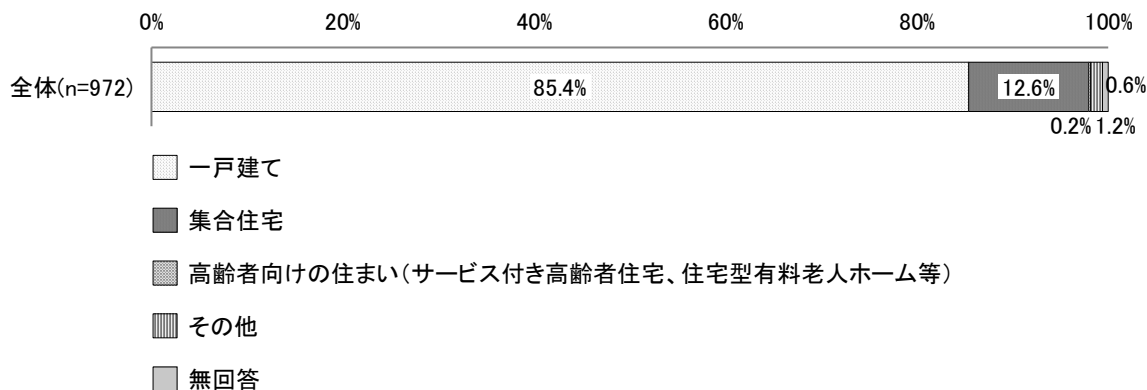
「ふつう」が59.4%でもっとも割合が高く、次いで「やや苦しい」が25.1%、「大変苦しい」が6.8%となっている。



住居形態

問1(5) あなたの現在の住まいをお教えてください。(○は1つ)

「一戸建て」が85.4%でもっとも割合が高く、次いで「集合住宅」が12.6%となっている。

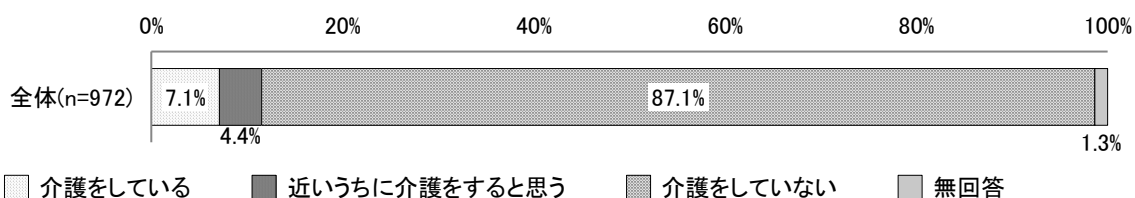


親や配偶者への介護の有無

問1(6) あなた(あて名のご本人)は、現在、親(義父母を含む)や配偶者の介護をしていますか。(○は1つ)

「介護をしていない」が87.1%でもっとも割合が高く、次いで「介護をしている」が7.1%、「近いうちに介護をすると思う」が4.4%となっている。

年齢別にみると、85歳以上で「介護をしている」と「近いうちに介護をすると思う」を合算した値が13.3%となっている。



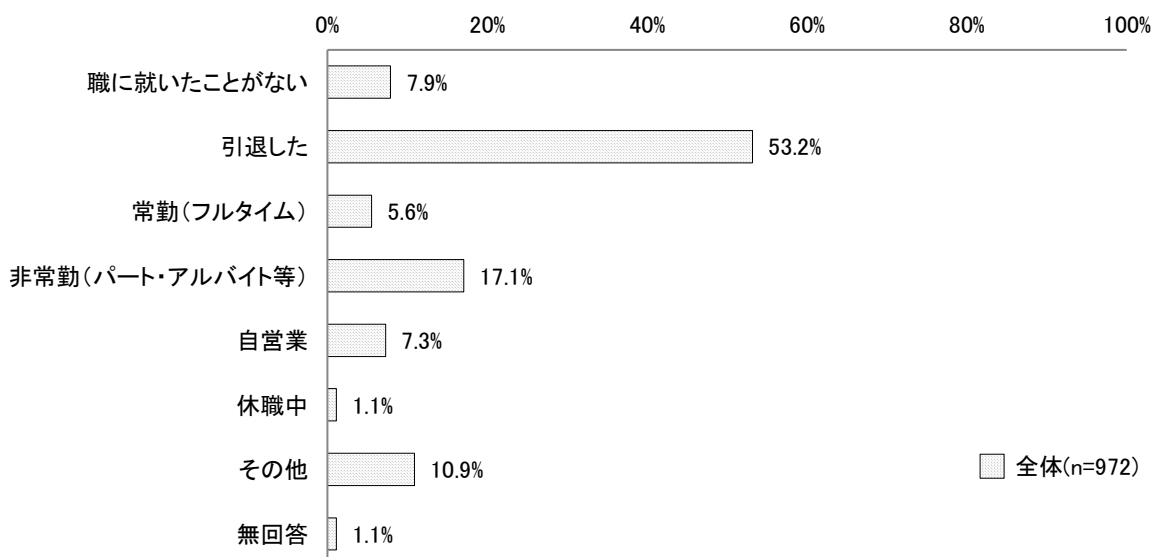
		件数	介護をして いる	近いうちに 介護をする と思う	介護をして いない	無回答
全体		972	7.1	4.4	87.1	1.3
年齢	65～74歳	395	8.4	4.3	86.3	1.0
	75～84歳	456	5.9	4.2	88.6	1.3
	85歳以上	113	8.0	5.3	84.1	2.7
認定	認定なし	907	7.4	4.4	87.0	1.2
	要支援者等	57	3.5	3.5	89.5	3.5

就労状態

問1(7) 現在のあなたの就労状態はどれですか。(○はいくつでも)

「引退した」が 53.2%でもっとも割合が高くなっている。「常勤(フルタイム)」、「非常勤(パート・アルバイト等)」、「自営業」を合算すると 30.0%となっている。

年齢別にみると、「常勤(フルタイム)」、「非常勤(パート・アルバイト等)」、「自営業」を合算した割合は、65～74歳で 46.0%、75～84歳で 20.6%、85歳以上で 11.5%となっている。

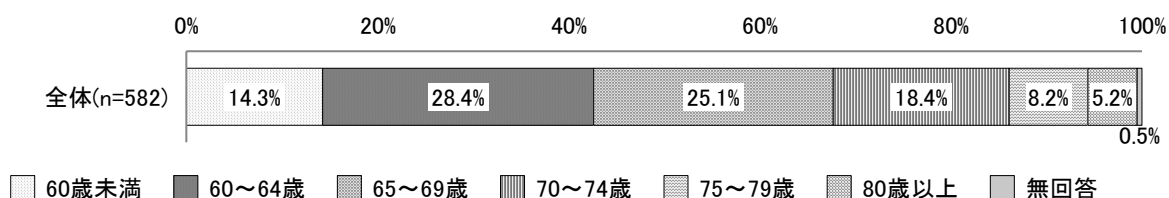


		件数	職に就いたことがない	引退した	常勤(フルタイム)	非常勤(パート・アルバイト等)	自営業	休職中	その他	無回答
全体		972	7.9	53.2	5.6	17.1	7.3	1.1	10.9	1.1
性別	男	432	3.2	56.5	9.7	15.7	7.9	1.6	6.7	0.7
	女	532	11.7	50.6	2.3	18.0	7.0	0.8	14.3	1.5
年齢	65～74歳	395	5.1	43.0	11.9	27.3	6.8	1.0	7.1	0.3
	75～84歳	456	9.0	60.5	1.5	11.2	7.9	1.3	12.1	1.5
	85歳以上	113	13.3	59.3	0.0	4.4	7.1	0.9	19.5	2.7

仕事を引退した年齢

問1(7)① ※問1(7)で「2 引退した」を選んだ方のみ
 あなたは何歳で仕事を引退しましたか。(数字を記入してください。)

「60～64 歳」が 28.4%でもっとも割合が高く、次いで「65～69 歳」が 25.1%、「70～74 歳」が 18.4%となっている。

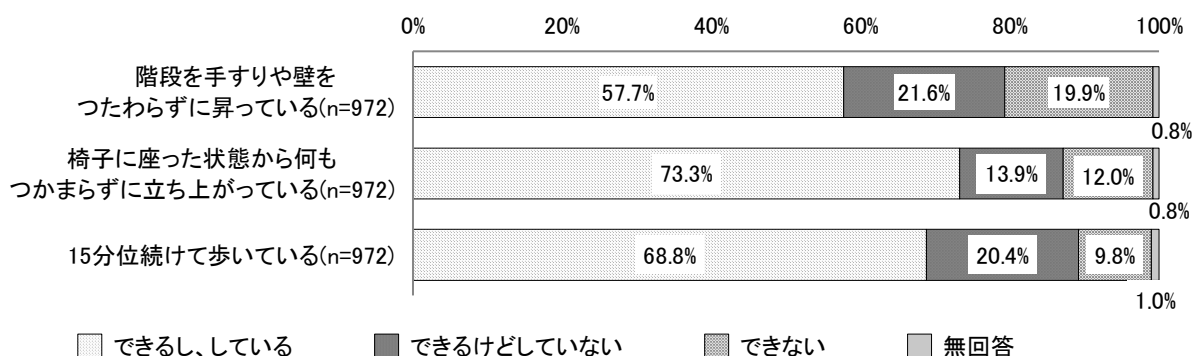


(3) からだを動かすことについて

歩行や階段など

問2(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)
 問2(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)
 問2(3) 15分位続けて歩いていますか。(○は1つ)

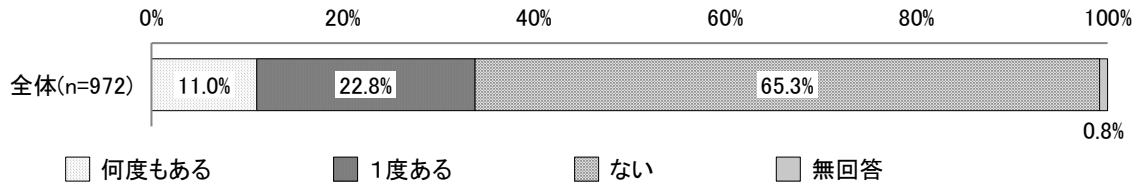
からだを動かすことについて「できない」と回答した人は、「階段を手すりや壁をつたわずに昇っている」で 19.9%、「椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっている」で 12.0%、「15分位続けて歩いている」で 9.8%となっている。



転倒の状況

問2(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)

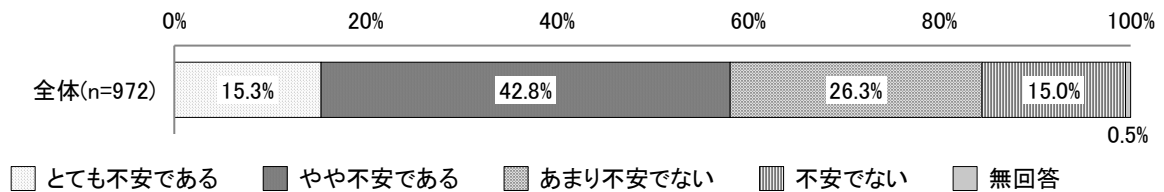
「何度もある」と「1度ある」を合算すると 33.8%となっている。



転倒に対する不安

問2(5) 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

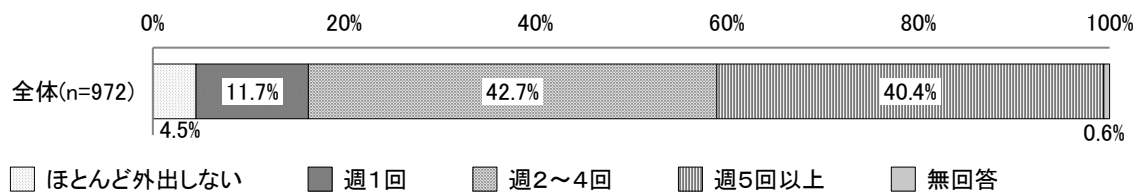
「とても不安である」と「やや不安である」を合算すると 58.1%となっている。



外出頻度

問2(6) 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)

「週2～4回」と「週5回以上」を合算すると 83.1%となっている。一方で、「週1回」と「ほとんど外出しない」を合算すると 16.2%となっている。

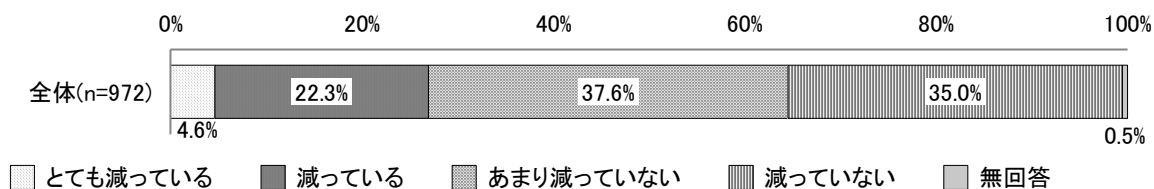


		件数	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答
全体		972	4.5	11.7	42.7	40.4	0.6
年齢	65～74歳	395	2.3	6.3	38.5	52.7	0.3
	75～84歳	456	4.4	13.4	46.3	35.1	0.9
	85歳以上	113	12.4	23.9	44.2	18.6	0.9

外出頻度の変化

問2(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

「とても減っている」と「減っている」を合算すると26.9%となっている。
年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「とても減っている」、「減っている」の割合が高くなっている。

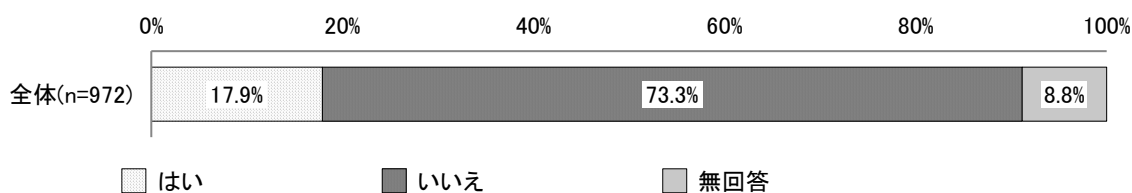


		件数	とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	無回答
全体		972	4.6	22.3	37.6	35.0	0.5
年齢	65～74歳	395	2.5	15.9	35.9	45.3	0.3
	75～84歳	456	5.0	24.8	39.0	30.5	0.7
	85歳以上	113	8.8	36.3	38.1	15.9	0.9
認定	認定なし	907	3.7	20.7	38.7	36.4	0.4
	要支援者等	57	15.8	50.9	21.1	10.5	1.8

外出を控えているか

問2(8) 外出を控えていますか。(○は1つ)

「はい」が17.9%、「いいえ」が73.3%となっている。
前回調査と比較すると、外出を控えている人の割合が低くなっている。



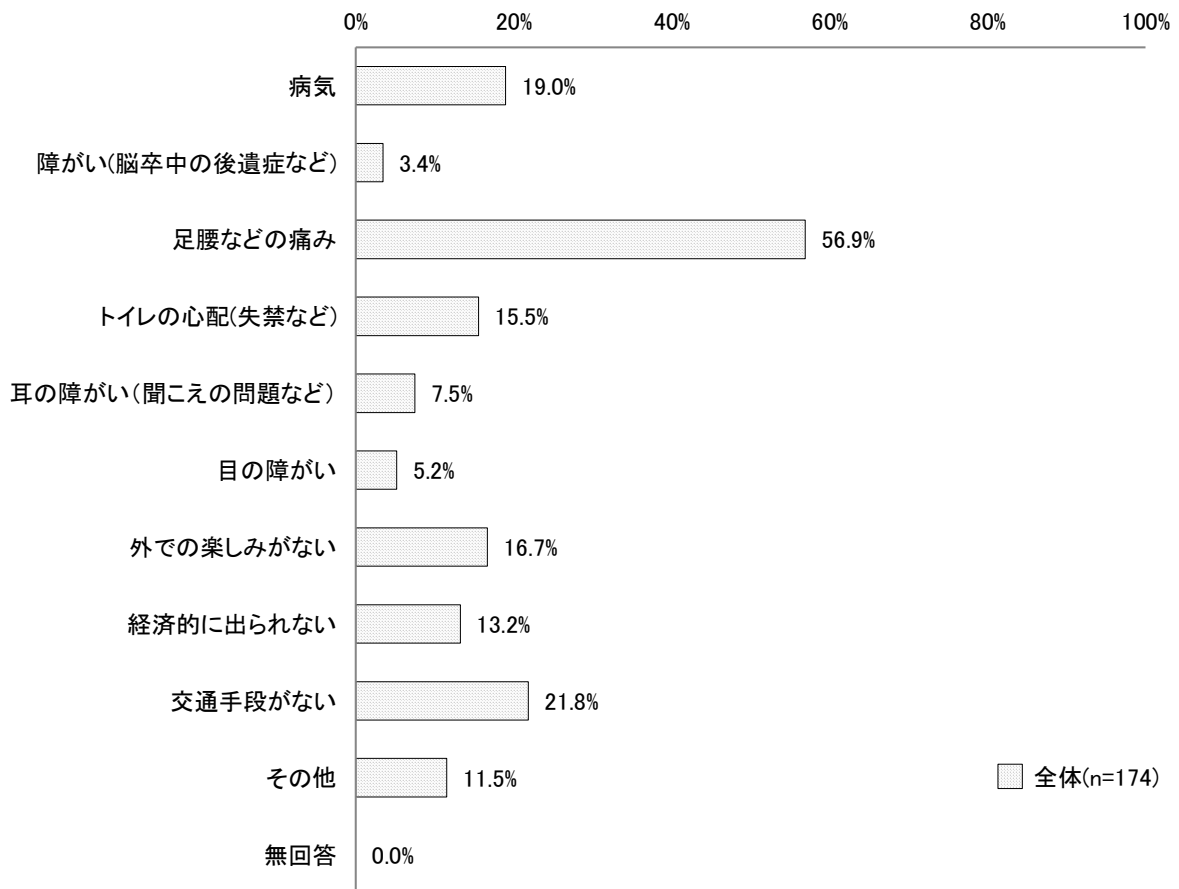
	件数	はい	いいえ	無回答
今回(R7)	972	17.9	73.3	8.8
前回(R4)	958	24.9	66.0	9.1

外出を控えている理由

問2(8)① ※問2(8)で「1 外出を控えている」を選んだ方のみ
外出を控えている理由は、次のどれですか。(〇はいくつでも)

「足腰などの痛み」が 56.9%でもっとも割合が高く、次いで「交通手段がない」が 21.8%、「病気」が 19.0%となっている。

年齢別にみると、75 歳以上では「足腰などの痛み」、85 歳以上では「交通手段がない」の割合が他の年齢よりも高くなっている。



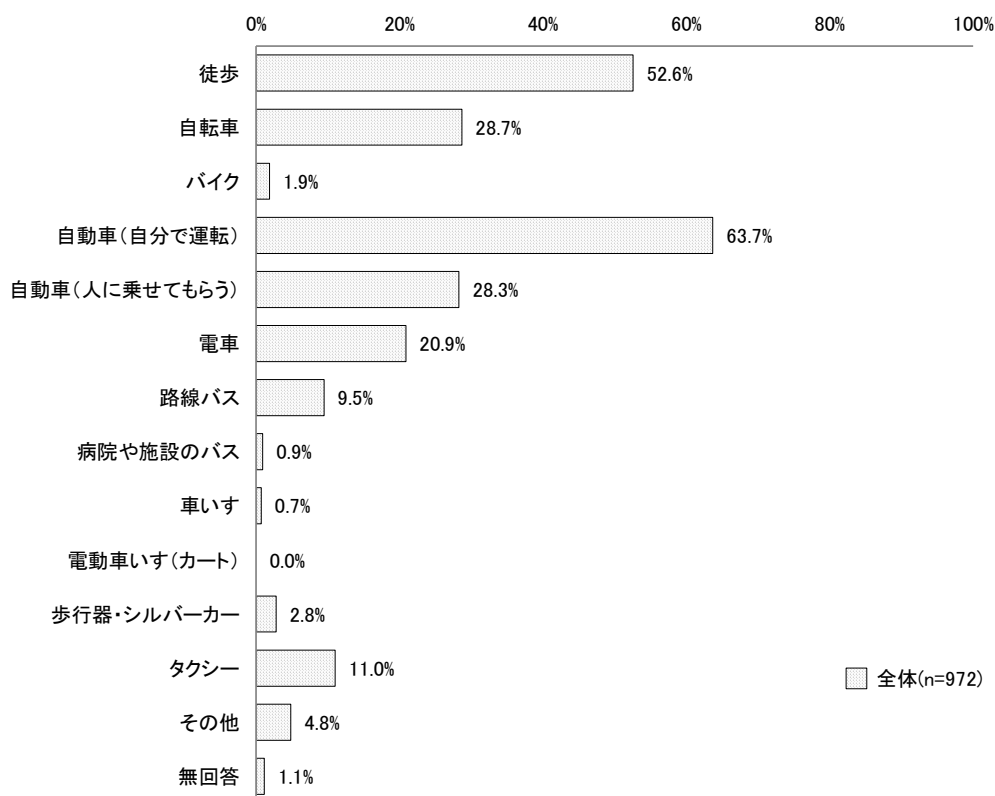
	件数	病気	障がい（脳卒中の後遺症など）	足腰などの痛み	トイレの心配（失禁など）	耳の障がい（聞こえの問題など）	目の障がい	外での楽しみがない	経済的に出られない	交通手段がない	その他	無回答	
全体	174	19.0	3.4	56.9	15.5	7.5	5.2	16.7	13.2	21.8	11.5	0.0	
年齢	65～74歳	45	26.7	8.9	46.7	11.1	8.9	8.9	15.6	13.3	8.9	15.6	0.0
	75～84歳	93	17.2	1.1	60.2	18.3	6.5	4.3	18.3	15.1	20.4	9.7	0.0
	85歳以上	36	13.9	2.8	61.1	13.9	8.3	2.8	13.9	8.3	41.7	11.1	0.0
地域	暁・神守	86	19.8	2.3	59.3	16.3	10.5	5.8	12.8	16.3	20.9	8.1	0.0
	天王・藤浪	88	18.2	4.5	54.5	14.8	4.5	4.5	20.5	10.2	22.7	14.8	0.0

外出の際の移動手段

問2(9) 外出する際の移動手段は何ですか。(○はいくつでも)

「自動車(自分で運転)」が 63.7%でもっとも割合が高く、次いで「徒歩」が 52.6%、「自転車」が 28.7%となっている。

おでかけタクシーの登録状況別にみると、利用登録している人では「タクシー」の割合が登録していない人や知らない人よりも高くなっている。



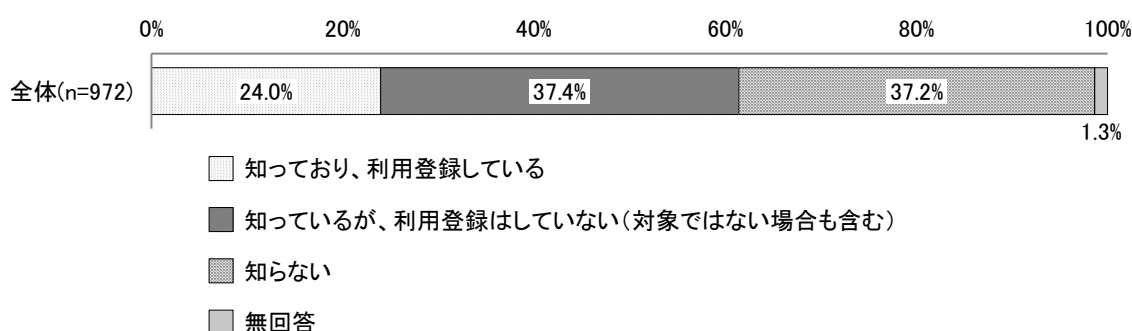
	件数	徒歩	自転車	バイク	自動車(自分で運転)	自動車(人に乗せてもらう)	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす(カート)	歩行者・シルバーカー	タクシー	その他	無回答	
全体	972	52.6	28.7	1.9	63.7	28.3	20.9	9.5	0.9	0.7	0.0	2.8	11.0	4.8	1.1	
おでかけ タクシー 利用	利用登録している	233	54.9	36.9	2.1	33.5	39.5	17.6	15.9	3.0	0.4	0.0	4.7	32.6	13.7	1.3
	利用登録はしていない (対象外含む)	364	53.3	28.6	1.4	71.4	25.3	18.4	7.1	0.5	1.4	0.0	2.5	3.8	3.0	0.8
	知らない	362	50.3	23.8	2.2	75.7	24.0	25.4	7.7	0.0	0.3	0.0	1.7	4.4	0.8	1.1

おでかけタクシーの認知度

問2(10) あなたは、津島市が実施する「おでかけタクシー」について知っていますか。(○は1つ)

「知っているが、利用登録はしていない(対象ではない場合も含む)」が37.4%でもっとも割合が高く、次いで「知らない」が37.2%、「知っており、利用登録している」が24.0%となっている。なお、おでかけタクシーの対象者である75歳以上では「知っており、利用登録している」が40.2%でもっとも割合が高く、次いで「知っているが、利用登録はしていない(対象ではない場合も含む)」が34.6%、「知らない」が23.7%となっている。

男女別にみると、男性では「知らない」の割合が高くなっている。また、年齢別にみると、85歳以上では「知っており、登録している」の割合が54.0%となっている。



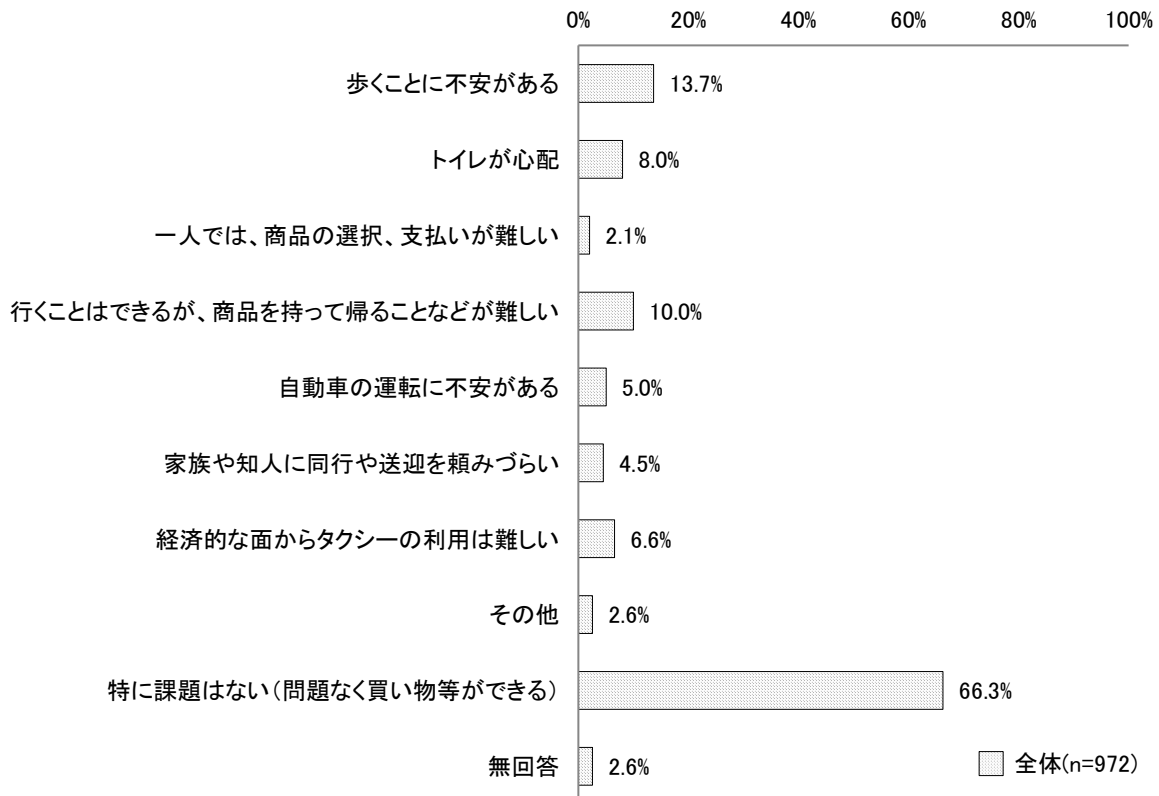
		件数	知っており、利用登録している	知っているが、利用登録はしていない(対象ではない場合も含む)	知らない	無回答
全体		972	24.0	37.4	37.2	1.3
性別	男	432	15.3	37.0	47.0	0.7
	女	532	31.4	37.2	29.5	1.9
年齢	65～74歳	395	1.0	40.8	57.0	1.3
	75～84歳	456	36.8	37.5	24.8	0.9
	85歳以上	113	54.0	23.0	19.5	3.5
	参考:75歳以上	569	40.2	34.6	23.7	1.4

外出に関する課題

問2(11) 買物等の外出をするにあたっての課題をお教えてください。(〇はいくつでも)

「特に課題はない(問題なく買い物等ができる)」が 66.3%でもっとも割合が高く、次いで「歩くことに不安がある」が 13.7%、「行くことはできるが、商品を持って帰ることなどが難しい」が 10.0%となっている。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「歩くことに不安がある」、「行くことはできるが、商品を持って帰ることなどが難しい」の割合が高くなっている。



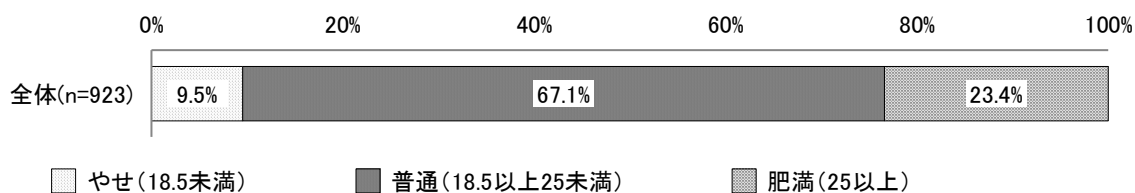
		件数	歩くことに不安がある	トイレが心配	一人では、商品の選択、支払いが難しい	行くことはできるが、商品を持って帰ることなどが難しい	自動車の運転に不安がある	家族や知人に同行や送迎を頼みづらい	経済的な面からタクシーの利用は難しい	その他	特に課題はない（問題なく買い物等ができる）	無回答
全体		972	13.7	8.0	2.1	10.0	5.0	4.5	6.6	2.6	66.3	2.6
年齢	65～74歳	395	6.1	6.8	0.5	4.8	5.8	2.8	7.8	1.5	74.9	2.8
	75～84歳	456	16.4	9.0	2.9	11.8	4.8	4.6	5.7	2.9	65.1	1.8
	85歳以上	113	28.3	8.0	4.4	20.4	2.7	9.7	5.3	5.3	39.8	5.3

(4) 食べることについて

BMI 値

問3(1) 身長・体重について、数字を右詰でご記入ください。

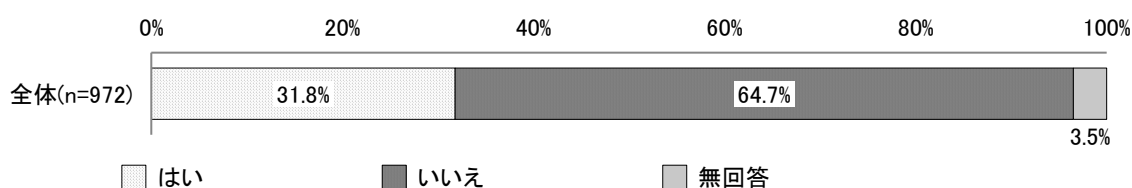
「やせ(18.5未満)」が 9.5%、「普通(18.5以上 25未満)」が 67.1%、「肥満(25以上)」が 23.4%となっている。



固いものの食べにくさ

問3(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

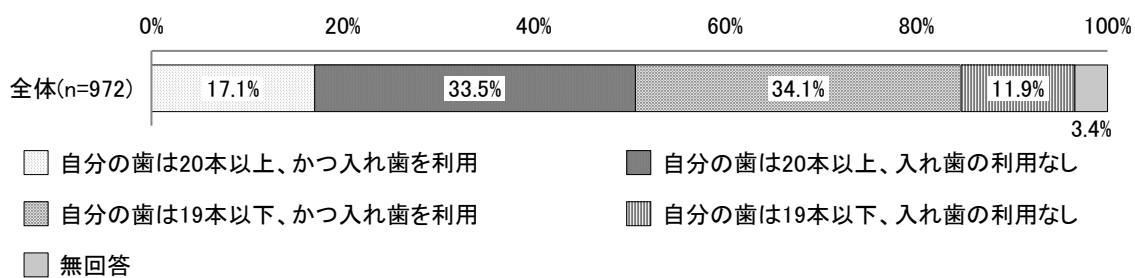
「はい」が 31.8%、「いいえ」が 64.7%となっている。



歯の状態

問3(3) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です)。(○は1つ)

「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」が 34.1%でもっとも割合が高く、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」が 33.5%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」が 17.1%となっている。

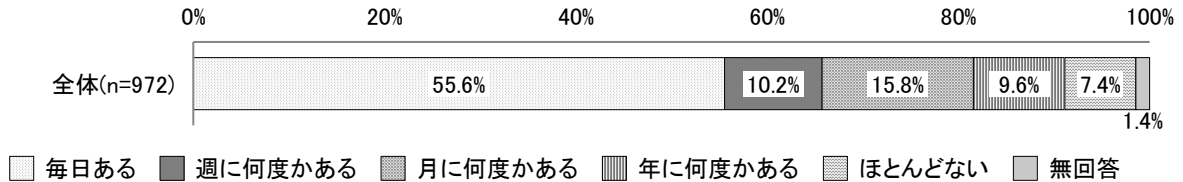


誰かと食事をする機会

問3(4) どなたかと食事をとる機会がありますか。(○は1つ)

「毎日ある」が55.6%でもっとも割合が高くなっている。一方で、「ほとんどない」は7.4%となっている。

世帯別にみると、1人暮らしでは「年に何度かある」や「ほとんどない」の割合が他の世帯よりも高くなっている。



	件数	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
全体	972	55.6	10.2	15.8	9.6	7.4	1.4
年齢	65～74歳	63.3	8.9	13.2	6.3	7.3	1.0
	75～84歳	53.5	9.9	18.2	10.7	6.4	1.3
	85歳以上	37.2	15.0	16.8	15.9	11.5	3.5
世帯	1人暮らし	2.6	20.7	37.8	19.2	17.1	2.6
	高齢者のみ	71.1	5.7	9.1	8.8	4.2	1.1
	その他	69.8	8.9	10.2	5.2	5.0	0.8

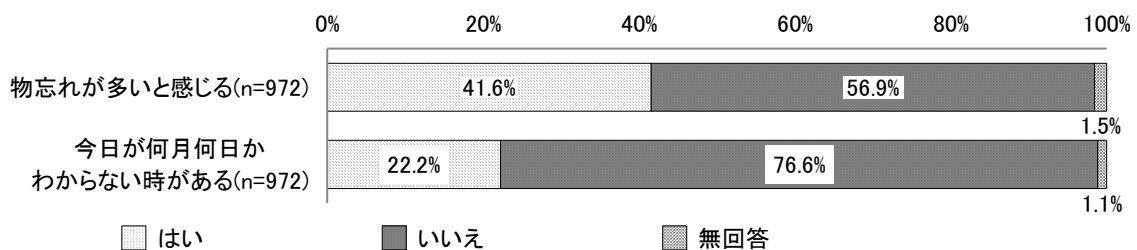
(5) 毎日の生活について

物忘れ等の状況

問4(1) 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)

問4(2) 今日が何月何日かわからない時がありますか。(○は1つ)

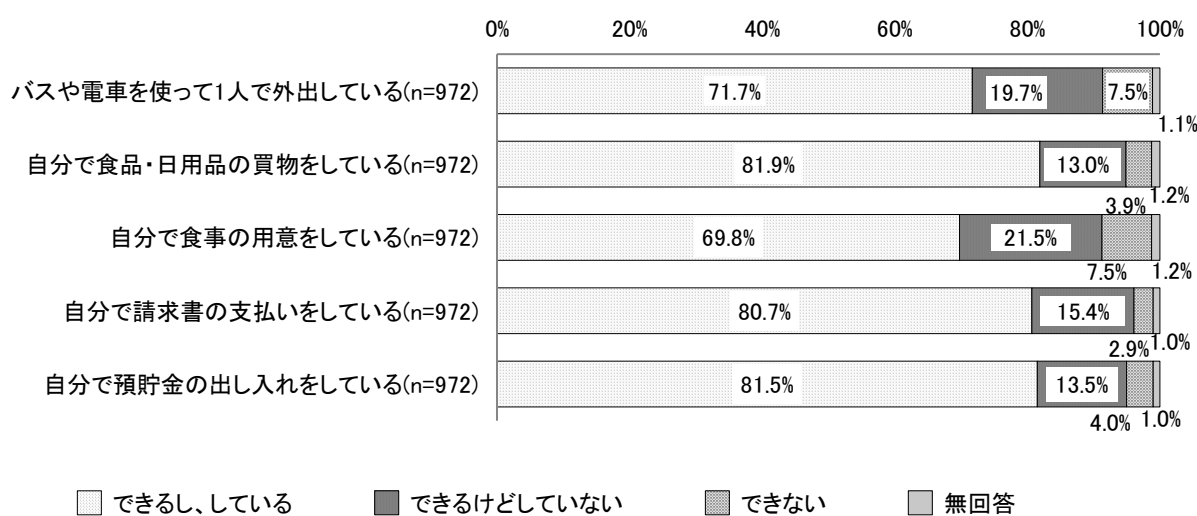
物忘れ等の状況について、「はい」の割合をみると、「物忘れが多いと感じる」が41.6%、「今日が何月何日かわからない時がある」が22.2%となっている。



普段の生活状況(IADL)

- 問4(3) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)。(○は1つ)
- 問4(4) 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○は1つ)
- 問4(5) 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)
- 問4(6) 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)
- 問4(7) 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)

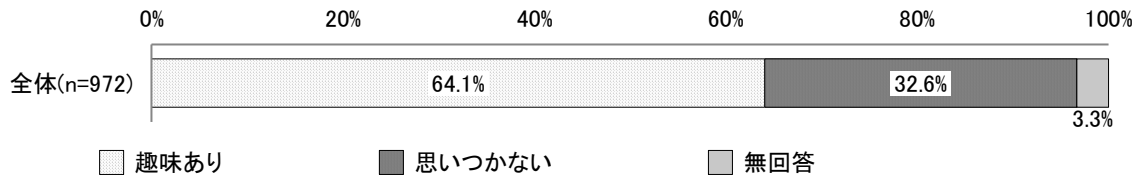
普段の生活状況について、「できない」と「できるけどしていない」の割合をみると、「自分で食事の用意をしている」が 29.0%、「バスや電車を使って1人で外出している」が 27.2%の順で高くなっている。



趣味の有無

問4(8) 趣味はありますか。(○は1つ)

「趣味あり」が64.1%、「思いつかない」が32.6%となっている。



		件数	趣味あり	思いつかない	無回答
全体		972	64.1	32.6	3.3
年齢	65～74歳	395	65.1	33.2	1.8
	75～84歳	456	64.0	31.8	4.2
	85歳以上	113	60.2	34.5	5.3

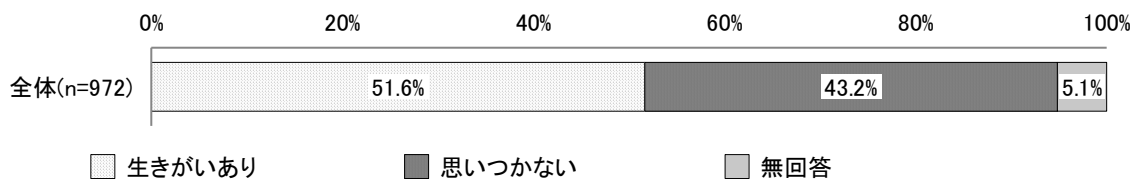
		件数	趣味あり	思いつかない	無回答
今回(R7)		972	64.1	32.6	3.3
前回(R4)		958	65.4	30.2	4.4

生きがいの有無

問4(9) 生きがいはありますか。(○は1つ)

「生きがいあり」が51.6%、「思いつかない」が43.2%となっている。

年齢別にみると、85歳以上では「生きがいあり」の割合が他の年齢よりも高くなっている。



		件数	生きがいあり	思いつかない	無回答
全体		972	51.6	43.2	5.1
年齢	65～74歳	395	52.2	45.1	2.8
	75～84歳	456	50.2	43.9	5.9
	85歳以上	113	55.8	33.6	10.6

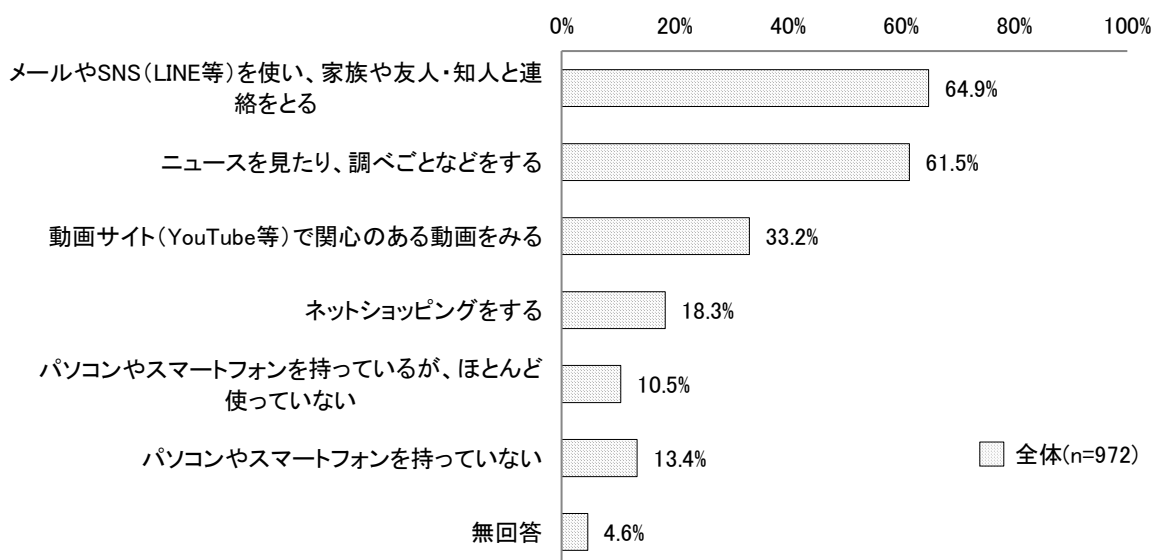
		件数	生きがいあり	思いつかない	無回答
今回(R7)		972	51.6	43.2	5.1
前回(R4)		958	49.7	44.3	6.1

パソコン・スマートフォンなどの利用状況

問4(10) パソコンやスマートフォンなどの利用状況として、当てはまるものを選んでください。
(○はいくつでも)

「メールやSNS(LINE等)を使い、家族や友人・知人と連絡をとる」が64.9%でもっとも割合が高く、次いで「ニュースを見たり、調べごとなどをする」が61.5%、「動画サイト(YouTube等)で関心のある動画をみる」が33.2%となっている。一方で、「パソコンやスマートフォンを持っていない」と「パソコンやスマートフォンを持っているが、ほとんど使っていない」を合算すると23.9%となっている。

男女別にみると、男性では「動画サイト(YouTube等)で関心のある動画をみる」、「ネットショッピングをする」の割合が女性よりも高く、女性では「メールやSNS(LINE等)を使い、家族や友人・知人と連絡をとる」の割合が男性よりも高くなっている。年齢別にみると、「パソコンやスマートフォンを持っていない」の割合は、65～74歳で3.5%、75～84歳で17.1%、85歳以上で32.7%となっている。



		件数	メールやSNS(LINE等)を使い、家族や友人・知人と連絡をとる	ニュースを見たり、調べごとなどをする	動画サイト(YouTube等)で関心のある動画をみる	ネットショッピングをする	パソコンやスマートフォンを持っているが、ほとんど使っていない	パソコンやスマートフォンを持っていない	無回答
全体		972	64.9	61.5	33.2	18.3	10.5	13.4	4.6
性別	男	432	57.9	63.2	39.8	23.8	13.4	11.1	5.3
	女	532	70.9	60.0	27.3	13.7	8.3	15.2	4.1
年齢	65～74歳	395	80.5	78.2	48.6	30.9	7.1	3.5	2.0
	75～84歳	456	59.0	54.2	24.6	10.5	12.9	17.1	5.5
	85歳以上	113	35.4	31.9	11.5	5.3	13.3	32.7	10.6

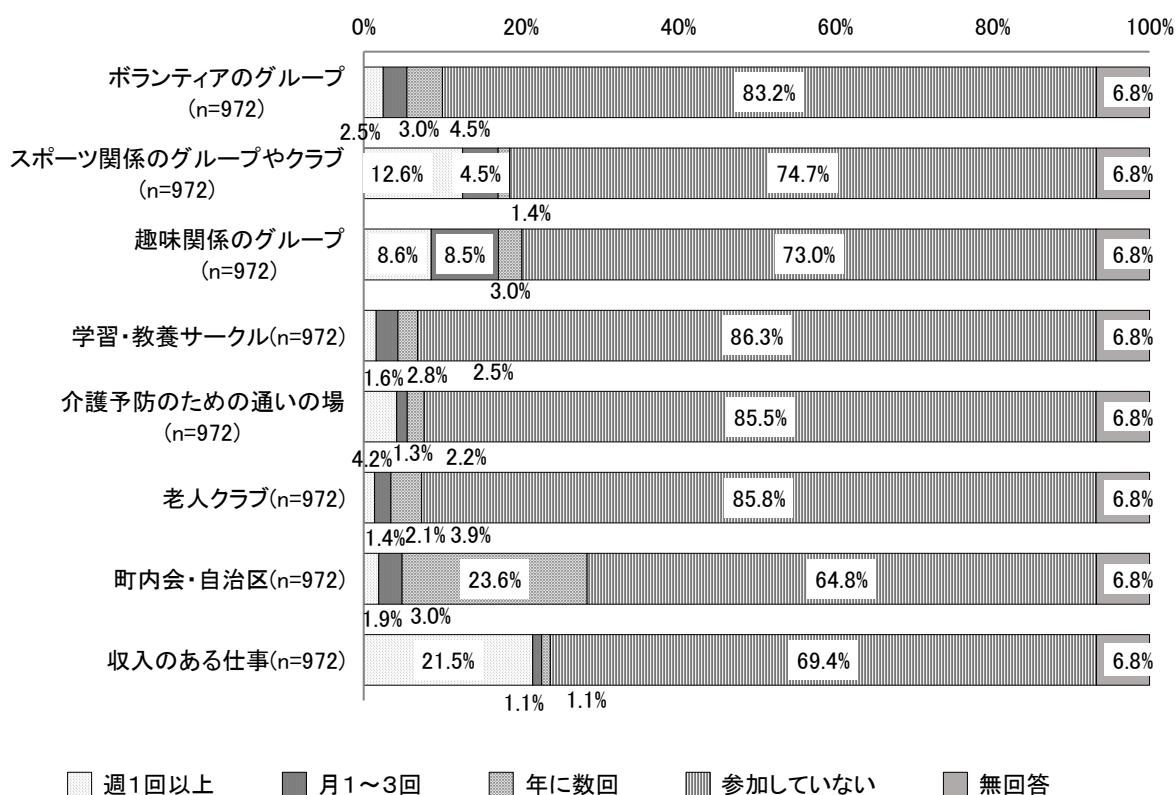
(6) 地域での活動について

会・グループ等への参加状況

問5(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
 ※①～⑧それぞれに回答してください。(○は1つずつ)

地域活動への参加状況について、「週1回以上」と「月1～3回」を合算すると、「収入のある仕事」が22.6%、「スポーツ関係のグループやクラブ」と「趣味関係のグループ」が17.1%で、その他は1割未満となっている。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「週1回以上社会参加あり」の割合が低くなっている。



		件数	週1回以上 社会参加あり	週1回以上 社会参加なし	無回答
全体		972	41.0	52.2	6.8
年齢	65～69歳	175	59.4	38.3	2.3
	70～74歳	220	49.1	45.5	5.5
	75～79歳	260	36.9	60.0	3.1
	80～84歳	196	29.6	60.2	10.2
	85～89歳	87	23.0	56.3	20.7
	90歳以上	26	30.8	53.8	15.4

		週1回以上社会参加ありの割合	
		今回 (R7)	前回 (R4)
全体		41.0	43.3
年齢	65～69歳	59.4	57.7
	70～74歳	49.1	50.2
	75～79歳	36.9	42.5
	80～84歳	29.6	26.7
	85～89歳	23.0	30.3
	90歳以上	30.8	33.3

※上記表の「週1回以上社会参加あり」の割合は、以下の基準により算出している。

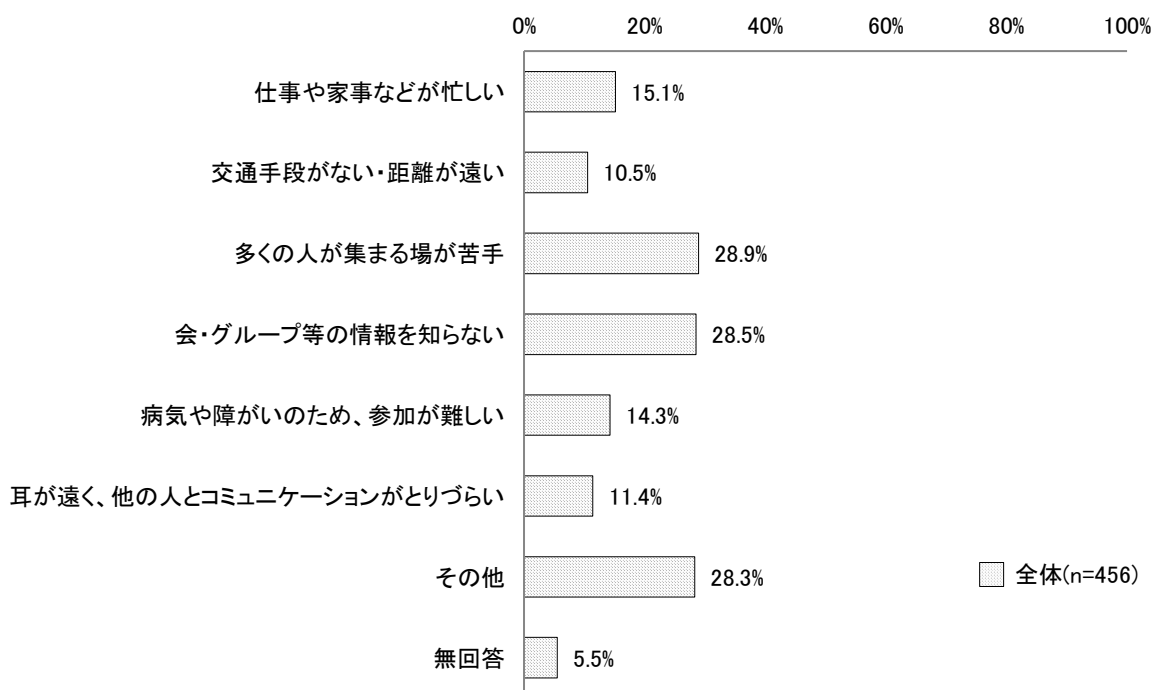
「ボランティアのグループ」「スポーツ関係のグループやクラブ」「趣味関係のグループ」「学習・教養サークル」「介護予防のための通いの場」「老人クラブ」「町内会・自治会」「収入のある仕事」のうち、①週1回以上参加しているものが1項目以上ある人、または、②月1～3回参加しているものが2項目以上ある人の割合

会・グループ等に参加していない理由

※問5(1)で①～⑧のすべてにおいて「5 年に数回」、「6 参加していない」を選んだ方のみ
 問5(1)① 会・グループ等にあまり参加していない理由を教えてください。(○はいくつでも)

「多くの人が集まる場が苦手」が28.9%でもっとも割合が高く、次いで「会・グループ等の情報を知らない」が28.5%、「その他」が28.3%となっている。

年齢別にみると、85歳以上では「交通手段がない・距離が遠い」や「耳が遠く、他の人とコミュニケーションがとりづらい」の割合が他の年齢よりも高くなっている。世帯別にみると、1人暮らしでは「会・グループ等の情報を知らない」の割合が他の世帯よりも高くなっている。



	件数	仕事や家事などが忙しい	交通手段がない・距離が遠い	多くの人が集まる場が苦手	会・グループ等の情報を知らない	病気や障がいのため、参加が難しい	耳が遠く、他の人とコミュニケーションがとりづらい	その他	無回答	
全体	456	15.1	10.5	28.9	28.5	14.3	11.4	28.3	5.5	
性別	男	216	9.7	5.1	24.5	31.0	14.8	15.7	27.8	6.5
	女	237	20.3	15.6	32.9	26.2	13.1	7.6	28.3	4.6
年齢	65～74歳	157	21.7	5.7	35.0	30.6	13.4	7.6	28.7	2.5
	75～84歳	240	12.9	11.3	27.9	27.1	14.6	12.1	26.3	6.7
	85歳以上	56	7.1	21.4	16.1	28.6	12.5	19.6	33.9	8.9
世帯	1人暮らし	99	8.1	10.1	28.3	35.4	13.1	8.1	34.3	10.1
	高齢者のみ	169	17.8	8.9	27.2	29.6	13.6	11.8	28.4	4.7
	その他	168	17.3	12.5	30.4	21.4	16.1	13.7	25.0	3.6

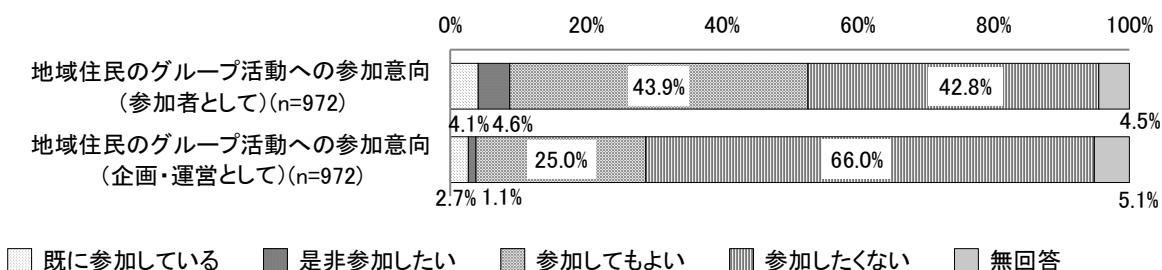
地域づくり活動への参加意向

問5(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

問5(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(○は1つ)

地域づくり活動への参加意向について、「既に参加している」、「是非参加したい」、「参加してもよい」を合算すると、「参加者として」は52.6%となっている。「企画・運営(お世話役)として」は28.8%となっている。

前回調査と比較すると、参加者と企画・運営ともに「参加してもよい」の割合がやや高くなっている。

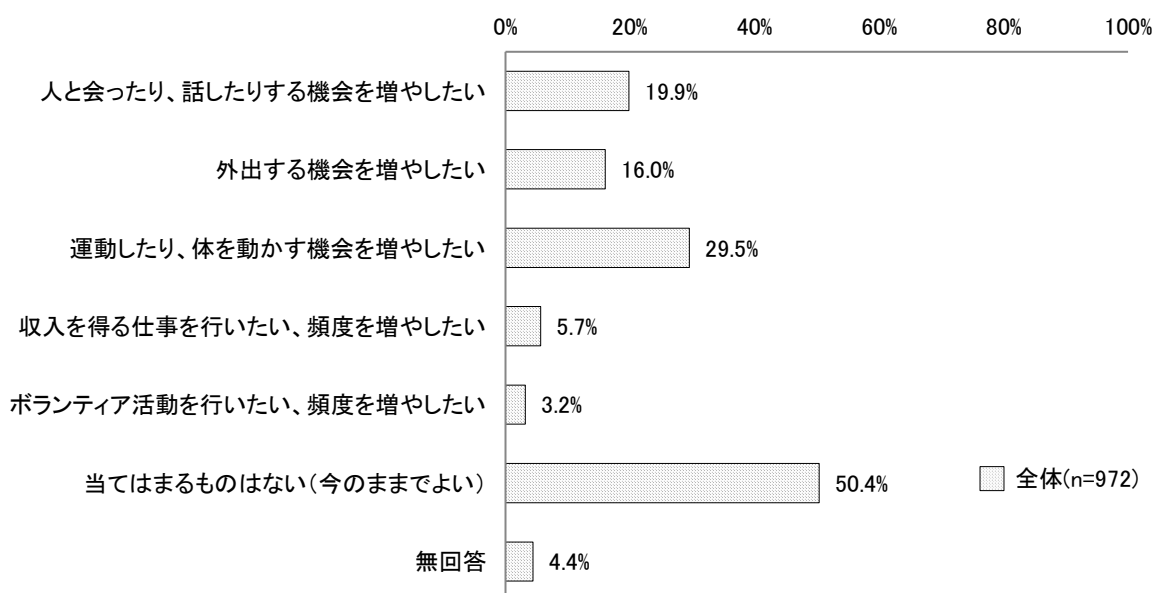


		件数	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
参加者	今回(R7)	972	4.6	43.9	42.8	4.1	4.5
	前回(R4)	958	5.0	41.0	45.7	3.0	5.2
企画・運営	今回(R7)	972	1.1	25.0	66.0	2.7	5.1
	前回(R4)	958	1.1	23.0	68.3	2.0	5.6

現在の生活に対する意向

問5(4) 現在の生活に関する意向について、当てはまるものを選んでください。(○はいくつでも)

「当てはまるものはない(今のままでよい)」が 50.4%でもっとも割合が高く、次いで「運動したり、体を動かす機会を増やしたい」が29.5%、「人と会ったり、話したりする機会を増やしたい」が19.9%となっている。



	件数	人と会ったり、話したりする機会を増やしたい	外出する機会を増やしたい	運動したり、体を動かす機会を増やしたい	収入を得る仕事を行いたい、頻度を増やしたい	ボランティア活動を行いたい、頻度を増やしたい	当てはまるものはない(今のままでよい)	無回答	
全体	972	19.9	16.0	29.5	5.7	3.2	50.4	4.4	
年齢	65～74歳	395	16.5	14.4	31.9	9.6	4.1	48.6	3.5
	75～84歳	456	21.7	16.9	27.0	3.3	2.9	52.9	3.5
	85歳以上	113	23.9	16.8	29.2	1.8	1.8	47.8	11.5
世帯	1人暮らし	193	25.4	17.6	31.1	9.3	5.2	43.0	3.6
	高齢者のみ	353	20.4	17.8	33.1	4.5	2.8	50.1	2.3
	その他	381	18.1	14.2	26.5	5.2	2.6	53.5	5.2

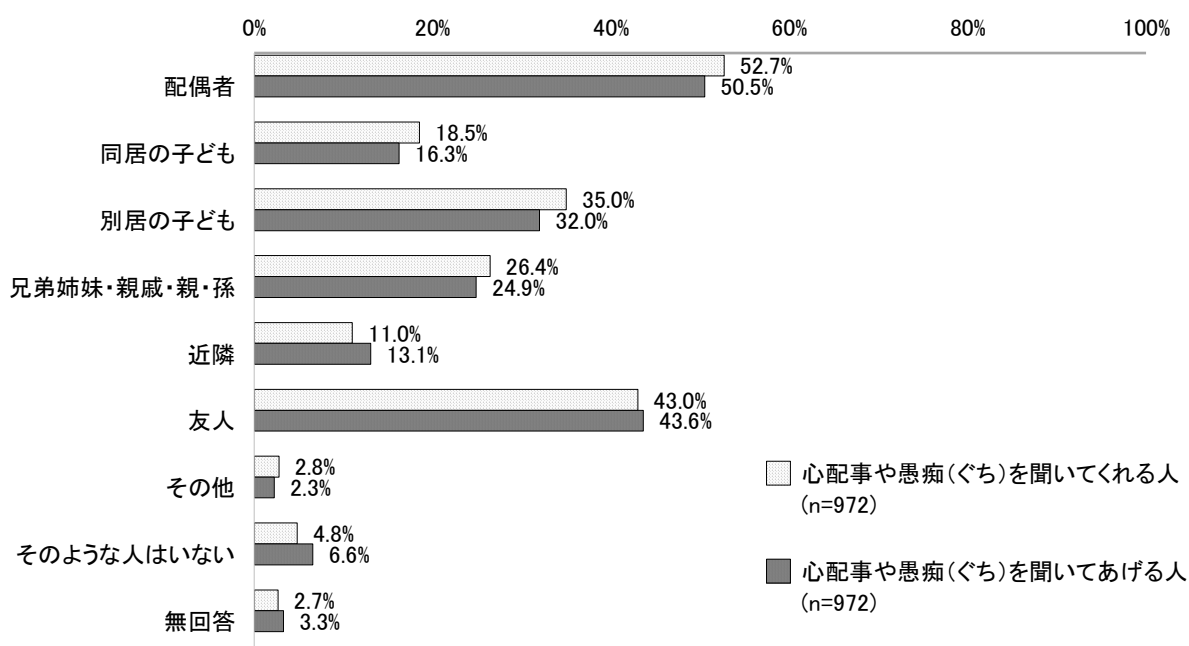
(7) たすけあいについて

心配事や愚痴を聞いてくれる人・聞いてあげる人

問6(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人を教えてください。(○はいくつでも)

問6(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人を教えてください。(○はいくつでも)

「心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人」は、「配偶者」が52.7%、「友人」が43.0%となっている。「心配事や愚痴を聞いてあげる人」についても「配偶者」が50.5%、「友人」が43.6%となっている。なお、「そのような人はいない」はどちらも5%前後となっている。

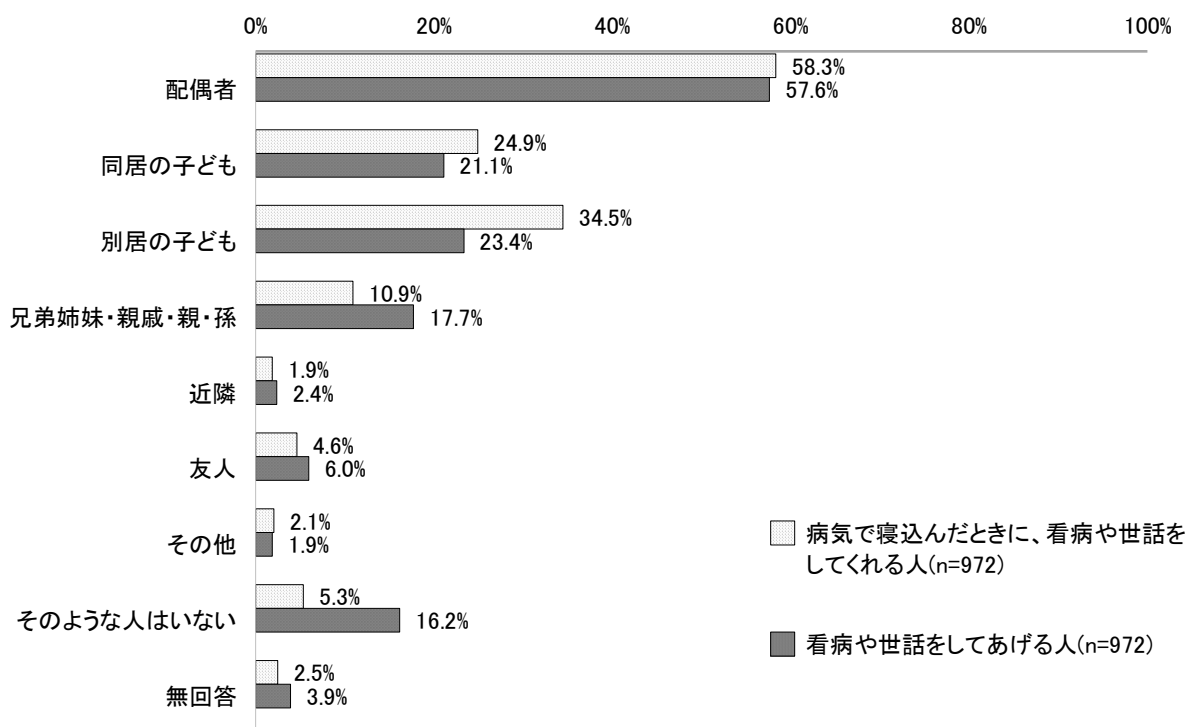


看病や世話をしてくれる人

問6(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人を教えてください。(〇はいくつでも)

問6(4) 反対に、看病や世話をしをあげる人を教えてください。(〇はいくつでも)

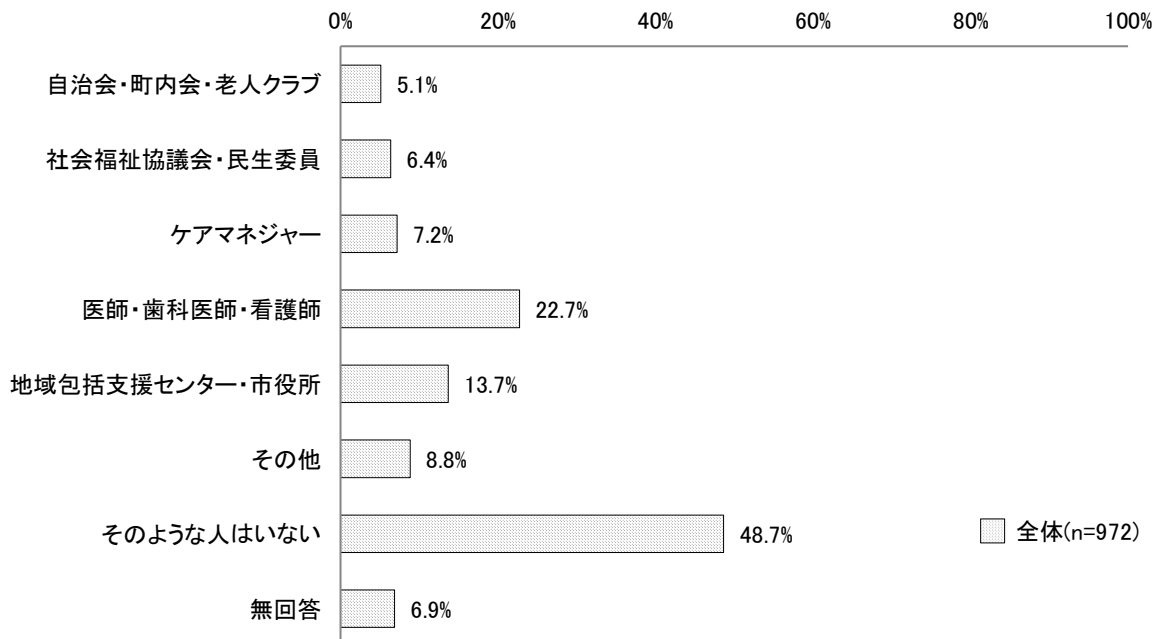
「看病や世話をしてくれる人」は、「配偶者」が 58.3%、「別居の子ども」が 34.5%となっている。「看病や世話をしをあげる人」についても「配偶者」が 57.6%、「別居の子ども」が 23.4%となっている。



家族や友人以外の相談相手

問6(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(〇はいくつでも)

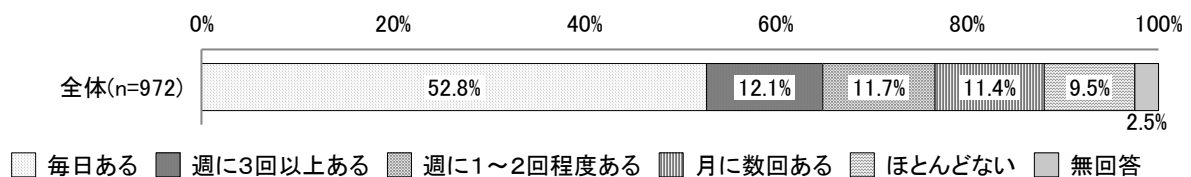
「そのような人はいない」が48.7%でもっとも割合が高くなっている。相談先としては、「医師・歯科医師・看護師」が22.7%、「地域包括支援センター・市役所」が13.7%となっている。



友人・知人と話す機会

問6(6) 家族、近所の人、友人・知人などと話す機会がどのくらいありますか。(〇は1つ)

「毎日ある」が52.8%でもっとも割合が高くなっている。一方で、「月に数回ある」と「ほとんどない」を合算すると20.9%となっている。

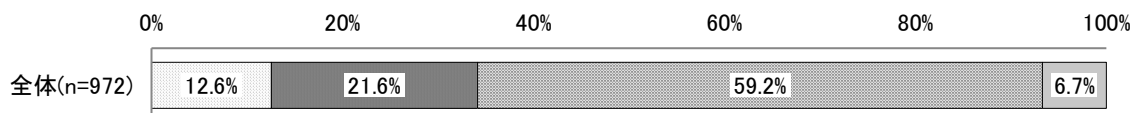


ボランティア活動への参加について

問6(7) ボランティア活動や支え合い活動について、あなたの考えに近いものを選んでください。(○は1つ)

「参加したくない」が 59.2%でもっとも割合が高く、次いで「報酬がなくても、参加してみたい」が 21.6%、「多少の報酬があるなら、参加してみたい」が 12.6%となっている。

年齢別にみると、65～74 歳では「多少の報酬があるなら、参加してみたい」の割合が他の年齢よりも高くなっている。



多少の報酬があるなら、参加してみたい
 報酬がなくても、参加してみたい
 参加したくない
 無回答

		件数	多少の報酬があるなら、参加してみたい	報酬がなくても、参加してみたい	参加したくない	無回答
全体		972	12.6	21.6	59.2	6.7
性別	男	432	14.1	22.7	57.4	5.8
	女	532	11.5	20.1	60.9	7.5
年齢	65～74歳	395	22.0	18.7	55.9	3.3
	75～84歳	456	7.5	23.9	60.3	8.3
	85歳以上	113	0.9	19.5	67.3	12.4

参加したいボランティア活動の内容

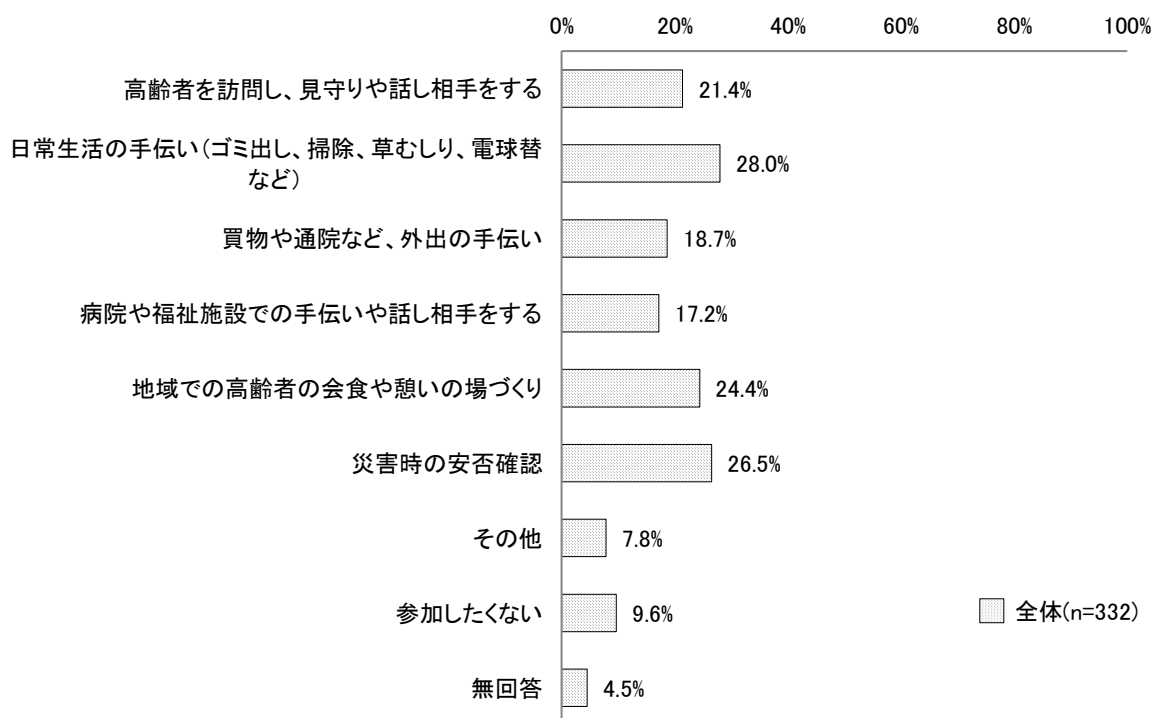
問6(7)①

※問6(7)で「1 多少の報酬があるなら、参加してみたい」、「2 報酬がなくても、参加してみたい」を選んだ方のみ

今後、高齢者の支援や援助を目的とする、以下のようなボランティア活動・支え合い活動で参加してみたいものはありますか。(〇はいくつでも)

「日常生活の手伝い(ゴミ出し、掃除、草むしり、電球替など)」が 28.0%でもっとも割合が高く、次いで「災害時の安否確認」が 26.5%、「地域での高齢者の会食や憩いの場づくり」が 24.4%、「高齢者を訪問し、見守りや話し相手をする」が 21.4%となっている。

年齢別にみると、65～74歳では「日常生活の手伝い(ゴミ出し、掃除、草むしり、電球替など)」や「病院や福祉施設での手伝いや話し相手をする」、75～84歳では「高齢者を訪問し、見守りや話し相手をする」や「災害時の安否確認」の割合が他の年齢よりも高くなっている。



		件数	高齢者を訪問し、見守りや話し相手をする	日常生活の手伝い（ゴミ出し、掃除、草むしり、電球替など）	買物や通院など、外出の手伝い	病院や福祉施設での手伝いや話し相手をする	地域での高齢者の会食や憩いの場づくり	災害時の安否確認	その他	参加したくない	無回答
	全体	332	21.4	28.0	18.7	17.2	24.4	26.5	7.8	9.6	4.5
性別	男	159	13.2	29.6	18.9	11.9	17.6	39.6	5.0	11.9	3.8
	女	168	29.8	26.8	18.5	22.6	30.4	13.7	8.9	7.7	5.4
年齢	65～74歳	161	18.6	32.9	23.0	24.8	21.7	21.1	6.2	13.0	3.1
	75～84歳	143	25.2	23.1	15.4	9.8	25.9	33.6	7.7	7.0	5.6
	85歳以上	23	21.7	26.1	8.7	13.0	30.4	17.4	8.7	4.3	8.7

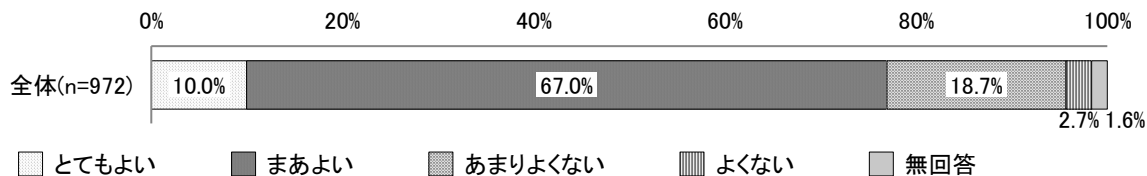
(8) 健康について

自身の健康状態

問7(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

「とてもよい」と「まあよい」を合算すると 77.0%となっている。

年齢別にみると、85歳以上では「よくない」と「あまりよくない」を合算すると 35.4%となっている。



		件数	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
全体		972	10.0	67.0	18.7	2.7	1.6
年齢	65～74歳	395	11.4	70.9	13.9	2.3	1.5
	75～84歳	456	9.2	66.9	20.2	2.2	1.5
	85歳以上	113	6.2	55.8	30.1	5.3	2.7

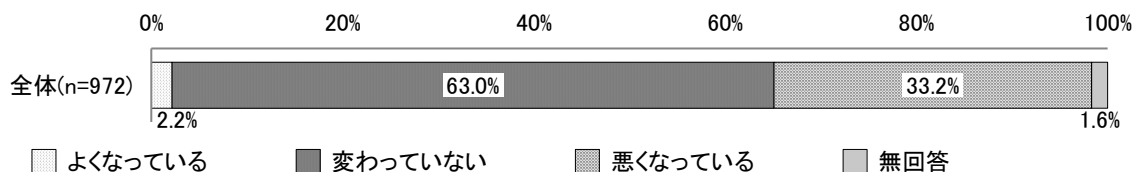
		件数	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
今回(R7)		972	10.0	67.0	18.7	2.7	1.6
前回(R4)		958	10.8	64.5	19.5	3.4	1.8

3年前と比べた健康状態

問7(2) 3年前(令和4(2022)年頃)と比べて、現在のあなたの健康状態はどうなっていますか。(○は1つ)

「変わっていない」が63.0%でもっとも割合が高く、次いで「悪くなっている」が33.2%、「よくなっている」が2.2%となっている。

外出頻度別にみると、外出頻度が多いほど「変わっていない」の割合が高く、「悪くなっている」の割合が低くなっている。

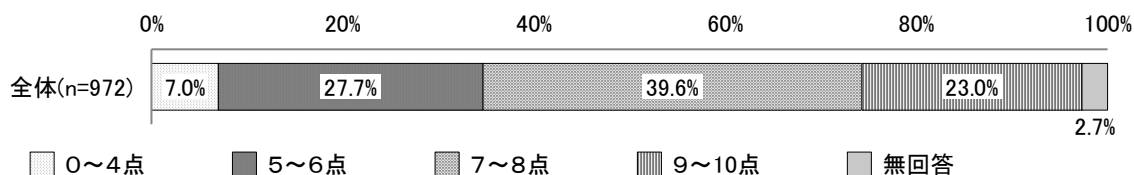


		件数	よくなっている	変わっていない	悪くなっている	無回答
全体		972	2.2	63.0	33.2	1.6
外出頻度	ほとんど外出しない	44	2.3	36.4	59.1	2.3
	週1回	114	0.9	53.5	43.0	2.6
	週2~4回	415	2.9	62.2	34.0	1.0
	週5回以上	393	1.5	70.0	26.5	2.0

現在の幸福度

問7(3) あなたは、現在どの程度幸せですか。(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、数字に○をつけてください)

7点以上が62.6%となっている。なお、「0~4点」は7.0%となっている。



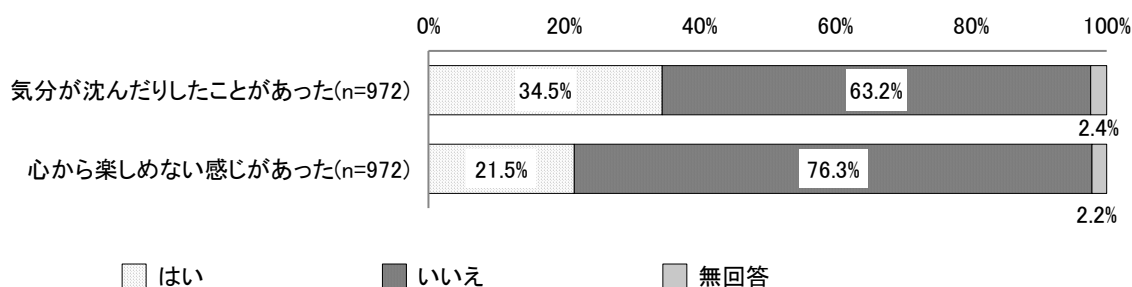
		件数	0~4点	5~6点	7~8点	9~10点	無回答
全体		972	7.0	27.7	39.6	23.0	2.7
年齢	65~74歳	395	8.6	23.5	46.6	18.7	2.5
	75~84歳	456	6.8	30.5	35.7	24.1	2.9
	85歳以上	113	1.8	31.9	31.0	32.7	2.7

		件数	0~4点	5~6点	7~8点	9~10点	無回答
今回(R7)		972	7.0	27.7	39.6	23.0	2.7
前回(R4)		958	8.5	27.7	37.5	23.0	3.4

心の状態

- 問7(4) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(〇は1つ)
- 問7(5) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(〇は1つ)

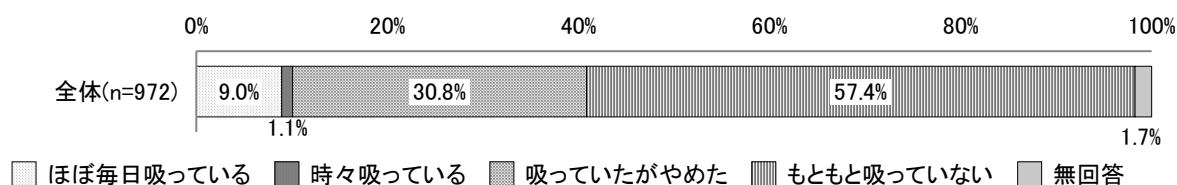
心の状態について、「はい」の割合をみると、「気分が沈んだりしたことがあった」が34.5%、「心から楽しめない感じがあった」が21.5%となっている。



喫煙の状況

- 問7(6) タバコは吸っていますか。(〇は1つ)

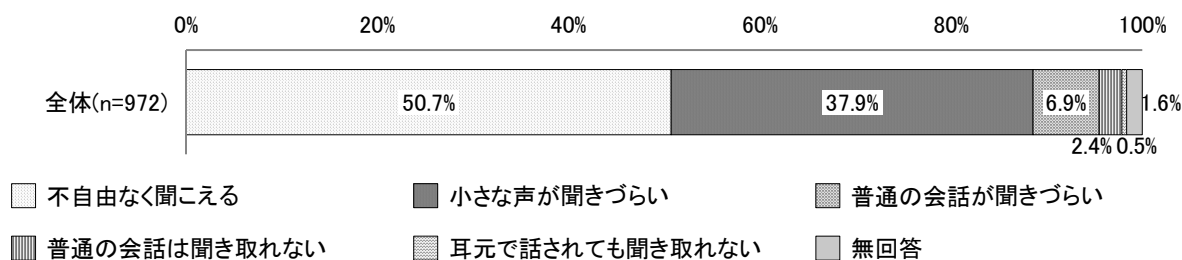
「もともと吸っていない」が57.4%でもっとも割合が高く、次いで「吸っていたがやめた」が30.8%、「ほぼ毎日吸っている」が9.0%となっている。



耳の聞こえについて

- 問7(7) 現在のあなたの日常生活において耳の聞こえについて教えてください。(〇は1つ)

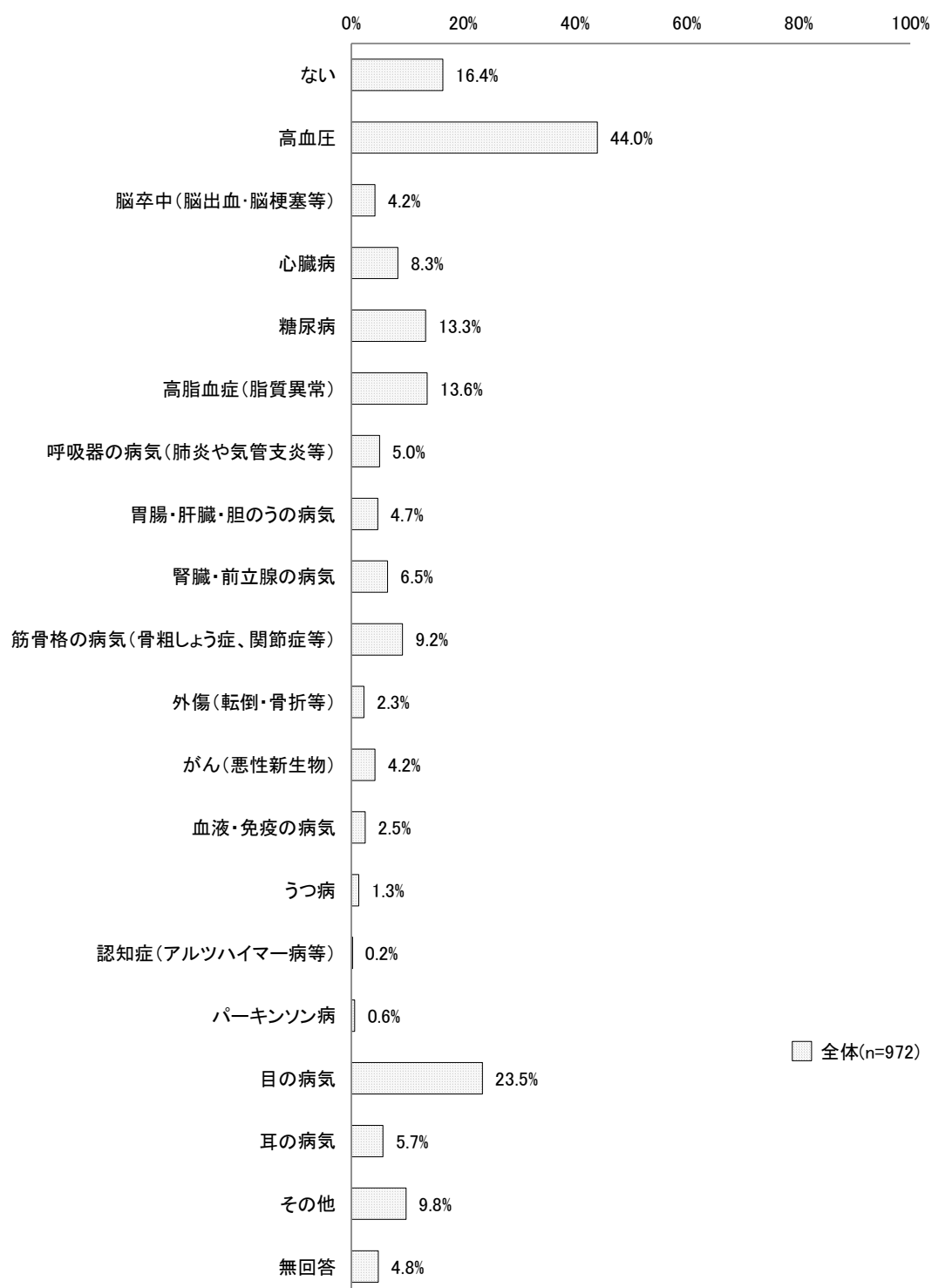
「不自由なく聞こえる」が50.7%でもっとも割合が高く、次いで「小さな声が聞きづらい」が37.9%、「普通の会話が聞きづらい」が6.9%となっている。



現在治療中、または後遺症のある病気

問7(8) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(○はいくつでも)

「高血圧」が 44.0%でもっとも割合が高く、次いで「目の病気」が 23.5%となっている。なお、「ない」が 16.4%となっている。



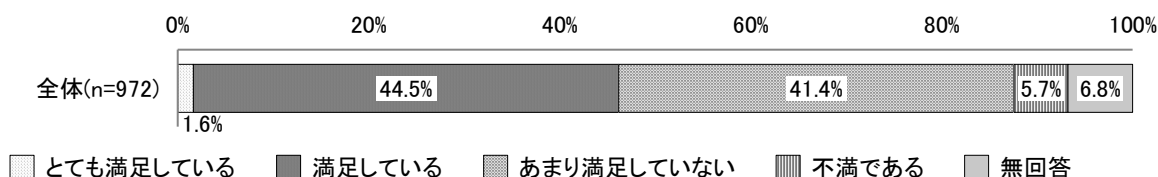
(9) 地域の社会資源について

市の住みやすさに対する満足度

問8(1) あなたは、「住みやすいまち」として、津島市に満足されていますか。(○は1つ)

「とても満足している」と「満足している」を合算すると 46.1%となっている。一方で、「不満である」と「あまり満足していない」を合算すると 47.1%となっている。

前回調査と比較すると、「とても満足している」と「満足している」を合算した割合が高くなっている。



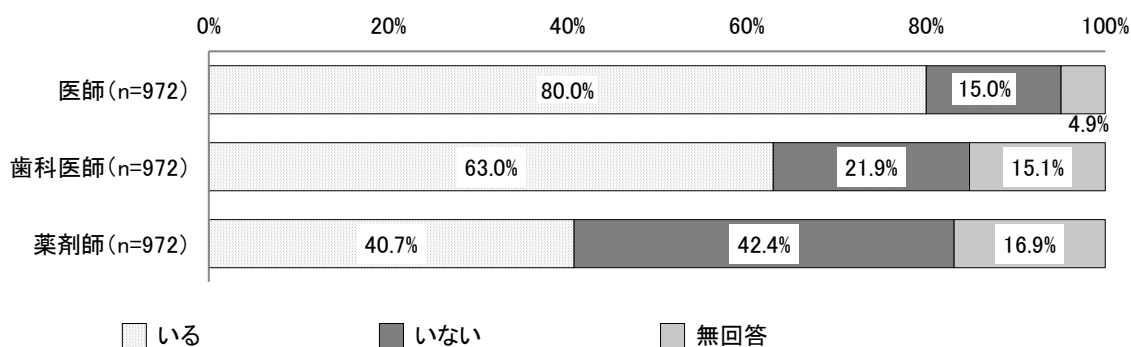
	件数	とても満足している	満足している	あまり満足していない	不満である	無回答
今回(R7)	972	1.6	44.5	41.4	5.7	6.8
前回(R4)	958	1.3	40.3	41.4	5.9	11.1

かかりつけ医の有無

問8(2) あなたには、いつでも気軽に相談できるかかりつけ医などがいますか。(○は1つずつ)

かかりつけ医などについては、「いる」は「医師」で 80.0%、「歯科医師」で 63.0%、「薬剤師」で 40.7%となっている。

前回調査と比較すると、医師、歯科医師、薬剤師ともに「いる」の割合が高くなっている。



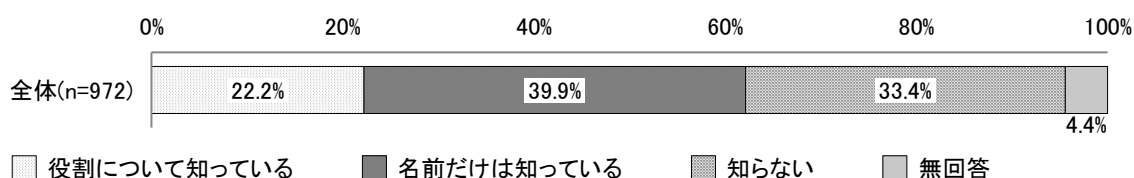
		件数	いる	いない	無回答
医師	今回(R7)	972	80.0	15.0	4.9
	前回(R4)	958	77.5	14.1	8.5
歯科医師	今回(R7)	972	63.0	21.9	15.1
	前回(R4)	958	58.7	22.1	19.2
薬剤師	今回(R7)	972	40.7	42.4	16.9
	前回(R4)	958	38.0	38.3	23.7

地域包括支援センターの認知度

問8(3) あなたは、高齢者への総合的な生活支援の相談窓口である地域包括支援センターが、津島市にあることを知っていますか。(○は1つ)

「名前だけは知っている」が 39.9%でもっとも割合が高く、次いで「知らない」が 33.4%、「役割について知っている」が 22.2%となっている。

前回調査と比較すると、「役割について知っている」の割合が高くなっている。

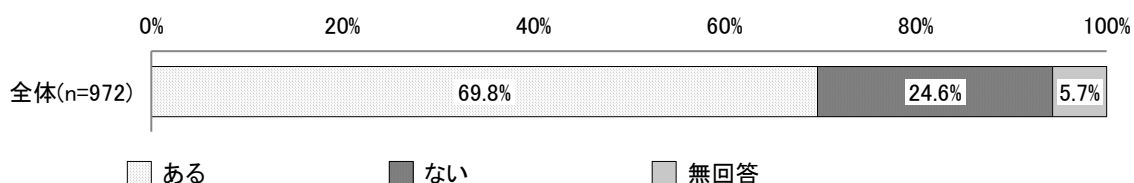


	件数	役割について知っている	名前だけは知っている	知らない	無回答
今回(R7)	972	22.2	39.9	33.4	4.4
前回(R4)	958	17.2	40.2	35.0	7.6

気軽に外出できる自宅近くの場所の有無

問8(4) 気軽に外出できる場所がありますか。(○は1つ)

「ある」が 69.8%、「ない」が 24.6%となっている。

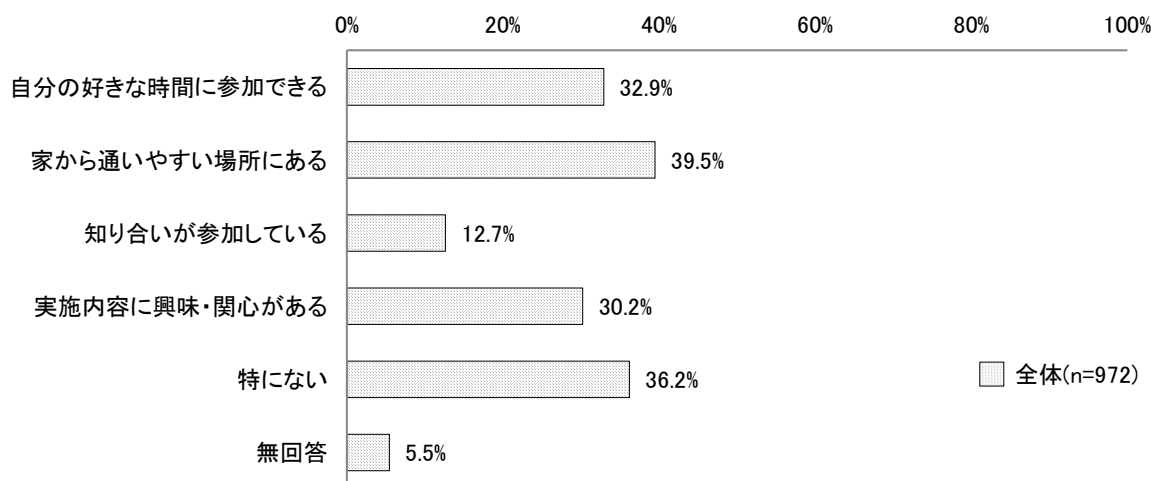


住民が主体となって運営する場への参加意向

問8(5) 住民が主体となって運営する場について、どのような場であれば参加したいですか。
(〇はいくつでも)

「家から通いやすい場所にある」が 39.5%でもっとも割合が高く、次いで「自分の好きな時間に参加できる」が 32.9%となっている。なお、「特にない」が 36.2%となっている。

年齢別にみると、65～74 歳では「自分の好きな時間に参加できる」や「実施内容に興味・関心がある」、85 歳以上では「家から通いやすい場所にある」の割合が他の年齢よりも高くなっている。



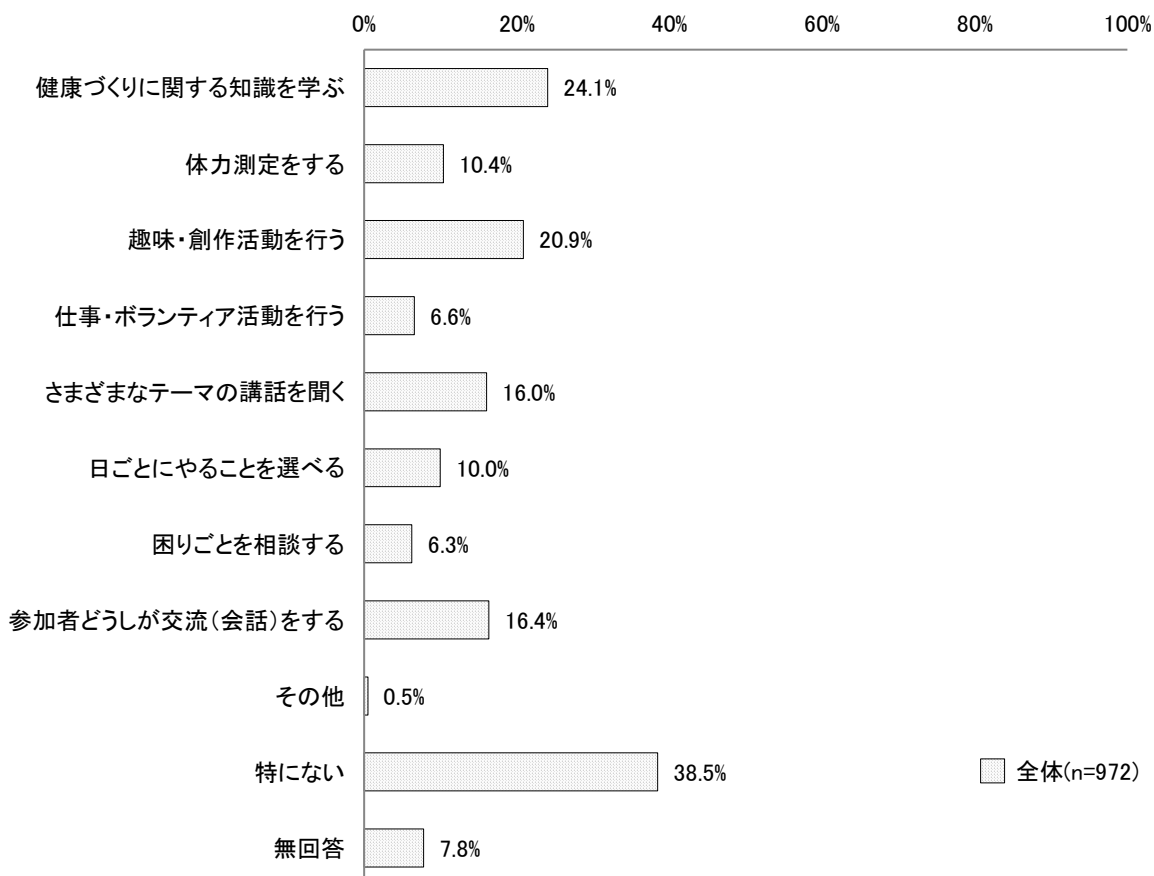
		件数	自分の好きな時間に参加できる	家から通いやすい場所にある	知り合いが参加している	実施内容に興味・関心がある	特にない	無回答
全体		972	32.9	39.5	12.7	30.2	36.2	5.5
性別	男	432	29.9	29.4	10.6	27.8	42.1	7.2
	女	532	35.5	47.6	13.9	32.1	31.4	4.1
年齢	65～74歳	395	36.7	39.2	11.9	39.5	34.4	4.6
	75～84歳	456	31.4	38.4	12.7	26.1	37.5	5.3
	85歳以上	113	26.5	44.2	13.3	14.2	37.2	9.7

住民が主体となって運営する場でやりたいこと

問8(6) 住民が主体となって運営する場で、どのようなことをしたいですか。(〇はいくつでも)

「健康づくりに関する知識を学ぶ」が24.1%と最も割合が高く、次いで「趣味・創作活動を行う」が20.9%、「参加者どうしが交流(会話)する」が16.4%となっている。なお、「特にない」は38.5%となっている。

年齢別にみると、65～74歳では「趣味・創作活動を行う」の割合が他の年齢よりも高くなっています。

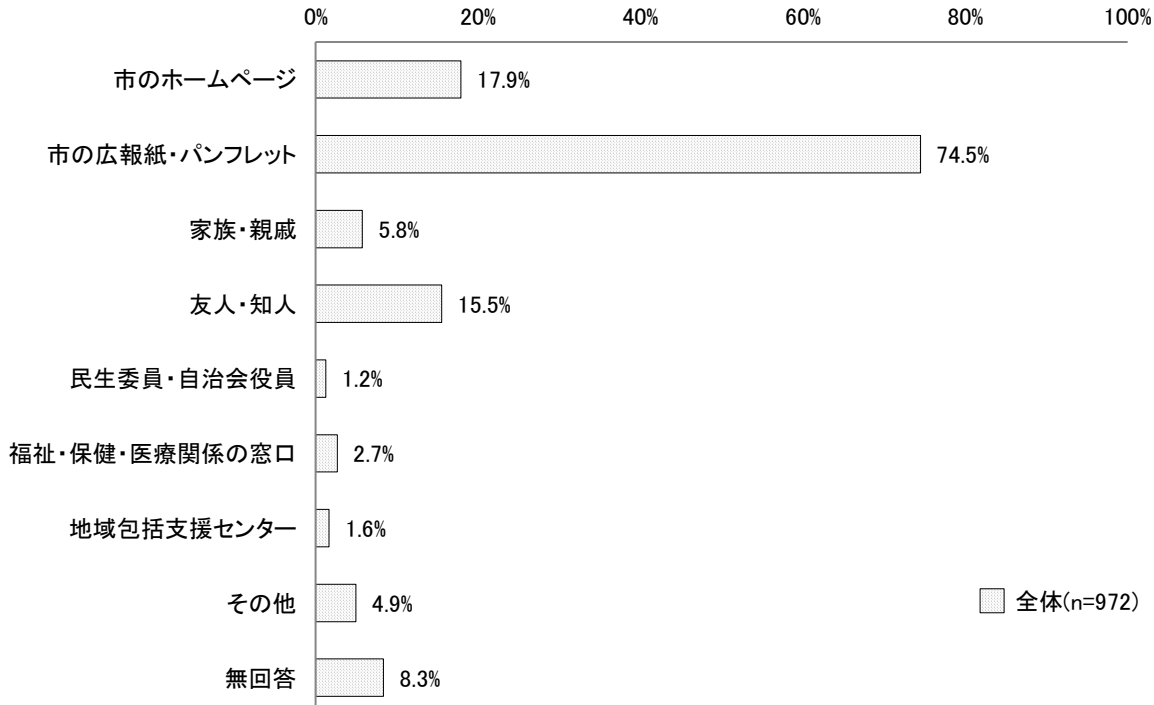


	件数	健康づくりに関する知識を学ぶ	体力測定をする	趣味・創作活動を行う	仕事・ボランティア活動を行う	さまざまなテーマの講話を聞く	日ごとにやることを選べる	困りごとを相談する	参加者どうしが交流（会話）をする	その他	特にない	無回答	
全体	972	24.1	10.4	20.9	6.6	16.0	10.0	6.3	16.4	0.5	38.5	7.8	
年齢	65～74歳	395	23.3	9.6	28.4	8.6	18.0	11.6	6.8	13.9	1.0	38.0	5.3
	75～84歳	456	25.9	10.5	17.3	5.7	16.2	8.8	6.4	17.8	0.0	39.3	8.6
	85歳以上	113	18.6	11.5	8.8	2.7	8.8	8.8	4.4	17.7	0.9	37.2	14.2

教室や講座に関する情報の入手方法

問8(7) あなたは、津島市で行っている各種教室や講座の情報をどこから収集していますか。
(○はいくつでも)

「市の広報紙・パンフレット」が 74.5%でもっとも割合が高く、次いで「市のホームページ」が 17.9%、「友人・知人」が 15.5%となっている。

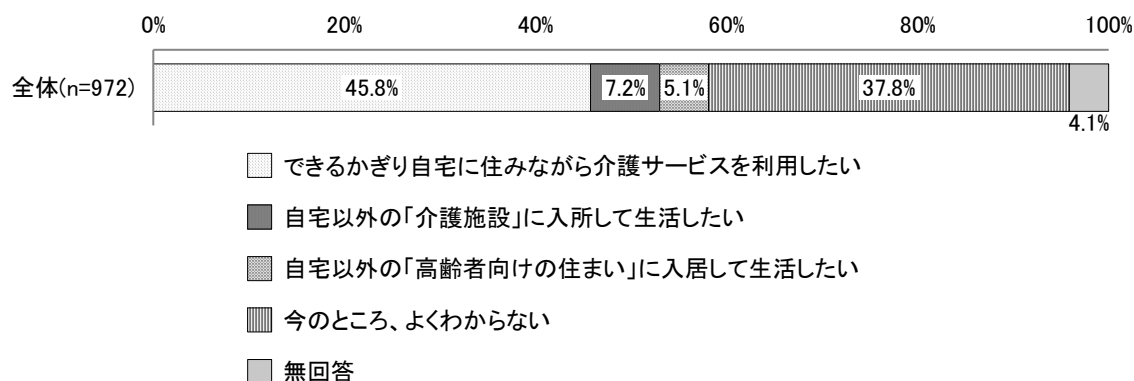


(10) 今後の介護・高齢者施策について

自身が受けたい介護

問9(1) あなたに介護が必要となった場合、どこで介護を受けたいと思いますか。(○は1つ)

「できるかぎり自宅に住みながら介護サービスを利用したい」が 45.8%でもっとも割合が高く、次いで「今のところ、よくわからない」が 37.8%、「自宅以外の「介護施設」に入所して生活したい」が 7.2%となっている。



	件数	できるかぎり自宅に住みながら介護サービスを利用したい	自宅以外の「介護施設」に入所して生活したい	自宅以外の「高齢者向けの住まい」に入居して生活したい	今のところ、よくわからない	無回答
今回(R7)	972	45.8	7.2	5.1	37.8	4.1
前回(R4)	958	42.3	12.2		42.2	3.3

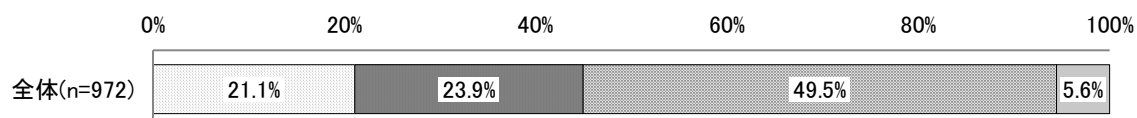
※「自宅以外の「高齢者向けの住まい」に入居して生活したい」の選択肢は今回の調査で新たに追加した。

※「介護施設」とは介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院等の介護保険による施設サービスを指し、「高齢者向けの住まい」とはサービス付き高齢者住宅、住宅型有料老人ホーム等の住まいを指す。

介護保険料と介護サービスのあり方についての考え方

問9(2) 介護保険料と介護サービスのあり方について、あなたのご意見に近いものはどれですか。(○は1つ)

「どちらとも言えない」が 49.5%でもっとも割合が高く、次いで「給付される介護サービスを多少抑えても、介護保険料は低い方がよい」が 23.9%、「介護保険料が多少高くなっても、給付される介護サービスが充実できればよい」が 21.1%となっている。



- 介護保険料が多少高くなっても、給付される介護サービスが充実できればよい
- 給付される介護サービスを多少抑えても、介護保険料は低い方がよい
- どちらとも言えない
- 無回答

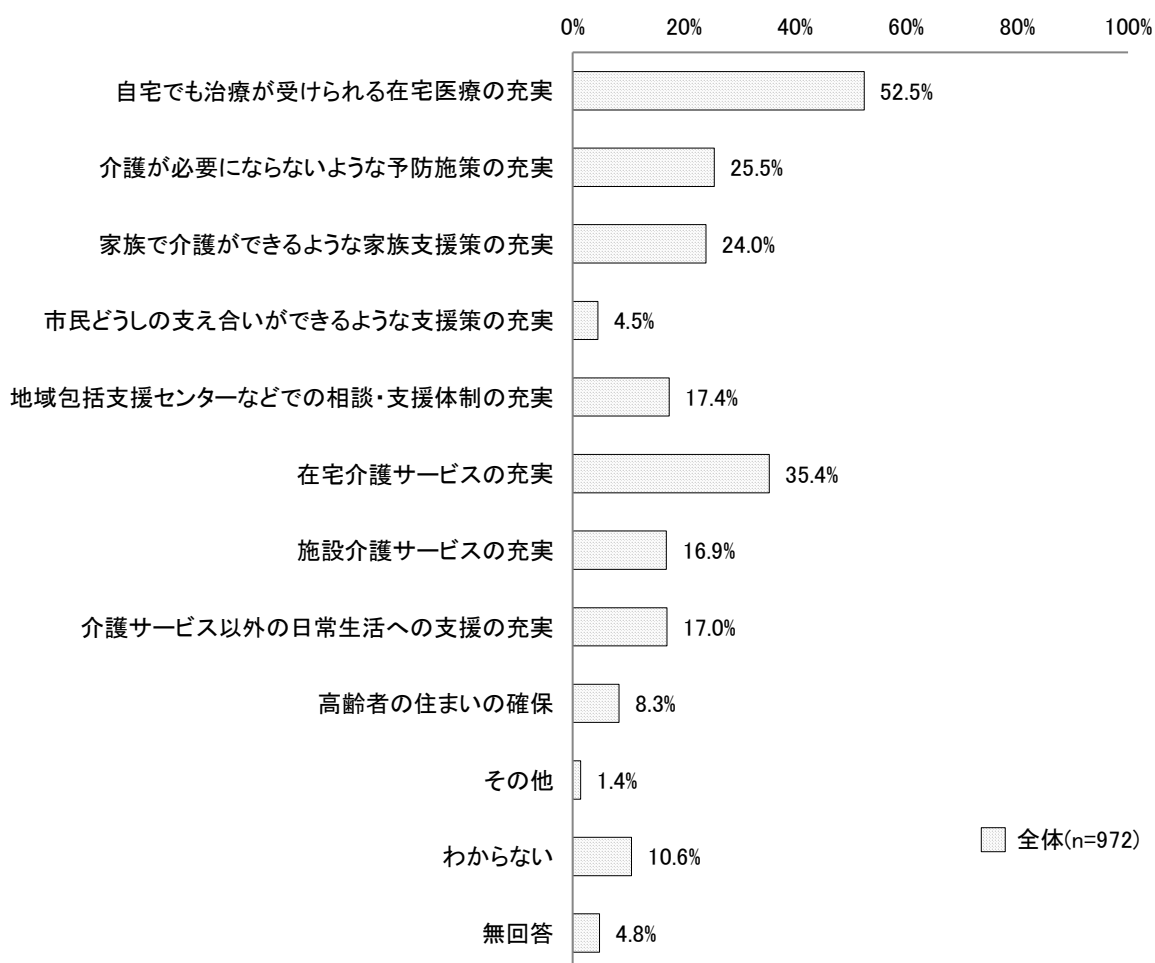
	件数	介護保険料が多少高くなっても、給付される介護サービスが充実できればよい	給付される介護サービスを多少抑えても、介護保険料は、低い方がよい	どちらとも言えない	無回答
今回(R7)	972	21.1	23.9	49.5	5.6
前回(R4)	958	19.0	24.5	51.1	5.3

市に望む介護体制の充実

問9(3) 高齢者への介護体制の充実のため、津島市にどのようなことを希望しますか。(〇は3つまで)

「自宅でも治療が受けられる在宅医療の充実」が52.5%でもっとも割合が高く、次いで「在宅介護サービスの充実」が35.4%、「介護が必要にならないような予防施策の充実」が25.5%となっている。

年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「自宅でも治療が受けられる在宅医療の充実」や「在宅介護サービスの充実」の割合が高くなっている。世帯別にみると、1人暮らしでは「介護サービス以外の日常生活への支援の充実」や「高齢者の住まいの確保」の割合が他の世帯よりも高くなっている。



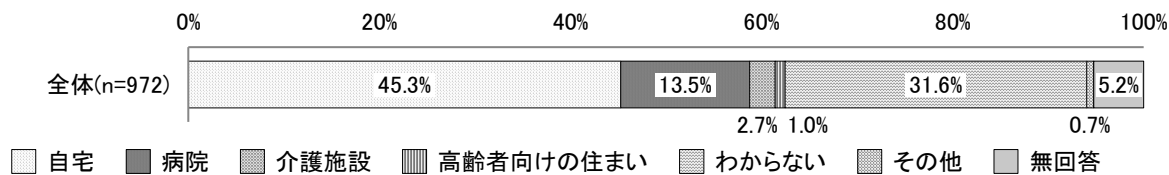
	件数	自宅でも治療が受けられる在宅医療の充実	介護が必要にならないような予防施策の充実	家族で介護ができるような家族支援策の充実	市民どうしの支え合いができるような支援策の充実	地域包括支援センターなどでの相談・支援体制の充実	在宅介護サービスの充実	施設介護サービスの充実	介護サービス以外の日常生活への支援の充実	高齢者の住まいの確保	その他	わからない	無回答	
全体	972	52.5	25.5	24.0	4.5	17.4	35.4	16.9	17.0	8.3	1.4	10.6	4.8	
年齢	65～74歳	395	45.8	24.1	23.3	4.8	18.0	30.9	18.7	20.8	10.4	1.8	13.9	3.8
	75～84歳	456	56.8	27.4	25.0	4.4	16.0	38.2	15.1	15.4	6.6	1.3	8.8	4.4
	85歳以上	113	60.2	22.1	23.0	3.5	21.2	41.6	17.7	10.6	8.0	0.9	3.5	10.6
世帯	1人暮らし	193	47.7	27.5	7.3	8.3	21.8	32.6	17.6	20.2	13.5	1.0	13.5	3.6
	高齢者のみ	353	55.0	27.2	25.8	2.5	16.1	38.8	16.4	17.0	6.2	1.4	10.5	3.7
	その他	381	52.0	23.1	30.7	4.2	16.3	33.9	17.8	15.0	7.3	1.6	10.5	6.0

最期を迎えたい場所

問9(4) あなたは、どこで最期を迎えたいと思いますか。(○は1つ)

「自宅」が45.3%でもっとも割合が高く、次いで「わからない」が31.6%、「病院」が13.5%となっている。

前回調査と比較すると、「自宅」の割合がやや低くなり、「わからない」の割合がやや高くなっている。



	件数	自宅	病院	介護施設	高齢者向けの住まい	わからない	その他	無回答
今回(R7)	972	45.3	13.5	2.7	1.0	31.6	0.7	5.2
前回(R4)	958	50.3	14.1	2.3		28.9	0.7	3.7

※「高齢者向けの住まい」の選択肢は今回の調査で新たに追加した。

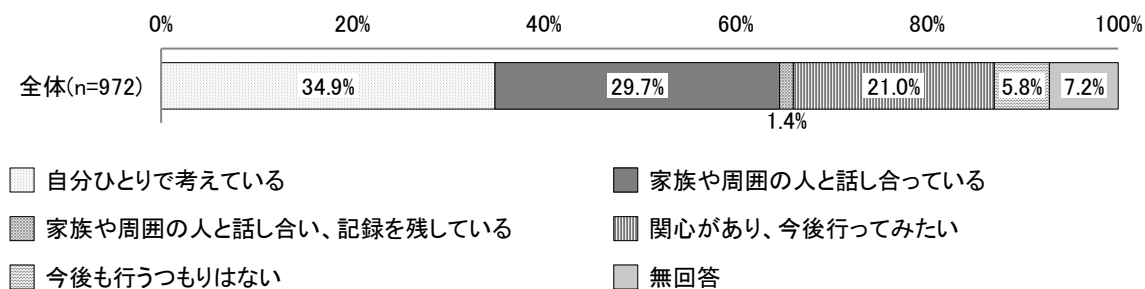
※「介護施設」とは介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院等の介護保険による施設サービスを指し、「高齢者向けの住まい」とはサービス付き高齢者住宅、住宅型有料老人ホーム等の住まいを指す。

人生会議の実施状況

問9(5) 万が一のときに備えて、どのような治療やケアを希望するかについて、話し合うこと(ACP:人生会議)を行っていますか。(○は1つ)

「自分ひとりで考えている」が34.9%でもっとも割合が高く、次いで「家族や周囲の人と話し合っている」が29.7%、「関心があり、今後行ってみたい」が21.0%となっている。

前回調査と比較すると、「自分ひとりで考えている」の割合がやや高くなり、「家族や周囲の人と話し合っている」の割合がやや低くなっている。

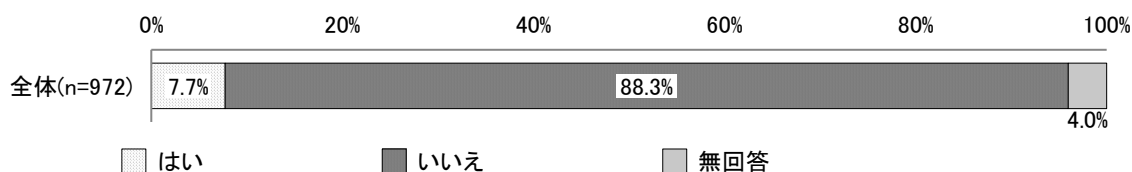


	件数	自分ひとりで考えている	家族や周囲の人と話し合っている	家族や周囲の人と話し合い、記録を残している	関心があり、今後行ってみたい	今後行うつもりはない	無回答
今回(R7)	972	34.9	29.7	1.4	21.0	5.8	7.2
前回(R4)	958	30.7	34.1	2.0	21.1	6.8	5.3

家族における認知症の症状の有無

問9(6) 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つ)

「はい」が7.7%、「いいえ」が88.3%となっている。

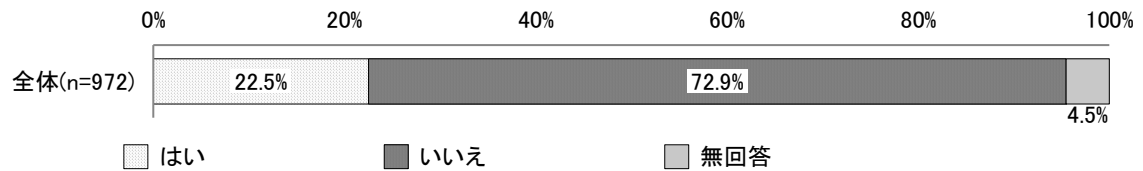


認知症の相談窓口について

問9(7) 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

「はい」が22.5%、「いいえ」が72.9%となっている。

地域別にみると、暁・神守では「はい」の割合が天王・藤浪よりも高くなっている。



		件数	はい	いいえ	無回答
	全体	972	22.5	72.9	4.5
地域	暁・神守	479	25.5	70.4	4.2
	天王・藤浪	485	19.6	75.5	4.9

		件数	はい	いいえ	無回答
	今回(R7)	972	22.5	72.9	4.5
	前回(R4)	958	23.6	68.4	8.0

介護・高齢者福祉に対する意見・要望

問9(8) その他、介護・高齢者福祉に対するご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。

介護・高齢者福祉に対する意見・要望として、184件の自由記述回答があった。下記表は、項目を設定し、これに該当する件数を示したものであり、そのうちの主な意見を以下に抜粋して掲載する。

No	内 容	該当数
1	移動・交通について	14
2	相談・情報提供について	33
3	介護予防・集いの場・教室について	18
4	経済的負担について	34
5	在宅介護について	22
6	施設サービスについて	33
7	在宅生活について	12
8	地域・助け合いについて	15
9	将来の不安について	26
10	高齢者福祉全般について	31
11	その他	10

※1つの意見が複数の内容に当てはまる場合はそれぞれに計上しているため、該当数の合計は意見の総数とは一致しない。

1 移動・交通について

- ・ 保健センターの場所が遠く交通の便が悪いので、市役所で相談や手続きができるようにしてほしい。
- ・ 公共交通機関がとても不便なので、もっと便利に気軽に利用できる小型バス、タクシーを導入してほしい。おでかけタクシーはなかなか利用しにくい。予約を入れても長く待たされる。
- ・ 現在は健康な日々を過していますが、福祉関連として巡回バスが少なく感じます。買い物、医院等、近所の高齢の方より苦情を聞いています。タクシーも少なく、勝幡駅も不可との事。車の運転がどうしても必要となり不安です。
- ・ 高齢者の移手段が少ない。ふれあいバスの本数を増して欲しい。
- ・ 巡回バスは70歳以上は無料にしてほしい。
- ・ ふれあいバスを津島駅で乗り換えなしで直接に目的地に行けるよう、本数が多いと助かると思います。
- ・ 今のおでかけタクシーが長く続いてほしいです。料金1/4が助かりますので。
- ・ 今は運転ができるが地域は交通が不便の為巡回バスではなく巡回タクシーがあると良いと思います。

2 相談・情報提供について

- ・ 市から高齢者向けの情報を発信は広報にまとめるのではなく、対象世帯個々にもピックアップして配布することも併用したらどうか？ 広報を同居家族全員が読むことは少ないのでは？
- ・ いろいろな仕組みがあり、最初に相談した時にはさっぱりわからない。利用中も自分や母にとって何が最適かわからない。それぞれの事情を聞いて分かりやすく説明する仕組みや利用し始めのフォローする仕組みがほしいです。

- ・ 現在、健康状態が良いので考えないけど、いざという時に力を貸してくれたり、動いていただける連絡先があると安心です。
- ・ 情報、サービス等、市役所の窓口でワンストップ等一元化で色々知りたい時、たらいまわしにされたら、疲れるし面倒な気がして利用しないかも。
- ・ 老々介護についての質問、相談窓口がありますか。一人で配偶者を支えるのが大変です。
- ・ 今後のことを考えると、高齢者の福祉対応が行政としての課題だと考えます。広報や HP でのアナウンスに期待します。
- ・ サービスの格差が現状ではあり、それが利用者には分かりにくいと思います。サービス内容や利用料金、スタッフのマナーやモラル等々、評価、比較のための情報公開を要望します。
- ・ 母親を介護していて市役所の高齢介護課に電話で相談すると親切に色々教えてくれて安心できた。介護はやっている人しか大変な事が分からないのでこれからも熱心に話を聞いて助けてほしいです。言葉だけでも心が軽くなります。よろしくをお願いします。
- ・ 現在、介護等を必要とするような状態ではありませんが、将来的に必要とすることが考えられますので、情報として収集していきたいと思います。広報、SNS 等で情報発信をお願いします。

3 介護予防・集いの場・教室について

- ・ 介護している人、してもらっている人、高齢者の健康な人 1 ヶ月に 1 回以上通院している人等のつどいを企画してもらって、生活の向上を目標によりよい生活ができるように努力してもらおう。
- ・ まだ施設のサービスは受けてないですが、住んでいる近くで気楽に楽しめて入浴できる所があるといいなと思います。
- ・ 他の市町村にくらべて津島市はダメだと言われたいよう、高齢者を大切にする市にしてほしい。安く利用できるジムや図書館、プールを考えてほしい。出かける所が医者ばかりでは楽しくないと思うので。
- ・ 人気があるヨガ教室、抽選でなかなか当たらない。もっと広い場所で人数を増やしてほしいです。
- ・ 近隣の高齢者の方々と接する際、ご自身の心の内を安心して話せる相手を求めてみえる方が多くいらっしゃるなど感じます。人との会話によって、少しでも心豊かに日常が過ごせるように、気楽に集える場所ができればと望みます。
- ・ 健康で歩けるように、天王川でお天気のよいときは、ウォーキングする事もあります。おとなりの佐屋の親水公園のような 300 円ぐらいで使用できるスポーツジムがあると嬉しい。
- ・ 食事(栄養学)、介護、認知症などの講習会(いろいろこれからのこと)があると嬉しいです
- ・ 高齢者が気軽に集まり、交流できる場や高齢クラブみたいな(楽しいマージャンとかオセロとか)生きがいづくりをやってほしい。多少、お金かかってもいいから。
- ・ 気軽に筋トレできる施設等を増やしてほしい。子供の数が減り遊園地が減ってしまいその跡地に大人が散歩の途中で気軽にできる設備があると良いと思う。
- ・ 高齢者が 1 日楽しく過ごせる場所を増やしてほしい。
- ・ 現実まだ深く考えていないが、胃ろうなどせず、自然に死を迎えたいと思っているため、できるだけ体を働かせているので、そういう場をもっと安い会費で、死の直前まで自分でトイレに行ける体力、気力が持てるような力をかりたい。

4 経済的負担について

- ・ 費用の面で施設への入所をあきらめ苦勞をしている方々もいます。低料金で入所できるといいですね。
- ・ 年金生活の為、今後も市の財政困難であります。健康保険、介護保険等このままの保険料で、これ以上上げないでほしいです。
- ・ 80歳以上の健康保険料、介護保険料等を安くしてほしい。
- ・ 介護費用が高いと利用できない。なるべく多く利用できる様にして欲しい。
- ・ 保険料が高い。介護サービスを受けない70歳以上の人には、商品券を出すなど見返りがあれば、更に健康増進につながるのではないか。
- ・ 子供には迷惑かけたくないので、介護施設を考えています。自分でできるうちは自宅にいたい。介護施設の料金がなくて、年金では払えないし、施設の順番待ちをしなければならない。自分の親の時に思いました。年金で入れる施設を増やして欲しいです。
- ・ 要望ではないが、施設に入居が必要になった時、低所得者でも入居できるか心配。
- ・ 低料金で入所できる介護施設が増えると良い。

5 在宅介護について

- ・ 認知症が重くなると介護にも限りがあり、施設等に入所せざるを得ないと思います。親を見送った経験上限界があると感じました。
- ・ 元気で自分で動ける内は自宅で過ごし、介護を受けないといけない状態になったら、それなりの施設を利用したいと思っている。
- ・ 週5日の月も、5回サービスを提供してほしい(デイケア等の在宅介護サービス)。
- ・ 老々介護。同居なしでの家族での介護は、介護する方としては仕事を持っているし、過大な負担は掛けたくない。
- ・ 両親と同居しています。今現在、両親も自分の事は、自分でできるので、まだ、私自身の先の事は、考えていません。人生最後の方も、介護施設に頼るのではなく、人間らしく、生きてもらいたいです。進んでリハビリしたくなるようなプログラム、老人として扱うのではなく、人として生きがいのある施設を作ってほしいです。
- ・ ヘルパーの仕事をしています。保険内で、できる事、できない事があり現場で困る事があります。できない事は自費での対応でお金がかかる事になります。ヘルパー不足もあり、自分が介護保険を利用したい時にはどうなるのだろうと、不安です。私は自宅で過ごしたいと考えています。

6 施設サービスについて

- ・ 85歳まで介護施設等利用しなかった人は優先的に入所できるようにしてほしい。
- ・ 介護施設に入ったら、暗い感じがするのではなく、明るい所であって欲しい。保育園や学校のように時間割的生活、音楽、体育、国語のように老後が暗い生活でなく、みんなで楽しく暮らしたい。人件費的に大変な事と思います。介護者も介護される人も、生き甲斐や楽しみを感じたい。
- ・ 特養老人ホームの増設。
- ・ 介護が必要になった時、人それぞれの年金内で待つ事なくすぐ入所できる事を望みます。
- ・ ヘルパーさんが少ない為入居者様が望む介護は大変です。自分でできる事でもやってもらいたいと思っている入居者様がいます。入居費用が高いです。施設でいろいろな事件がありますがヘルパーさんが傷つけられる事もあります。

- ・ 自宅介護は家族の負担が大きくなりすぎると思うので施設との兼ね合いを考える。

7 在宅生活について

- ・ 高齢者の方々が最後まで幸せに暮らせたと思うような仕組みを築いて欲しい(健康が保たれ安定した生活)隅々までいき届く、孤立者をなくす(質の向上より最優先)等細やかな事に取り組んで欲しい。
- ・ 車を利用できない高齢者にとって病院、医院への通院又スーパー、商店への往復等、高齢者だけの世帯にとって大変な事と思います。生活支援の充実をお願いしたい。
- ・ 町内も高齢者が多くなり家の保守管理ができなくなっています。ゴミゼロ運動に参加していますが、空地・雑草・空家の保守管理、特に空家の庭木手入れができず、枝は伸び太くなり枯葉が自分の庭に飛んでくる。屋根の樋はつまる。空家だけでなく庭木対策もお願いします。高齢者になり庭掃除を一年続けるのは苦痛です。
- ・ 一人で居る時、倒れると連絡方法がない。電話口まで行けないと思う。
- ・ ニュース等で高齢者の車事故を見て、免許返納致し、現在灯油を買うのに他県から子供が来て買いに行っているの、高齢者世帯に配達して下さるガソリン業者があると助かります。

8 地域・助け合いについて

- ・ 今の所は今のままで、他人にできる事を手伝ってあげたい。もしもの時はお願いしたい。
- ・ それぞれ歩いて来た人生や経験、思考などさまざまで、基本的には自主自立、家族の支えであるが、状況が変化することも相当あり、行政や地域、医療や福祉などの支えも必要となってくる場合も考慮して、今後の生き方、すごし方、家族の負担の過度にならないように、自身で考え方や対処をしていきたい。
- ・ もう少し、現実の生活に余裕があると、自分のこと、友人達の手伝い、話しながらランチ等しながら出かけられる。
- ・ 無理をせず、1人だけに介護をさせず、家族の中だけで終わらせず、まずい、危ないを市民全員が目をはからせながら難しい面もありますが、電話1つでも相談窓口に伝えていけたらと考えます。

9 将来の不安について

- ・ 老老介護の時、支援が行き届かないと、疲れと気苦労から問題が発生すると思います。
- ・ 自分の心が(先行の)不安になった時、福祉事務所に行き、色々相談していただいておりますと心が安心します(生きる事に対して)。
- ・ 元気で動けるのであまり深く考えた事がなかったが、今回のアンケートをした事で、介護、福祉について家族、友人との間でも、もっと話してみる事の大切さを痛感しました。
- ・ 高齢者の二人暮らしですのでこの先心配です。娘は二人とも東京にいます。
- ・ 今はまだ実感が無いので、どんな形でも助けていただければありがたいと思います。
- ・ 必要になっても中々入所する事ができないのではないかと心配ばかりです。
- ・ 自分自身よく考える問題ですがなかなか答えを出すのに難しいです。

10 高齢者福祉全般について

- ・ 介護、高齢者福祉については、今や人ごとではなくなってきた。
- ・ 公的機関での24時間在宅介護システムを作って欲しい(介護スタートの相談から終末期看

取り)。できれば、介護保険の活用で葬儀まで完結できる様なシステムに。

- ・ このアンケートは 65 歳以上の方となっておりますが、事業にあたっては壮年期の人など各層にも高齢者に対する施策をきいてみるのも必要ではないかと。高齢者と若者の交流(家族も核家族化)が減ってきている。人生 100 年時代なので皆で考えないといけないと思います。
- ・ 子供対策も必要ですが、先の少ない高齢者にも配慮していただけたら幸いです。また、他自治体よりも率先して津島市独自で”高齢者にすごしやすい一番の町処”と行政に期待しています。
- ・ バリアフリーの所を多く作ってほしい。
- ・ 老人福祉センターの風呂は、いつまで休止しているのか？修理不能なら新築してほしい。
- ・ 年をとってくるといろいろ見、聞きしますが実際としてよく分かりません。その時々で 1 番よい選択をして行こうといつも思っています。何が良いのかな、分かりませんが。

11 その他

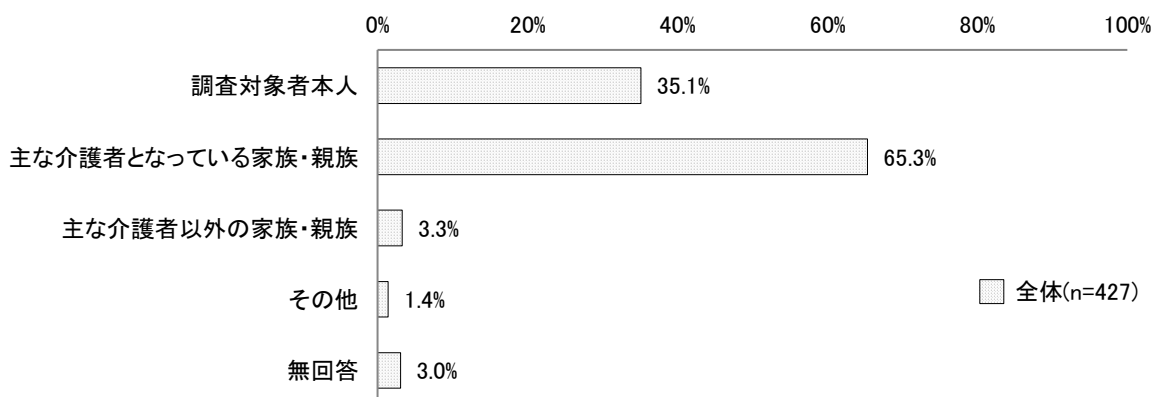
- ・ 返信用封筒が小さい。
- ・ アンケート全般について、インターネットの活用を願いたい。
- ・ 今回このようなアンケートが届き正直ビックリです。週 5 日毎日 8 時間働いているので介護についてなど考えられません。70 代の方を中心にお願いしてはどうでしょうか？

3 在宅介護実態調査

(1) 対象者の属性

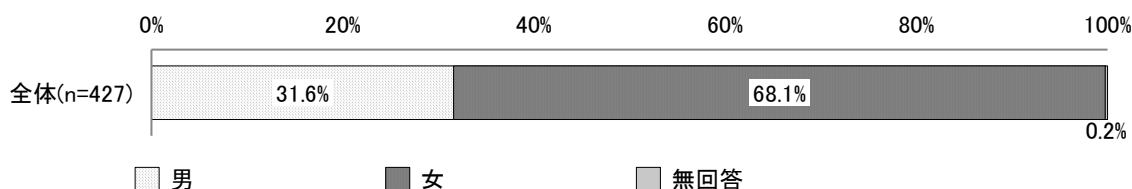
調査票の記入者

「主な介護者となっている家族・親族」が65.3%、「調査対象者本人」が35.1%となっている。



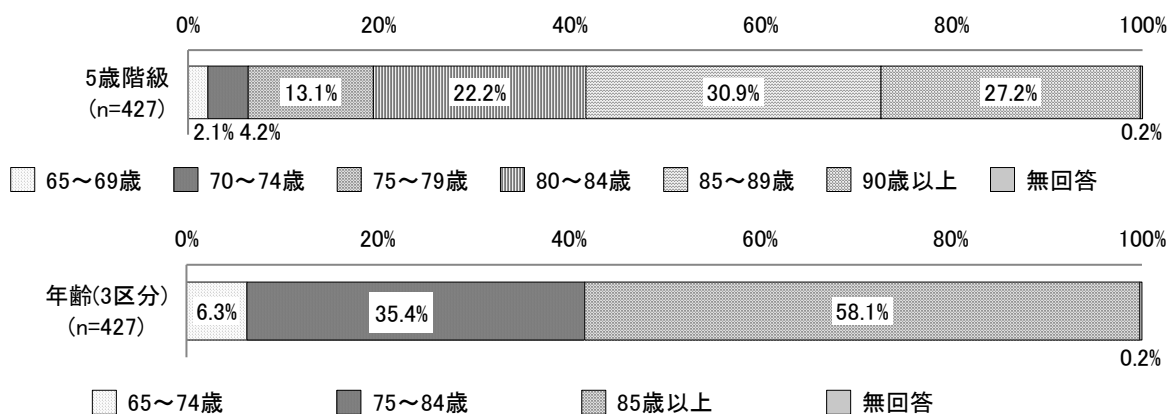
本人の性別

「男」が31.6%、「女」が68.1%となっている。



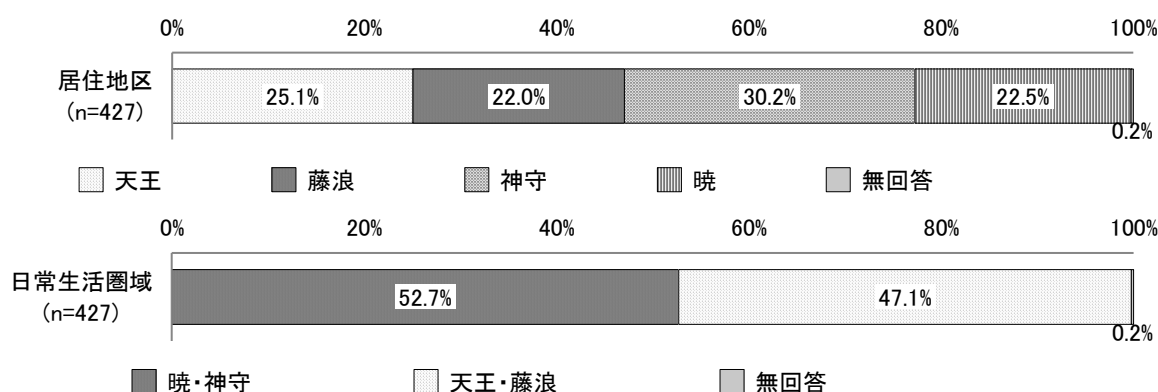
本人の年齢

「85～89歳」が30.9%でもっとも割合が高くなっている。3区分では、「65～74歳」が6.3%、「75～84歳」が35.4%、「85歳以上」が58.1%となっている。



本人の居住地区

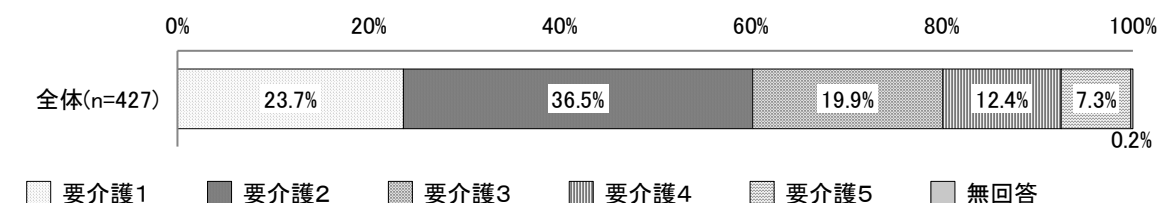
「天王」が 25.1%、「藤浪」が 22.0%、「神守」が 30.2%、「暁」が 22.5%となっている。日常生活圏域では、「暁・神守」が 52.7%、「天王・藤浪」が 47.1%となっている。



本人の要介護度

「要介護1」が 23.7%、「要介護2」が 36.5%、「要介護3」が 19.9%、「要介護4」が 12.4%、「要介護5」が 7.3%となっている。

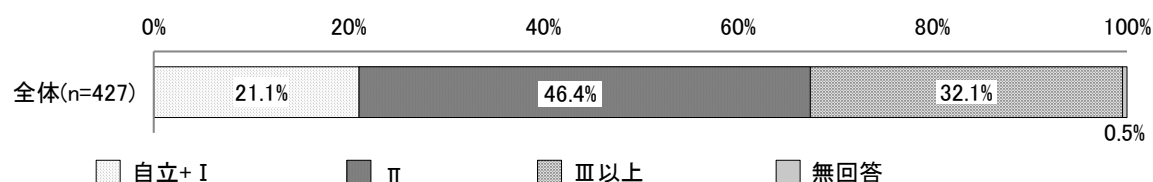
前回調査と比較すると、「要介護1」「要介護2」の合計は前回よりも低く、「要介護3」「要介護4」「要介護5」の合計は前回よりも高くなっている。



	件数	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答
今回 (R7)	427	23.7	36.5	19.9	12.4	7.3	0.2
前回 (R4)	413	28.3	37.5	16.5	11.9	4.6	1.2

本人の認知症高齢者自立度

「自立+ I」が 21.1%、「II」が 46.4%、「III以上」が 32.1%となっている。

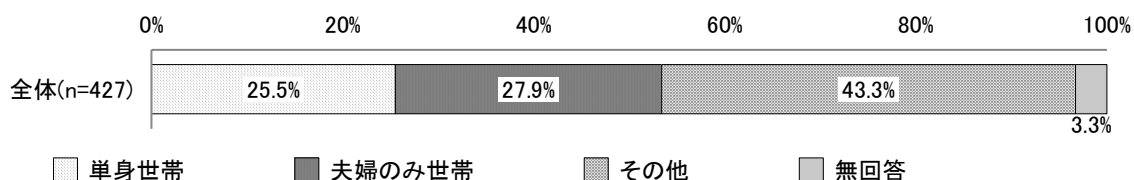


(2) あなたのことについて

世帯類型

問1(2) 世帯類型について、ご回答ください。(○は1つ)

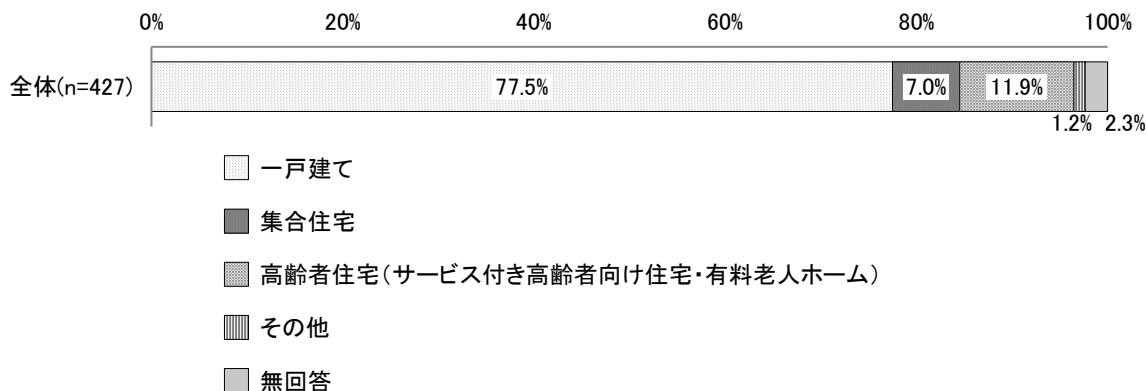
「単身世帯」が25.5%、「夫婦のみ世帯」が27.9%、「その他」が43.3%となっている。



住居形態

問1(3) 現在の住まいについて、回答してください。(○は1つ)

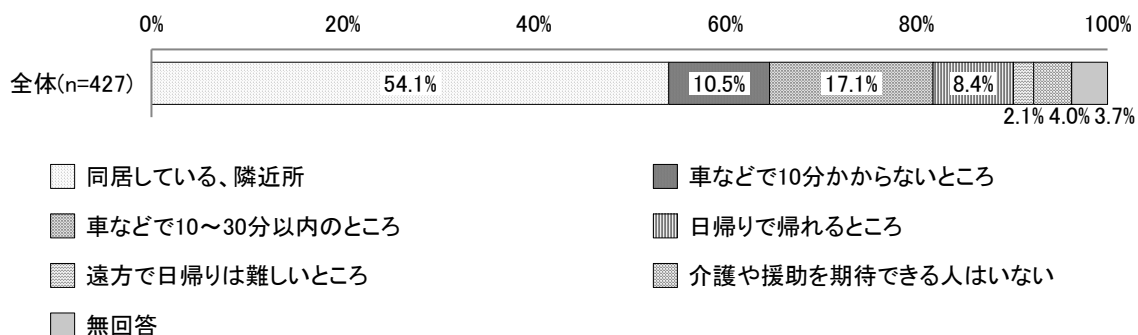
「一戸建て」が77.5%でもっとも割合が高く、次いで「高齢者住宅(サービス付き高齢者向け住宅・有料老人ホーム)」が11.9%、「集合住宅」が7.0%となっている。



主となって介護や援助をしてくれる人の居住地

問1(4) 主となって介護や援助をしてくれる家族・親族・友人等は、どこに住んでいますか。(○は1つ)

「同居している、隣近所」が54.1%でもっとも割合が高く、次いで「車などで10～30分以内のところ」が17.1%、「車などで10分かからないところ」が10.5%となっている。

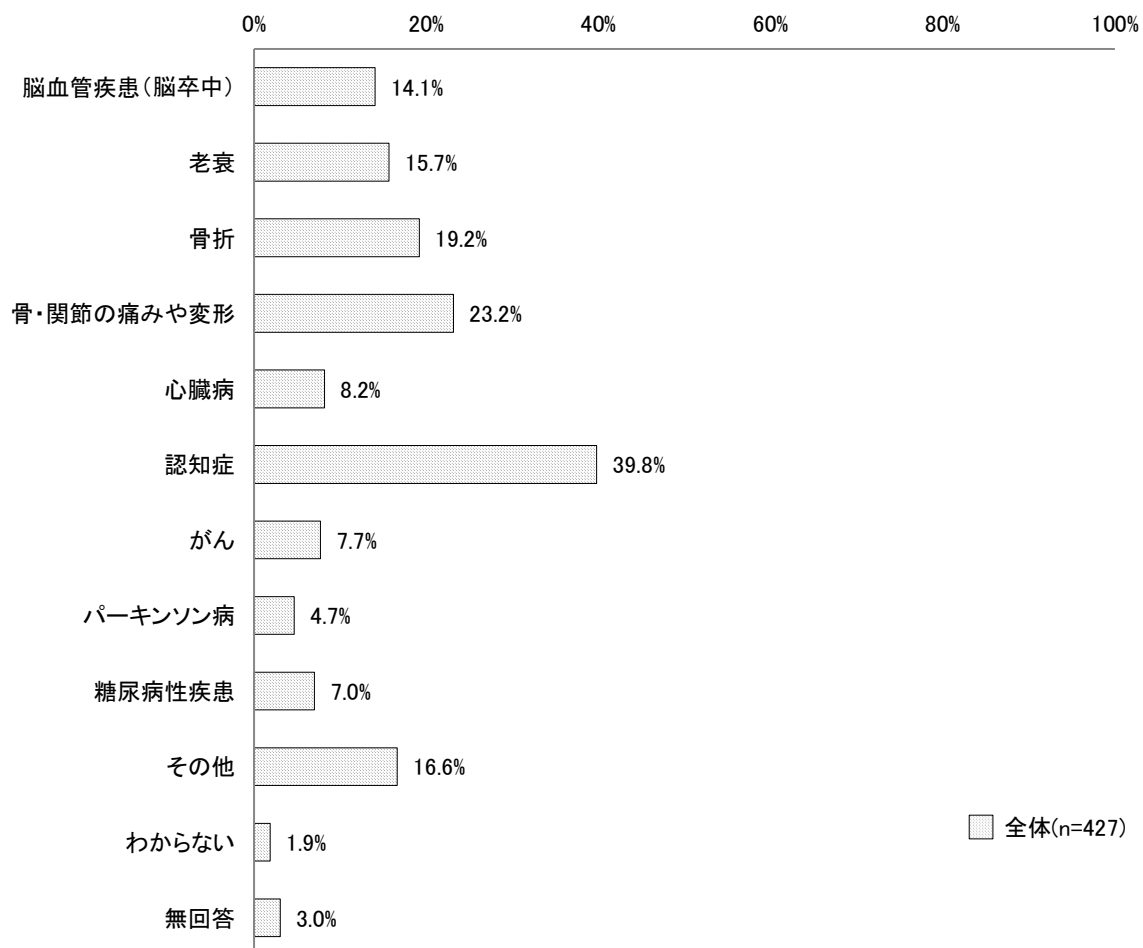


	件数	同居している、隣近所	車などで10分かからないところ	車などで10～30分以内のところ	日帰りで帰れるところ	遠方で日帰りは難しいところ	介護や援助を期待できる人はいない	無回答	
全体	427	54.1	10.5	17.1	8.4	2.1	4.0	3.7	
世帯	単身世帯	109	15.6	21.1	31.2	21.1	3.7	6.4	0.9
	夫婦のみ世帯	119	49.6	12.6	20.2	7.6	3.4	5.0	1.7
	その他	185	81.6	3.8	8.1	2.2	0.5	2.2	1.6
地域	暁・神守	225	49.8	11.1	19.1	8.0	2.2	4.4	5.3
	天王・瑞浪	201	58.7	10.0	14.9	9.0	2.0	3.5	2.0

介護が必要になった主な原因

問1(5) 介護が必要になった主な原因は何ですか。(○はいくつでも)

「認知症」が 39.8%でもっとも割合が高く、次いで「骨・関節の痛みや変形」が 23.2%、「骨折」が 19.2%となっている。

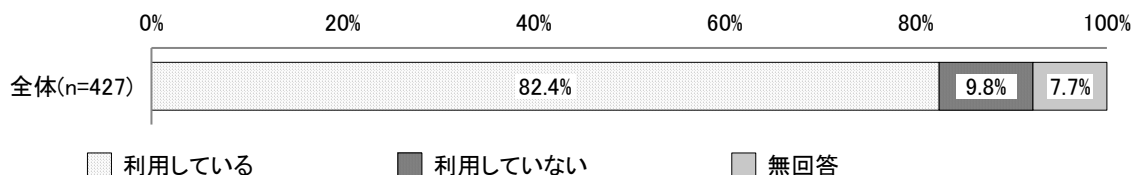


(3) 必要な介護やサービスの利用などについて

介護保険サービスの利用状況

問2(1) 現在(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか。
(○は1つ)

「利用している」が82.4%、「利用していない」が9.8%となっている。

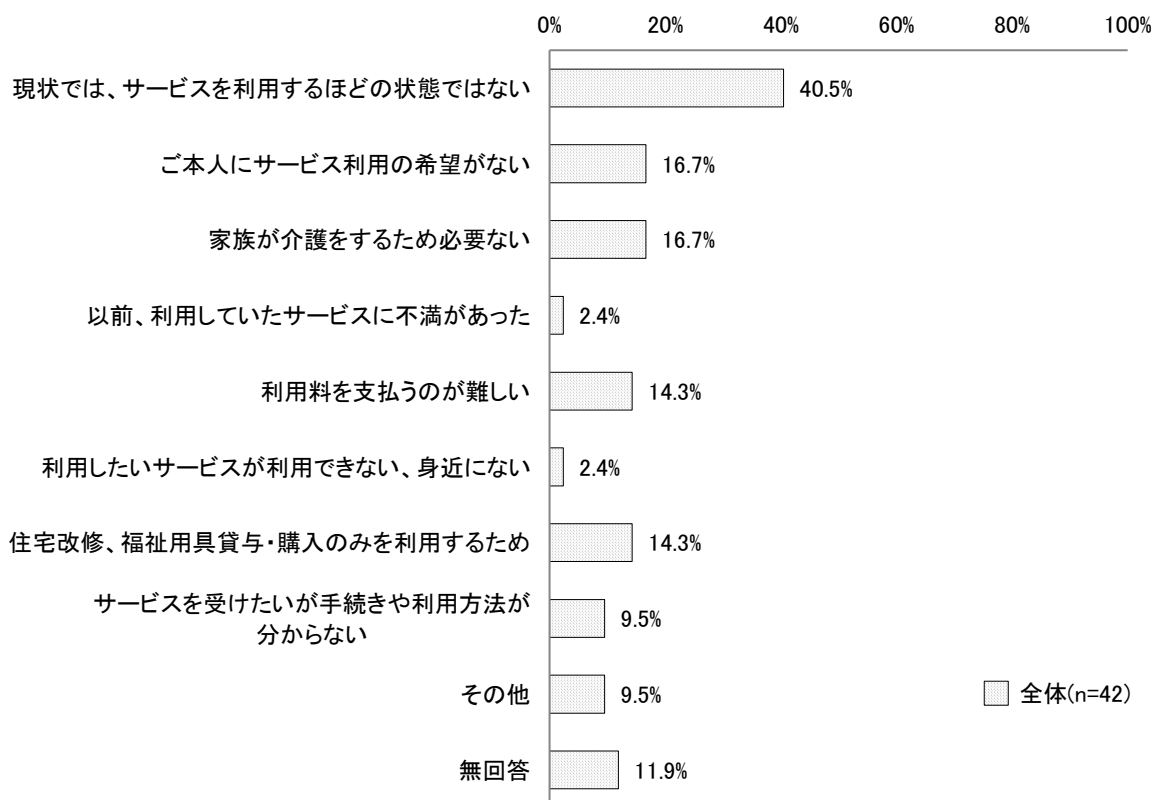


		件数	利用している	利用していない	無回答
全体		427	82.4	9.8	7.7
世帯	単身世帯	109	84.4	8.3	7.3
	夫婦のみ世帯	119	79.8	12.6	7.6
	その他	185	83.2	8.6	8.1
	認定				
	要介護1・2	257	82.1	11.3	6.6
	要介護3～5	169	82.8	7.7	9.5

介護保険サービス を利用していない理由

問2(1)① ※問2(1)で「利用していない」を選んだ方のみ
 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が40.5%でもっとも割合が高く、次いで「ご本人にサービス利用の希望がない」「家族が介護をするため必要ない」が16.7%、「利用料を支払うのが難しい」「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」が14.3%となっている。

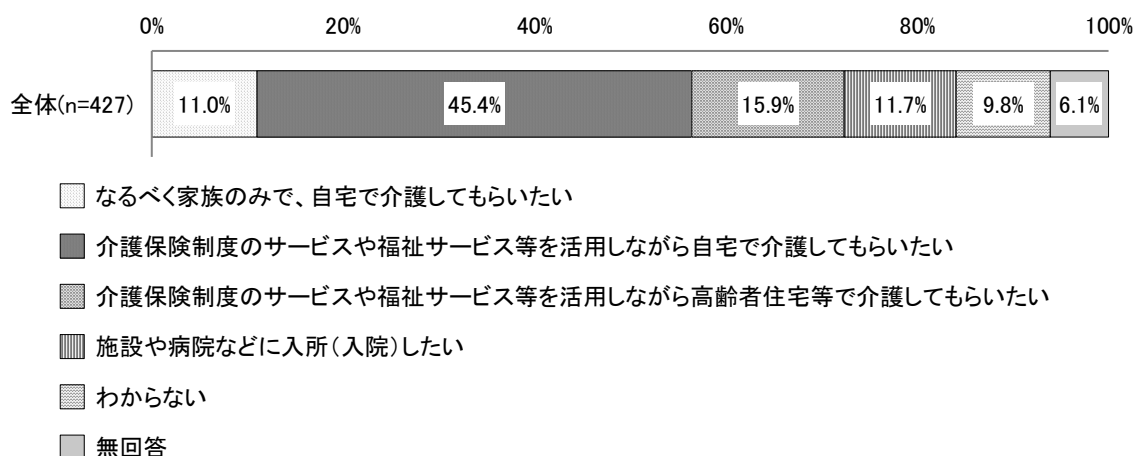


自身が受けたい介護

問2(2) あなたは今後、どのような介護を受けたいですか。(○は1つ)

「介護保険制度のサービス(ホームヘルパー等)や福祉サービス等を活用しながら自宅で介護してもらいたい」が45.4%でもっとも割合が高く、次いで「介護保険制度のサービス(ホームヘルパー等)や福祉サービス等を活用しながら高齢者住宅等で介護してもらいたい」が15.9%、「施設や病院などに入所(入院)したい」が11.7%となっている。

世帯別にみると、単身世帯では「介護保険制度のサービス(ホームヘルパー等)や福祉サービス等を活用しながら高齢者住宅等で介護してもらいたい」の割合が他の世帯よりも高くなっている。



	件数	なるべく家族のみで、自宅で介護してもらいたい	介護保険制度のサービス(ホームヘルパー等)や福祉サービス等を活用しながら自宅で介護してもらいたい	介護保険制度のサービス(ホームヘルパー等)や福祉サービス等を活用しながら高齢者住宅等で介護してもらいたい	施設や病院などに入所(入院)したい	わからない	無回答	
全体	427	11.0	45.4	15.9	11.7	9.8	6.1	
世帯	単身世帯	109	6.4	31.2	32.1	11.0	12.8	6.4
	夫婦のみ世帯	119	16.0	52.9	10.1	8.4	8.4	4.2
	その他	185	10.3	50.3	10.8	14.1	8.1	6.5
認定	要介護1・2	257	12.1	46.7	14.8	8.9	11.7	5.8
	要介護3～5	169	9.5	43.8	17.8	15.4	7.1	6.5
今回(R7)	427	11.0	45.4	15.9	11.7	9.8	6.1	
前回(R4)	413	17.2	48.2		12.3	9.4	12.8	

※「自宅以外の「高齢者向けの住まい」に入居して生活したい」の選択肢は今回の調査で新たに追加した。

※「介護施設」とは介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院等の介護保険による施設サービスを指し、「高齢者向けの住まい」とはサービス付き高齢者住宅、住宅型有料老人ホーム等の住まいを指す。

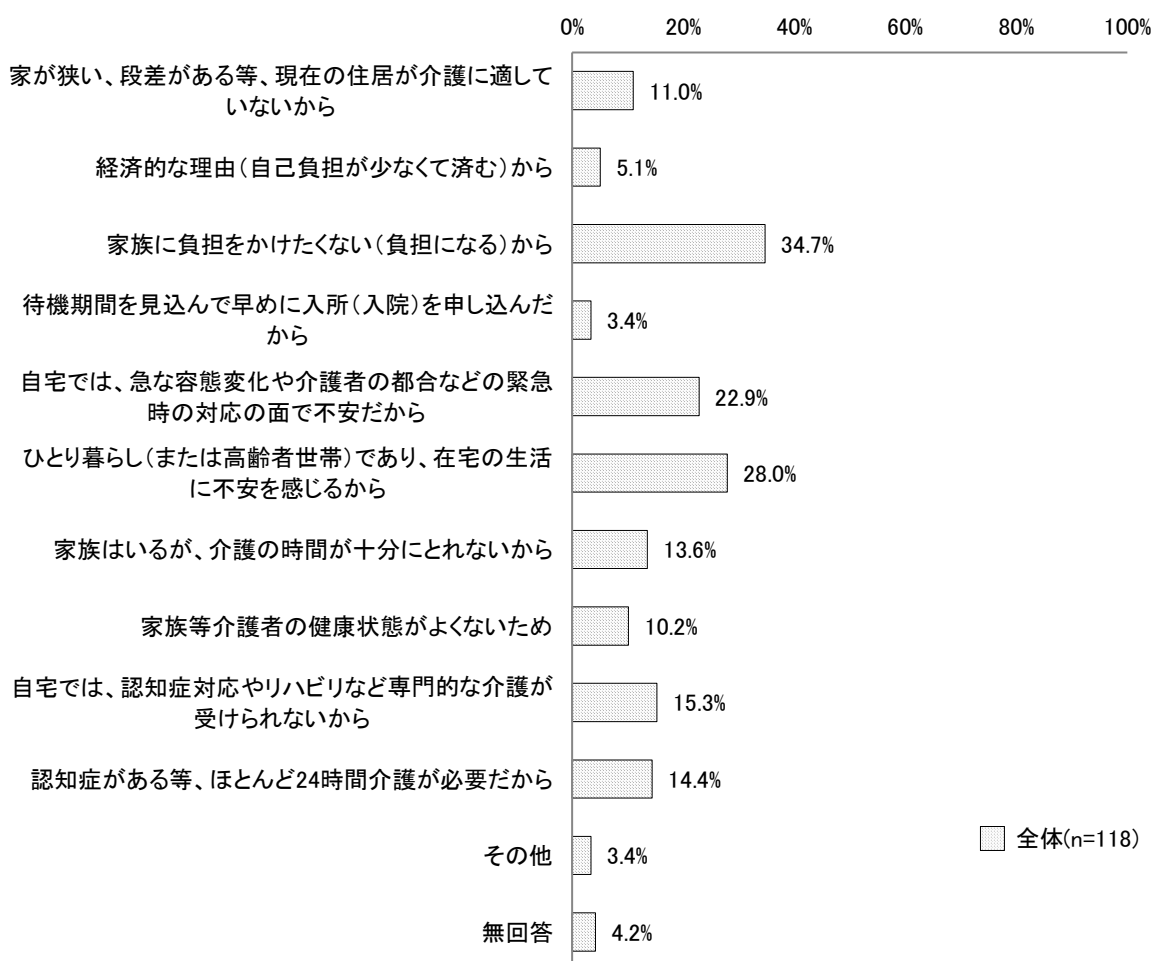
施設等に入所・入院したい理由

問2(2)①

※問2(2)で「介護保険制度のサービス(ホームヘルパー等)や福祉サービス等を活用しながら高齢者住宅等で介護してもらいたい」または「施設や病院などに入所(入院)したい」を選んだ方のみ

その理由は何ですか。(○は2つまで)

「家族に負担をかけたくない(負担になる)から」が 34.7%でもっとも割合が高く、次いで「ひとり暮らし(または高齢者世帯)であり、在宅の生活に不安を感じるから」が 28.0%、「自宅では、急な容態変化や介護者の都合などの緊急時の対応の面で不安だから」が 22.9%となっている。



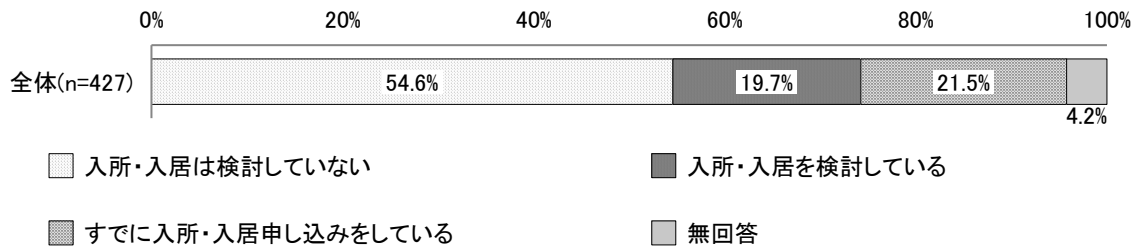
施設等への入所・入居の検討状況

問2(3) 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(○は1つ)

「入所・入居は検討していない」が54.6%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が21.5%、「入所・入居を検討している」が19.7%となっている。

世帯別にみると、単身世帯では「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合が他の世帯よりも高くなっている。

前回調査と比較すると、「入所・入居を検討している」「すでに入所・入居申し込みをしている」が前回調査よりも高くなっている。



		件数	入所・入居は検討していない	入所・入居を検討している	すでに入所・入居申し込みをしている	無回答
全体		427	54.6	19.7	21.5	4.2
世帯	単身世帯	109	46.8	17.4	33.9	1.8
	夫婦のみ世帯	119	61.3	21.8	13.4	3.4
	その他	185	54.1	20.0	20.5	5.4
	認定					
要介護1・2	257	60.7	23.7	10.5	5.1	
要介護3～5	169	45.6	13.0	38.5	3.0	

		件数	入所・入居は検討していない	入所・入居を検討している	すでに入所・入居申し込みをしている	無回答
今回(R7)		427	54.6	19.7	21.5	4.2
前回(R4)		413	62.0	15.0	9.9	13.1

介護保険サービス等以外のサービスの利用状況

問2(4) 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(〇はいくつでも)

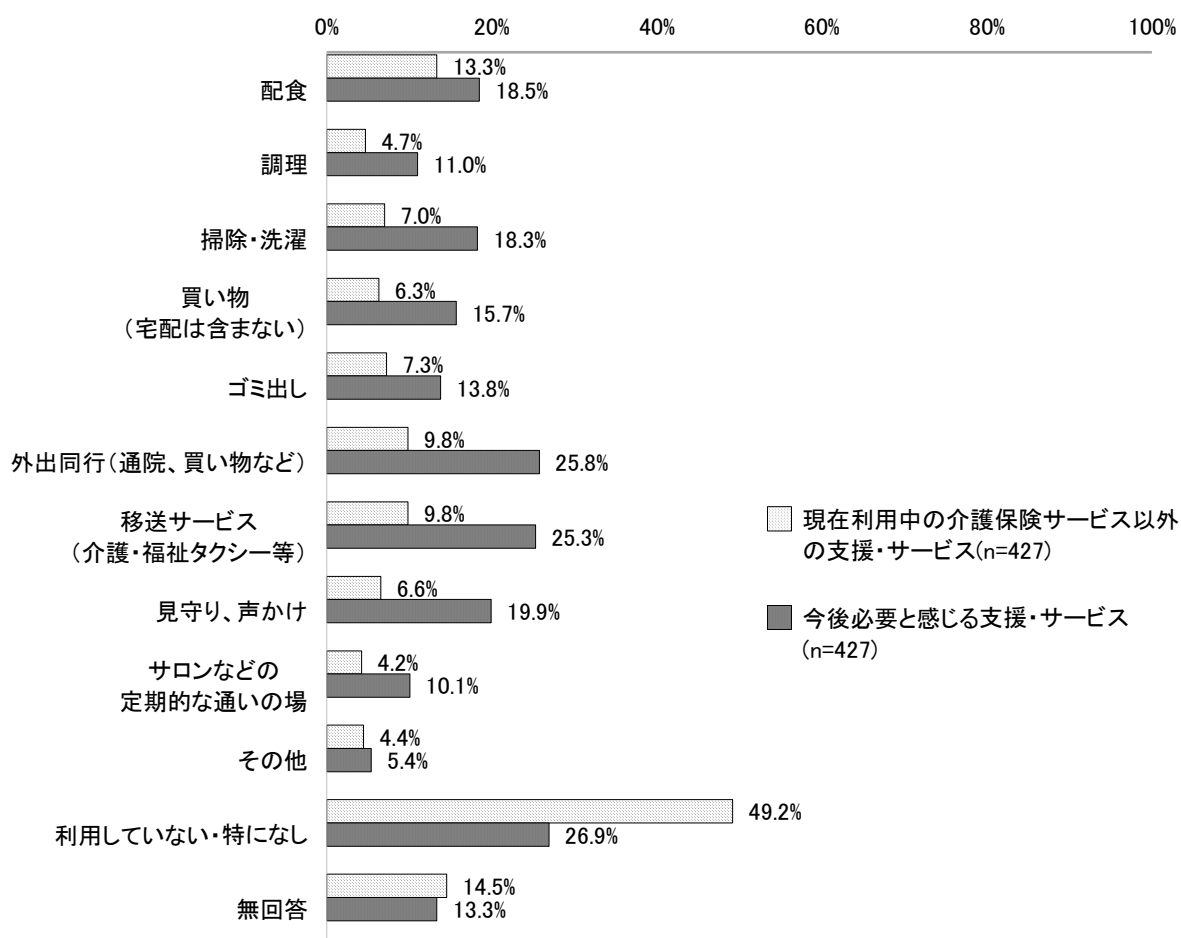
問2(5) 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)について、ご回答ください。(〇はいくつでも)

現在利用中の介護保険サービス以外の支援・サービスについては、「配食」が13.3%でもっとも割合が高く、次いで、「外出同行(通院、買い物など)」「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が9.8%、「ゴミ出し」が7.3%となっている。また、「利用していない」は49.2%となっている。

世帯別にみると、単身世帯では「見守り、声かけ」「配食」「ゴミ出し」の割合が他の世帯よりも高くなっている。

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては「外出同行(通院、買い物など)」が25.8%でもっとも割合が高く、次いで、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が25.3%、「見守り・声かけ」が19.9%となっている。また、「特になし」は26.9%となっている。

世帯別にみると、単身世帯では「掃除・洗濯」「見守り、声かけ」「配食」の割合が他の世帯よりも高くなっている。



■利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービス

	件数	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	利用していない	無回答	
全体	427	13.3	4.7	7.0	6.3	7.3	9.8	9.8	6.6	4.2	4.4	49.2	14.5	
世帯	単身世帯	109	25.7	11.0	16.5	9.2	17.4	7.3	15.6	3.7	4.6	39.4	8.3	
	夫婦のみ世帯	119	14.3	4.2	5.9	7.6	8.4	9.2	0.8	5.9	5.9	46.2	17.6	
	その他	185	5.9	1.6	2.7	3.8	1.1	8.6	9.7	4.9	3.8	55.1	16.2	
認定	要介護1・2	257	16.7	5.1	8.9	6.6	8.9	11.3	9.7	6.6	4.7	2.3	47.9	13.6
	要介護3～5	169	8.3	3.6	3.6	5.3	4.1	7.1	9.5	6.5	3.6	7.7	51.5	16.0

今回(R7)	427	13.3	4.7	7.0	6.3	7.3	9.8	9.8	6.6	4.2	4.4	49.2	14.5
前回(R4)	413	12.6	5.3	8.5	5.8	5.3	6.1	11.9	5.8	2.2	3.6	51.6	13.6

■今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

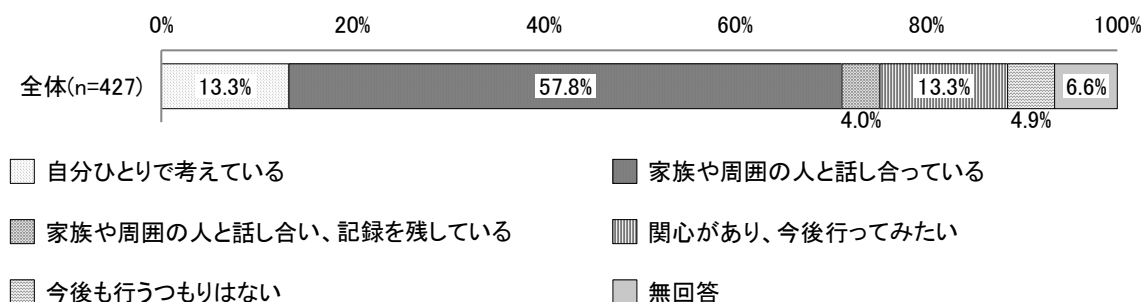
	件数	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含まない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買い物など）	移送サービス（介護・福祉タクシー等）	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特になし	無回答	
全体	427	18.5	11.0	18.3	15.7	13.8	25.8	25.3	19.9	10.1	5.4	26.9	13.3	
世帯	単身世帯	109	24.8	9.2	24.8	20.2	20.2	28.4	21.1	23.9	11.0	5.5	22.9	13.8
	夫婦のみ世帯	119	15.1	14.3	14.3	18.5	15.1	21.0	26.9	14.3	4.2	4.2	28.6	11.8
	その他	185	15.1	7.6	16.2	10.3	8.1	27.0	25.4	20.5	11.9	6.5	28.6	14.1
認定	要介護1・2	257	17.1	8.2	17.9	14.8	14.0	27.6	26.1	22.6	10.5	3.5	26.8	12.8
	要介護3～5	169	20.7	14.8	18.3	16.6	13.0	22.5	24.3	16.0	9.5	8.3	27.2	14.2

今回(R7)	427	18.5	11.0	18.3	15.7	13.8	25.8	25.3	19.9	10.1	5.4	26.9	13.3
前回(R4)	413	23.2	11.9	16.2	14.3	13.8	22.3	27.4	18.4	8.5	13.6	14.3	12.1

人生会議の実施状況

問2(6) 万が一のときに備えて、どのような治療やケアを希望するかについて、話し合うこと(ACP:人生会議)を行っていますか。(○は1つ)

「家族や周囲の人と話し合っている」が57.8%でもっとも割合が高く、次いで「自分ひとりで考えている」「関心があり、今後行ってみたい」が13.3%、「今後も行うつもりはない」が4.9%となっている。
年齢別にみると、65～74歳では「自分ひとりで考えている」の割合が他の年代よりも高くなっている。

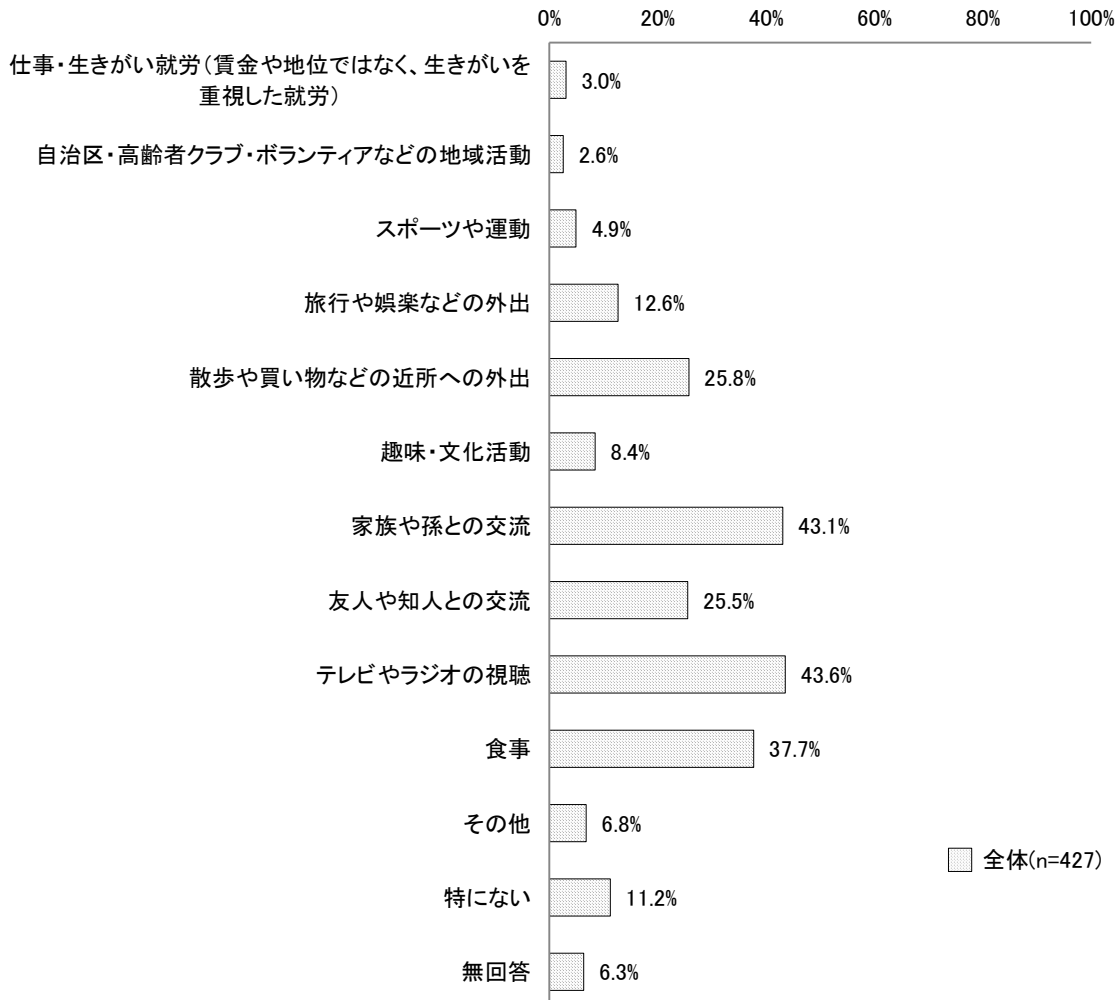


		件数	自分ひとりで考えている	家族や周囲の人と話し合っている	家族や周囲の人と話し合い、記録を残している	関心があり、今後行ってみたい	今後も行うつもりはない	無回答
全体		427	13.3	57.8	4.0	13.3	4.9	6.6
性別	男	135	14.8	53.3	4.4	15.6	2.2	9.6
	女	291	12.7	59.8	3.8	12.4	6.2	5.2
年齢	65～74歳	27	29.6	55.6	0.0	7.4	7.4	0.0
	75～84歳	151	13.9	52.3	4.6	13.2	6.0	9.9
	85歳以上	248	11.3	61.3	4.0	14.1	4.0	5.2
世帯	単身世帯	109	13.8	55.0	6.4	11.9	4.6	8.3
	夫婦のみ世帯	119	15.1	57.1	2.5	12.6	5.9	6.7
	その他	185	11.9	59.5	3.8	14.1	4.9	5.9
認定	要介護1・2	257	13.6	56.8	3.9	16.0	3.9	5.8
	要介護3～5	169	13.0	59.2	4.1	9.5	6.5	7.7
認知症	自立+ I	90	11.1	61.1	1.1	15.6	4.4	6.7
	II	198	13.6	55.6	5.6	15.2	5.1	5.1
	III以上	137	14.6	58.4	3.6	9.5	5.1	8.8

生きがいや楽しみについて

問2(7) あなたが、生きがいや楽しみを感じるのはどんなことですか。(〇はいくつでも)

「テレビやラジオの視聴」が43.6%でもっとも割合が高く、次いで「家族や孫との交流」が43.1%、「食事」が37.7%となっている。



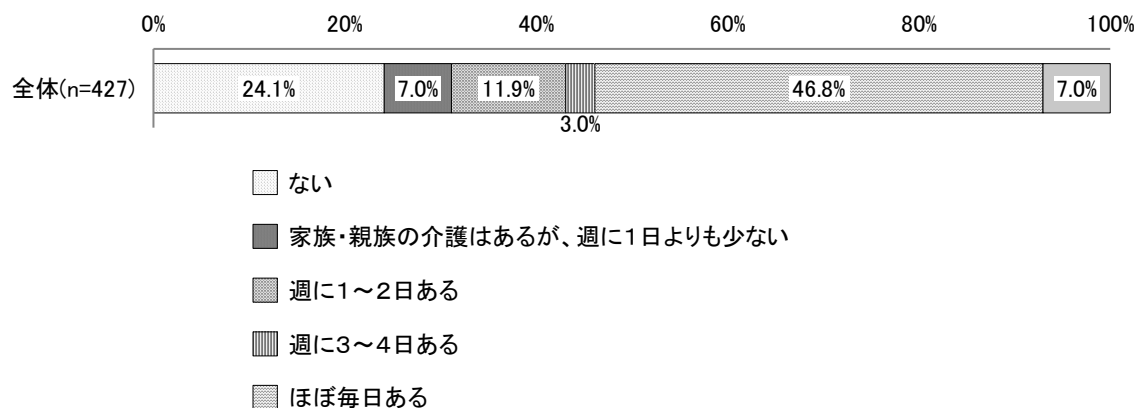
		件数	仕事・生 きがい 就労(賃 金や地 位では なく、生 きがい を重視 した就 労)	自治区・ 高齢者 クラブ・ ボラン ティアな どの地 域活動	スポーツ や運動	旅行や 娯楽な どの外 出	散歩や 買い物 などの 近所へ の外出	趣味・文 化活動	家族や 孫との 交流
全体		427	3.0	2.6	4.9	12.6	25.8	8.4	43.1
世帯	単身世帯	109	0.9	1.8	3.7	12.8	22.0	3.7	41.3
	夫婦のみ世帯	119	3.4	4.2	6.7	11.8	34.5	5.9	46.2
	その他	185	4.3	1.6	3.8	11.9	21.1	11.9	42.2
認定	要介護1・2	257	2.7	3.5	6.2	12.1	28.4	8.6	45.1
	要介護3～5	169	3.6	1.2	3.0	13.6	21.9	8.3	40.2
		件数	友人や 知人と の交流	テレビや ラジオの 視聴	食事	その他	特にな い	無回答	
全体		427	25.5	43.6	37.7	6.8	11.2	6.3	
世帯	単身世帯	109	32.1	38.5	35.8	4.6	14.7	8.3	
	夫婦のみ世帯	119	26.9	52.9	39.5	5.9	10.1	4.2	
	その他	185	22.2	38.9	37.3	8.1	10.8	7.0	
認定	要介護1・2	257	29.2	46.7	38.1	6.2	11.3	4.7	
	要介護3～5	169	20.1	38.5	37.3	7.1	11.2	8.9	

家族や親族の方からの介護の頻度

問2(8) ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)。(○は1つ)

「ほぼ毎日ある」が 46.8%でもっとも割合が高く、次いで「ない」が 24.1%、「週に1～2日ある」が 11.9%となっている。

世帯別にみると、単身世帯では「週に1～2日ある」の割合が他の世帯よりも高くなっている。夫婦のみ世帯では、「ほぼ毎日ある」の割合が他の世帯よりも高くなっている。



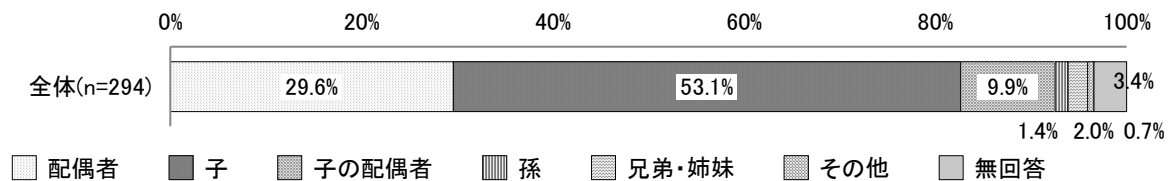
		件数	ない	家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない	週に1～2日ある	週に3～4日ある	ほぼ毎日ある	無回答
全体		427	24.1	7.0	11.9	3.0	46.8	7.0
世帯	単身世帯	109	36.7	9.2	21.1	4.6	24.8	3.7
	夫婦のみ世帯	119	31.1	8.4	15.1	1.7	37.0	6.7
	その他	185	13.0	5.4	4.3	2.7	65.9	8.6
認定	要介護1・2	257	19.8	7.0	16.0	3.1	47.5	6.6
	要介護3～5	169	30.8	7.1	5.9	3.0	45.6	7.7

(4) 主な介護者の方について《介護者への質問》

主な介護者の続柄

問3(1) 主な介護者の方は、どなたですか。ご本人からの続柄でお答えください。(○は1つ)

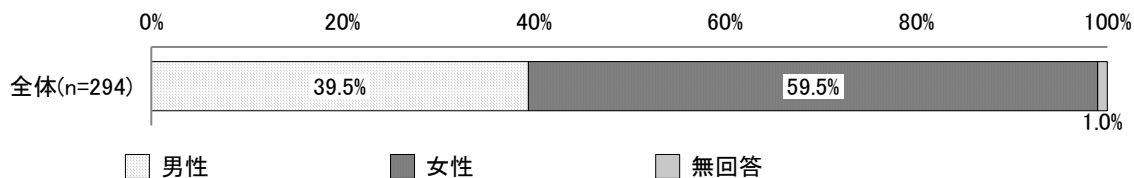
「子」が 53.1%でもっとも割合が高く、次いで「配偶者」が 29.6%、「子の配偶者」が 9.9%となっている。



主な介護者の性別

問3(2) 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(○は1つ)

「男性」が 39.5%、「女性」が 59.5%となっている。

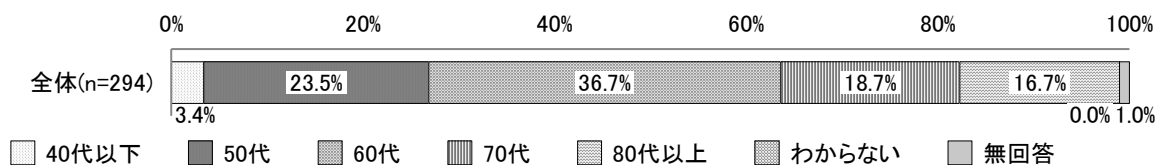


主な介護者の年齢

問3(3) 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(○は1つ)

「60代」が36.7%でもっとも割合が高く、次いで「50代」が23.5%、「70代」が18.7%となっている。

本人(被介護者)の年齢別で見ると、本人が85歳以上で介護者も80歳以上の割合が12.9%となっている。

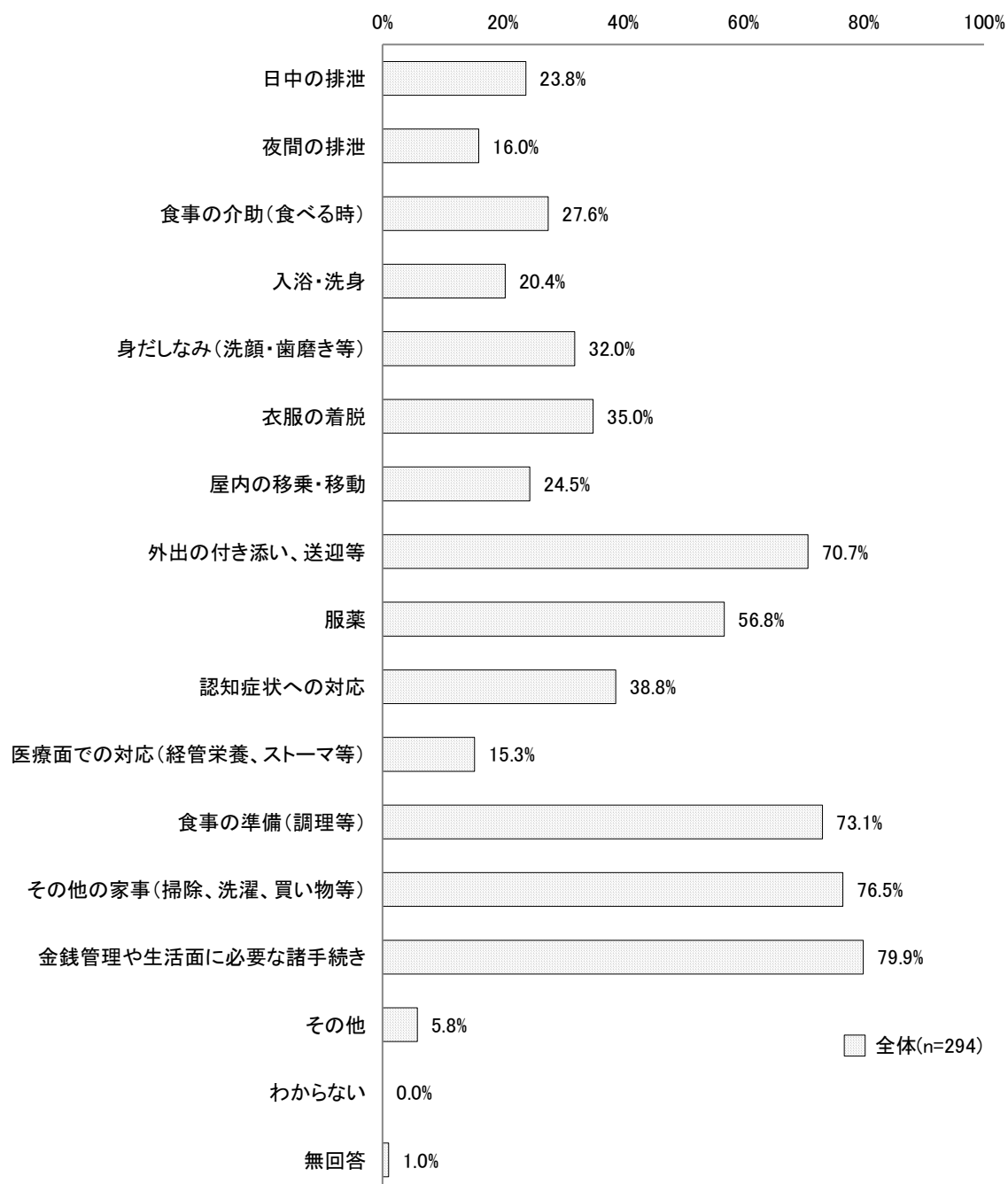


	件数	40代以下	50代	60代	70代	80代以上	わからない	無回答
全体	294	3.4	23.5	36.7	18.7	16.7	0.0	1.0
年齢	65～74歳	22	9.1	9.1	31.8	50.0	0.0	0.0
	75～84歳	101	2.0	34.7	4.0	30.7	26.7	0.0
	85歳以上	170	3.5	18.2	57.1	7.6	12.9	0.0
認定	要介護1・2	189	3.7	28.0	37.0	15.3	14.3	0.0
	要介護3～5	104	2.9	14.4	36.5	25.0	21.2	0.0
認知症	自立+ I	58	5.2	12.1	34.5	25.9	19.0	0.0
	II	142	2.1	28.9	38.0	19.0	12.0	0.0
	III以上	92	4.3	21.7	37.0	14.1	21.7	0.0

現在行っている介護

問3(4) 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(○はいくつでも)

「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 79.9%でもっとも割合が高く、次いで「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が 76.5%、「食事の準備(調理等)」が 73.1%となっている。



		件数	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応	医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	食事の準備(調理等)	その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き
全体		294	23.8	16.0	27.6	20.4	32.0	35.0	24.5	70.7	56.8	38.8	15.3	73.1	76.5	79.9
世帯	単身世帯	65	12.3	7.7	15.4	16.9	20.0	18.5	16.9	66.2	38.5	21.5	10.8	49.2	72.3	76.9
	夫婦のみ世帯	74	29.7	20.3	32.4	35.1	40.5	43.2	29.7	64.9	63.5	37.8	17.6	77.0	74.3	81.1
	その他	145	26.2	17.9	31.0	15.2	33.8	39.3	24.8	75.2	61.4	47.6	16.6	82.8	80.7	81.4
認定	要介護1・2	189	6.9	4.2	14.3	15.9	19.6	25.9	16.4	72.0	52.4	38.1	12.2	72.5	76.7	79.9
	要介護3～5	104	54.8	37.5	51.9	28.8	54.8	51.9	39.4	68.3	65.4	40.4	21.2	74.0	76.9	80.8
		件数	その他	わからない	無回答											
全体		294	5.8	0.0	1.0											
世帯	単身世帯	65	7.7	0.0	3.1											
	夫婦のみ世帯	74	2.7	0.0	0.0											
	その他	145	6.2	0.0	0.7											
認定	要介護1・2	189	4.2	0.0	1.1											
	要介護3～5	104	8.7	0.0	1.0											

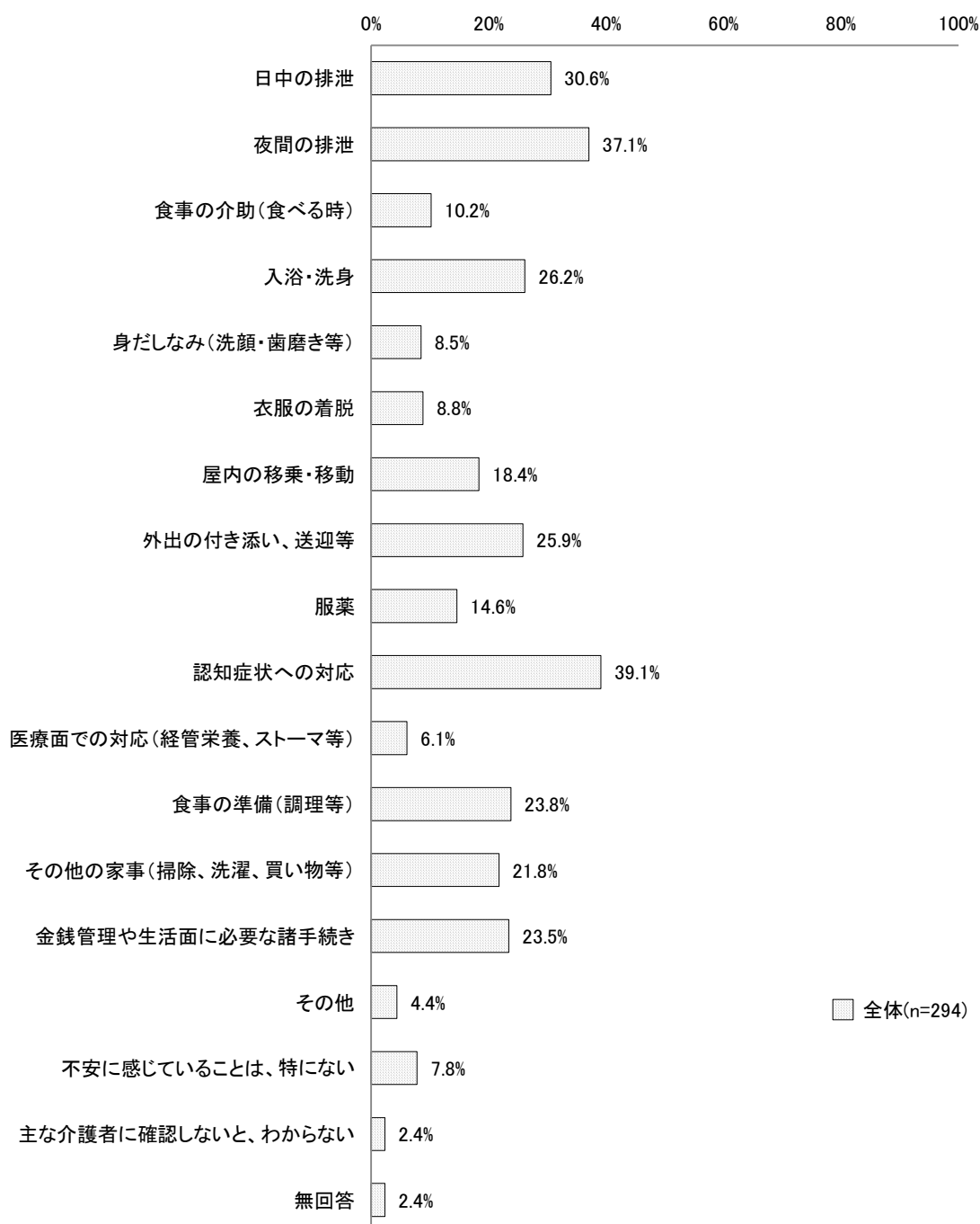
不安を感じる介護

問3(5) 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)。(○は3つまで)

「認知症状への対応」が 39.1%でもっとも割合が高く、次いで「夜間の排泄」が 37.1%、「日中の排泄」が 30.6%となっている。

介護者の年齢別にみると、年齢が低いほど「日中・夜間の排泄」、「認知症状への対応」の割合が高い。

認知症高齢者の日常生活自立度別にみると、ランクが高いほど「日中・夜間の排泄」、「認知症状への対応」の割合が高くなっている。



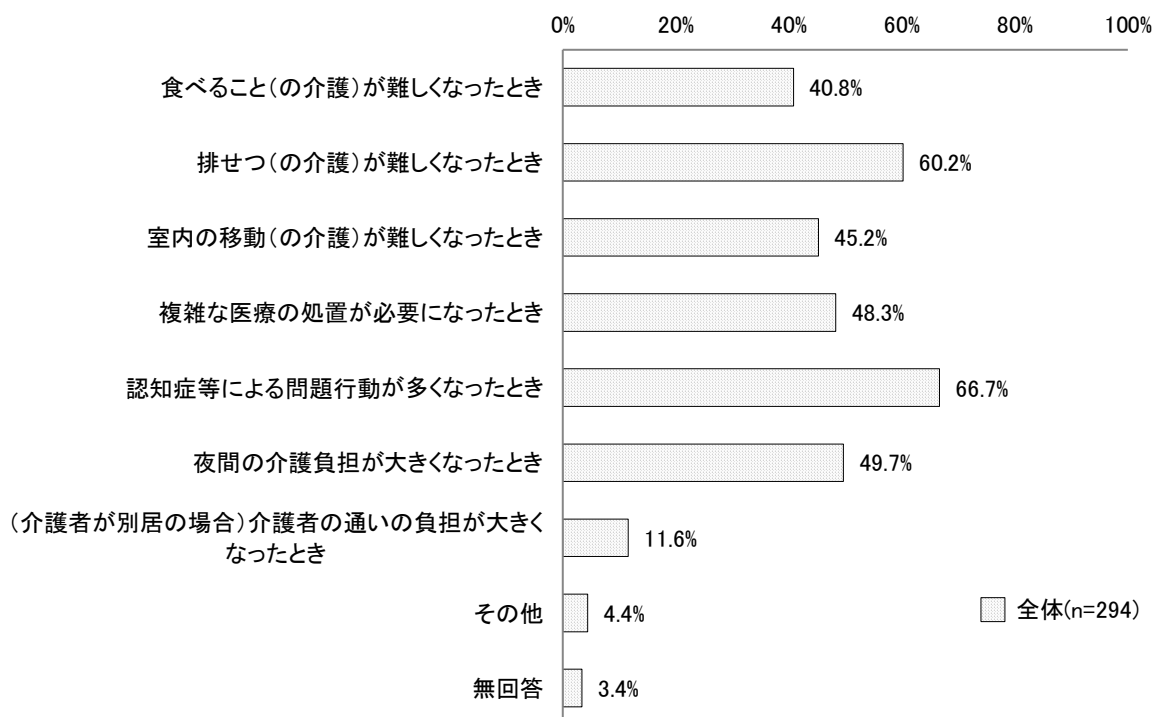
	件数	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	食事の準備（調理等）	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き
全体	294	30.6	37.1	10.2	26.2	8.5	8.8	18.4	25.9	14.6	39.1	6.1	23.8	21.8	23.5
認定	要介護1・2	189	26.5	34.4	7.4	27.5	9.5	8.5	18.5	24.3	16.9	43.9	5.8	22.8	24.3
	要介護3～5	104	38.5	42.3	15.4	24.0	6.7	9.6	18.3	27.9	10.6	30.8	6.7	26.0	17.3
認知症	自立+ I	58	20.7	31.0	6.9	27.6	5.2	12.1	20.7	31.0	12.1	10.3	5.2	25.9	20.7
	II	142	28.9	36.6	9.2	26.8	8.5	6.3	18.3	24.6	16.9	42.3	5.6	25.4	23.9
	III以上	92	40.2	42.4	14.1	25.0	10.9	10.9	17.4	23.9	13.0	52.2	7.6	19.6	19.6
介護者の年齢	40代以下	10	40.0	50.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	10.0	40.0	0.0	20.0	10.0
	50代	69	36.2	46.4	4.3	17.4	5.8	7.2	18.8	21.7	10.1	52.2	1.4	11.6	21.7
	60代	108	34.3	38.0	12.0	30.6	10.2	6.5	19.4	20.4	13.9	37.0	7.4	24.1	21.3
	70代	55	21.8	29.1	16.4	23.6	9.1	10.9	21.8	36.4	14.5	30.9	12.7	25.5	16.4
	80代以上	49	22.4	30.6	10.2	34.7	10.2	14.3	12.2	34.7	24.5	34.7	4.1	38.8	30.6
	件数	その他	不安に感じていることは、特にない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答										
全体	294	4.4	7.8	2.4	2.4										
認定	要介護1・2	189	2.1	7.4	2.6	2.6									
	要介護3～5	104	8.7	8.7	1.9	1.9									
認知症	自立+ I	58	1.7	12.1	3.4	3.4									
	II	142	2.1	9.2	2.8	0.7									
	III以上	92	9.8	3.3	1.1	4.3									
介護者の年齢	40代以下	10	0.0	0.0	10.0	10.0									
	50代	69	4.3	5.8	2.9	2.9									
	60代	108	4.6	10.2	2.8	1.9									
	70代	55	7.3	12.7	1.8	0.0									
	80代以上	49	2.0	2.0	0.0	2.0									

	件数	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助（食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	認知症状への対応	医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	食事の準備（調理等）	その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な諸手続き
今回(R7)	294	30.6	37.1	10.2	26.2	8.5	8.8	18.4	25.9	14.6	39.1	6.1	23.8	21.8	23.5
前回(R4)	283	26.9	31.1	10.6	24.0	8.1	8.1	15.2	29.7	15.9	37.8	7.8	21.6	16.3	17.0
	件数	その他	不安に感じていることは、特になし	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答										
今回(R7)	294	4.4	7.8	2.4	2.4										
前回(R4)	104	3.9	3.5	1.1	4.6										

介護を断念し、入所を検討する理由

問3(6) ご本人やご家族等は、特に、どのようなことで自宅での介護を断念し施設等へ入所することになるとお考えですか。(○はいくつでも)

「認知症等による問題行動が多くなったとき」が 66.7%でもっとも割合が高く、次いで「排せつ(の介護)が難しくなったとき」が60.2%、「夜間の介護負担が大きくなったとき」が49.7%となっている。

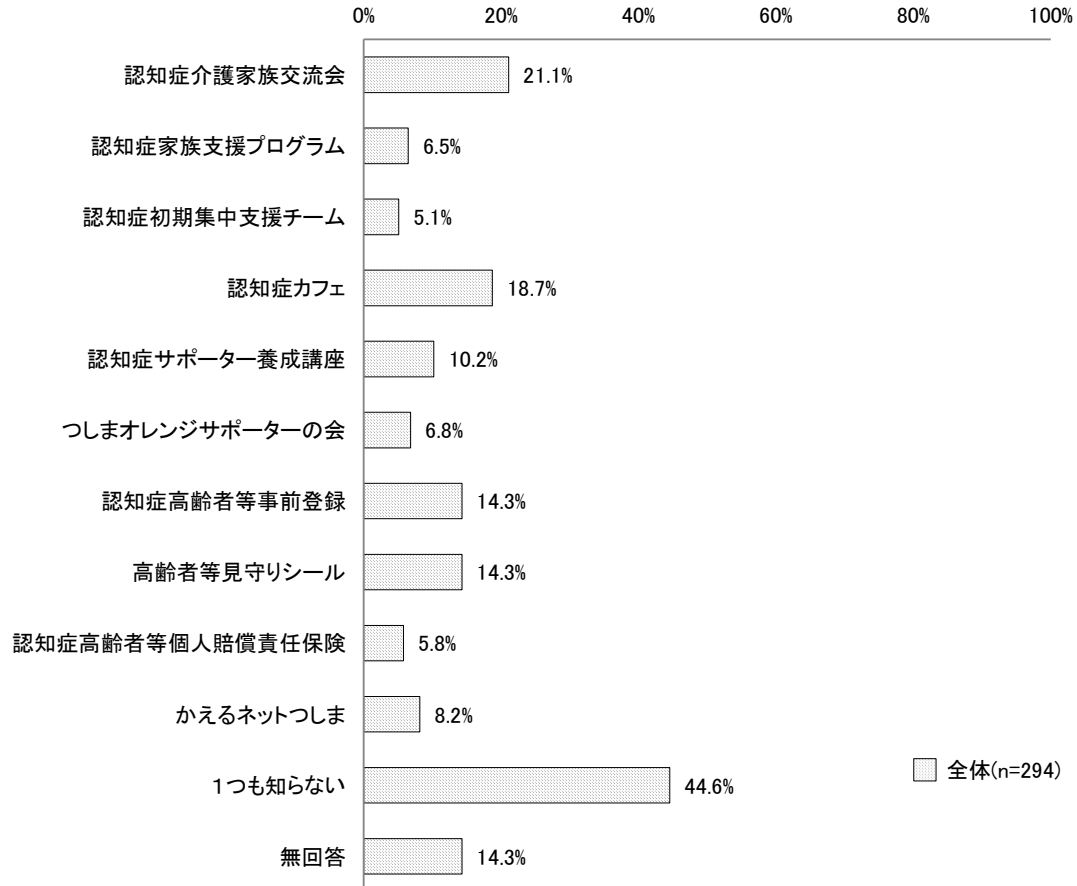


	件数	食べること(の介護)が難しくなったとき	排せつ(の介護)が難しくなったとき	室内の移動(の介護)が難しくなったとき	複雑な医療の処置が必要になったとき	認知症等による問題行動が多くなったとき	夜間の介護負担が大きくなったとき	大きく(介護者が別居の場合)介護者の通いの負担が大きくなったとき	その他	無回答	
全体	294	40.8	60.2	45.2	48.3	66.7	49.7	11.6	4.4	3.4	
認定	要介護1・2	189	42.3	63.0	49.2	54.5	74.6	51.9	12.7	3.2	2.6
	要介護3~5	104	37.5	55.8	38.5	37.5	52.9	46.2	9.6	6.7	4.8
認知症	自立+ I	58	37.9	56.9	48.3	53.4	50.0	43.1	17.2	3.4	5.2
	II	142	42.3	66.2	50.0	51.4	74.6	54.2	10.6	4.2	1.4
	III以上	92	39.1	54.3	37.0	40.2	66.3	46.7	9.8	5.4	5.4

津島市の認知症施策の認知度

問3(7) 認知症に関する以下の取組について知っていますか。(○はいくつでも)

「認知症介護家族交流会」が 21.1%でもっとも割合が高く、次いで、「認知症カフェ」が 18.7%、「認知症高齢者等事前登録」「高齢者等見守りシール」が 14.3%となっている。また、「1つも知らない」は 44.6%となっている。

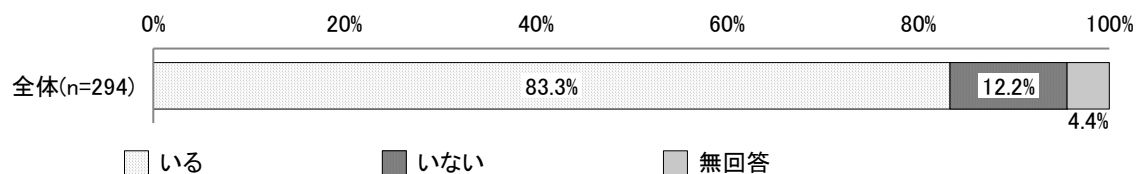


	件数	認知症介護家族交流会	認知症家族支援プログラム	認知症初期集中支援チーム	認知症カフェ	認知症サポーター養成講座	つしまオレンジサポーターの会	認知症高齢者等事前登録	高齢者等見守りシール	認知症高齢者等個人賠償責任保険	かえるネットつしま	1つも知らない	無回答	
全体	294	21.1	6.5	5.1	18.7	10.2	6.8	14.3	14.3	5.8	8.2	44.6	14.3	
認定	要介護1・2	189	20.1	6.9	5.3	20.1	9.5	4.8	12.2	12.2	5.3	5.3	45.0	11.6
	要介護3～5	104	23.1	5.8	4.8	16.3	11.5	10.6	18.3	18.3	6.7	13.5	43.3	19.2
認知症	自立+I	58	15.5	6.9	6.9	17.2	8.6	8.6	17.2	10.3	5.2	8.6	44.8	22.4
	II	142	19.7	6.3	5.6	16.9	10.6	5.6	9.2	12.0	4.9	4.2	48.6	9.2
	Ⅲ以上	92	27.2	6.5	3.3	22.8	10.9	7.6	20.7	20.7	7.6	14.1	37.0	17.4

介護について相談できる人の有無

問3(8) 身近に介護について相談できる人はいますか。(○は1つ)

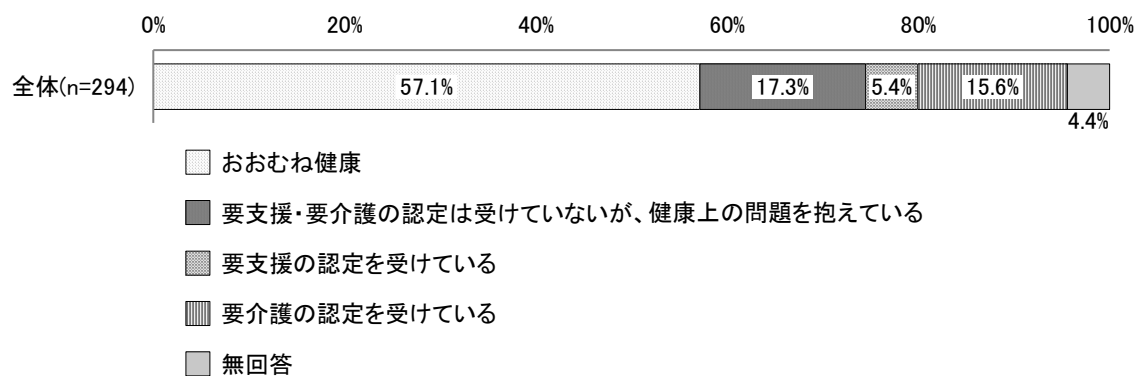
「いる」が83.3%、「いない」が12.2%となっている。



主な介護者の健康状態

問3(9) 主な介護者の方の健康状態はいかがですか。(○は1つ)

「おおむね健康」が57.1%となっている。「要支援・要介護の認定は受けていないが、健康上の問題を抱えている」と「要支援の認定を受けている」と「要介護の認定を受けている」を合算すると38.3%となっている。

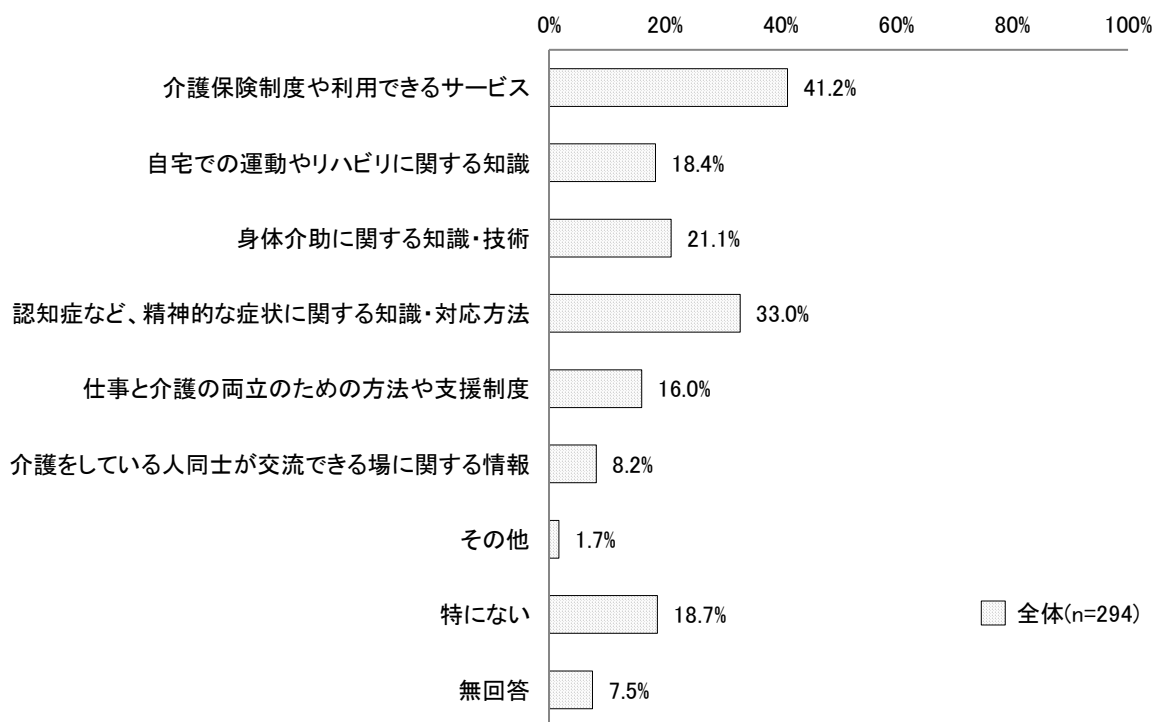


介護に関して知りたいこと

問3(10) 介護に関して、どのようなことを知りたいですか。(〇はいくつでも)

「介護保険制度や利用できるサービス」が41.2%でもっとも割合が高く、次いで「認知症など、精神的な症状に関する知識・対応方法」が33.0%、「身体介助に関する知識・技術」が21.1%となっている。

年齢別にみると、50代で「仕事と介護の両立のための方法や支援制度」が39.1%となっている。



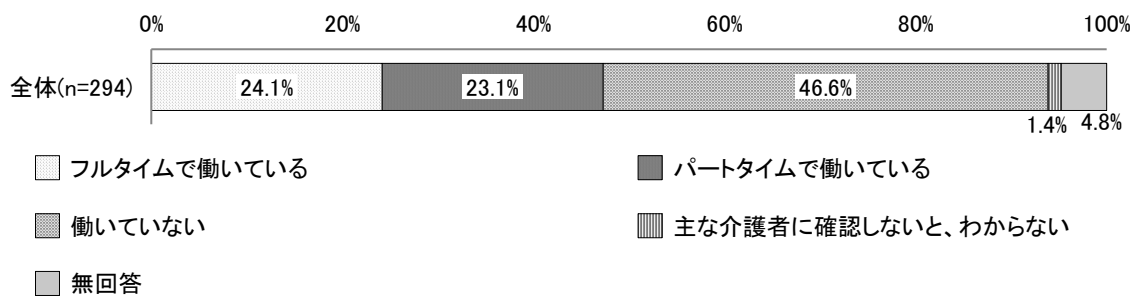
	件数	介護保険制度や利用できるサービス	自宅での運動やリハビリに関する知識	身体介助に関する知識・技術	認知症など、精神的な症状に関する知識・対応方法	仕事と介護の両立のための方法や支援制度	介護をしている人同士が交流できる場に関する情報	その他	特にない	無回答
全体	294	41.2	18.4	21.1	33.0	16.0	8.2	1.7	18.7	7.5
介護者の年齢	40代以下	10	20.0	0.0	10.0	30.0	10.0	0.0	40.0	10.0
	50代	69	39.1	14.5	18.8	33.3	39.1	5.8	0.0	7.2
	60代	108	48.1	18.5	18.5	33.3	14.8	5.6	1.9	5.6
	70代	55	32.7	25.5	32.7	32.7	1.8	16.4	1.8	5.5
	80代以上	49	44.9	20.4	20.4	32.7	4.1	10.2	4.1	10.2

(5) 主な介護者の方の就労について《介護者への質問》

主な介護者の勤務形態

問4(1) 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(○は1つ)

「働いていない」が 46.6%でもっとも割合が高く、次いで「フルタイムで働いている」が 24.1%、「パートタイムで働いている」が 23.1%となっている。



		件数	フルタイム で働いてい る	パートタイ ムで働いて いる	働いていな い	主な介護 者に確認し ないと、わ からない	無回答
全体		294	24.1	23.1	46.6	1.4	4.8
世帯	単身世帯	65	43.1	26.2	26.2	3.1	1.5
	夫婦のみ世帯	74	8.1	13.5	71.6	1.4	5.4
	その他	145	24.1	26.9	43.4	0.7	4.8
	認定						
	要介護1・2	189	29.6	27.0	37.6	1.6	4.2
	要介護3~5	104	13.5	16.3	63.5	1.0	5.8
認知症	自立+I	58	22.4	17.2	50.0	3.4	6.9
	II	142	26.8	28.9	40.1	0.7	3.5
	III以上	92	20.7	18.5	54.3	1.1	5.4

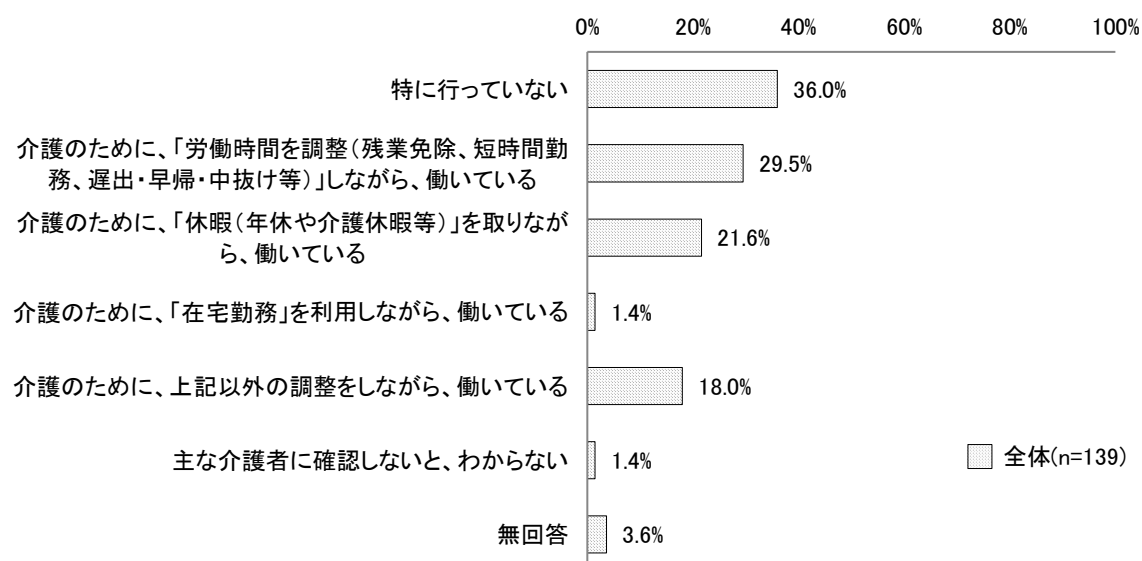
働き方の調整状況

問4(1)①

※問4(1)で「フルタイムで働いている」または「パートタイムで働いている」を選んだ方のみ

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。(〇はいくつでも)

「特に行っていない」が 36.0%でもっとも割合が高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」が 29.5%、「介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている」が 21.6%となっている。

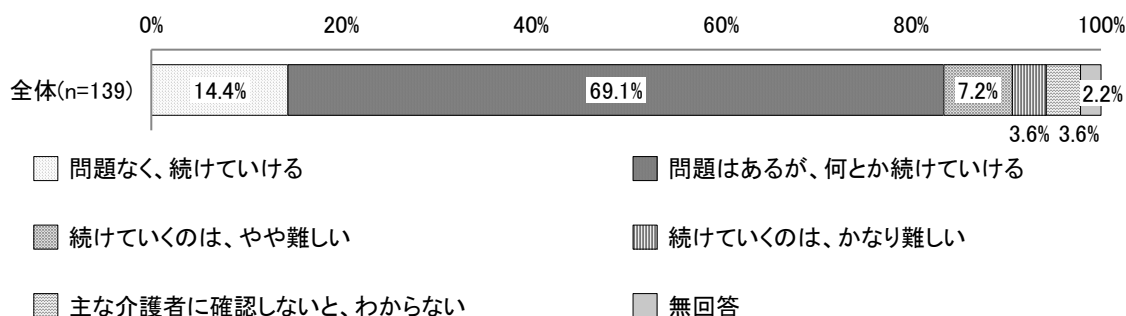


仕事と介護の両立について、今後の見込み

問4(1)② ※問4(1)で「フルタイムで働いている」または「パートタイムで働いている」を選んだ方のみ
 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(○は1つ)

「問題なく、続けていける」と「問題はあるが、何とか続けていける」を合算すると 83.5%となっている。一方で、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」を合算すると 10.8%となっている。

前回調査と比較すると、「問題なく、続けていける」と「問題はあるが、何とか続けていける」は増加している。



	件数	問題なく、 続けていける	問題はあるが、何とか 続けていける	続けていくのは、やや 難しい	続けていくのは、かな り難しい	主な介護 者に確認し ないと、わ からない	無回答	
全体	139	14.4	69.1	7.2	3.6	3.6	2.2	
世帯	単身世帯	45	22.2	57.8	11.1	4.4	4.4	0.0
	夫婦のみ世帯	16	6.3	81.3	6.3	0.0	0.0	6.3
	その他	74	10.8	73.0	5.4	4.1	4.1	2.7
認定	要介護1・2	107	14.0	70.1	5.6	3.7	3.7	2.8
	要介護3～5	31	16.1	67.7	9.7	3.2	3.2	0.0
認知症	自立+ I	23	21.7	69.6	0.0	4.3	0.0	4.3
	II	79	12.7	72.2	5.1	3.8	3.8	2.5
	III以上	36	13.9	63.9	13.9	2.8	5.6	0.0

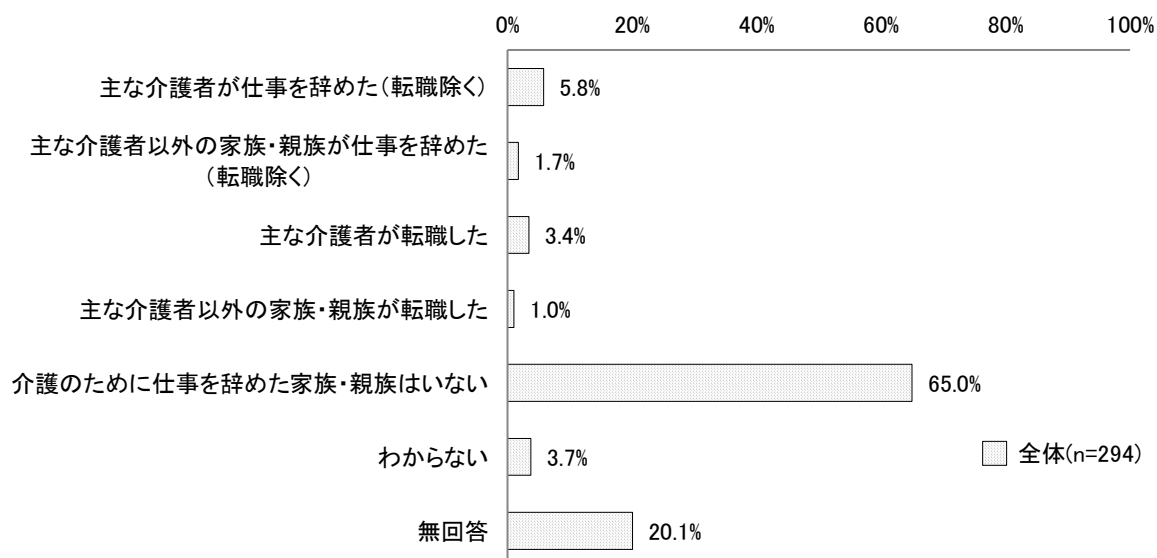
	件数	問題なく、 続けていける	問題はあるが、何とか 続けていける	続けていくのは、やや 難しい	続けていくのは、かな り難しい	主な介護 者に確認し ないと、わ からない	無回答
今回(R7)	139	14.4	69.1	7.2	3.6	3.6	2.2
前回(R4)	108	13.0	60.2	13.0	6.5	1.9	5.6

介護を理由とした家族等の離職の有無

ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去 1 年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)。(〇はいくつでも)

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が 65.0%でもっとも割合が高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)」が 5.8%、「わからない」が 3.7%となっている。

前回調査と比較すると、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が増加している。



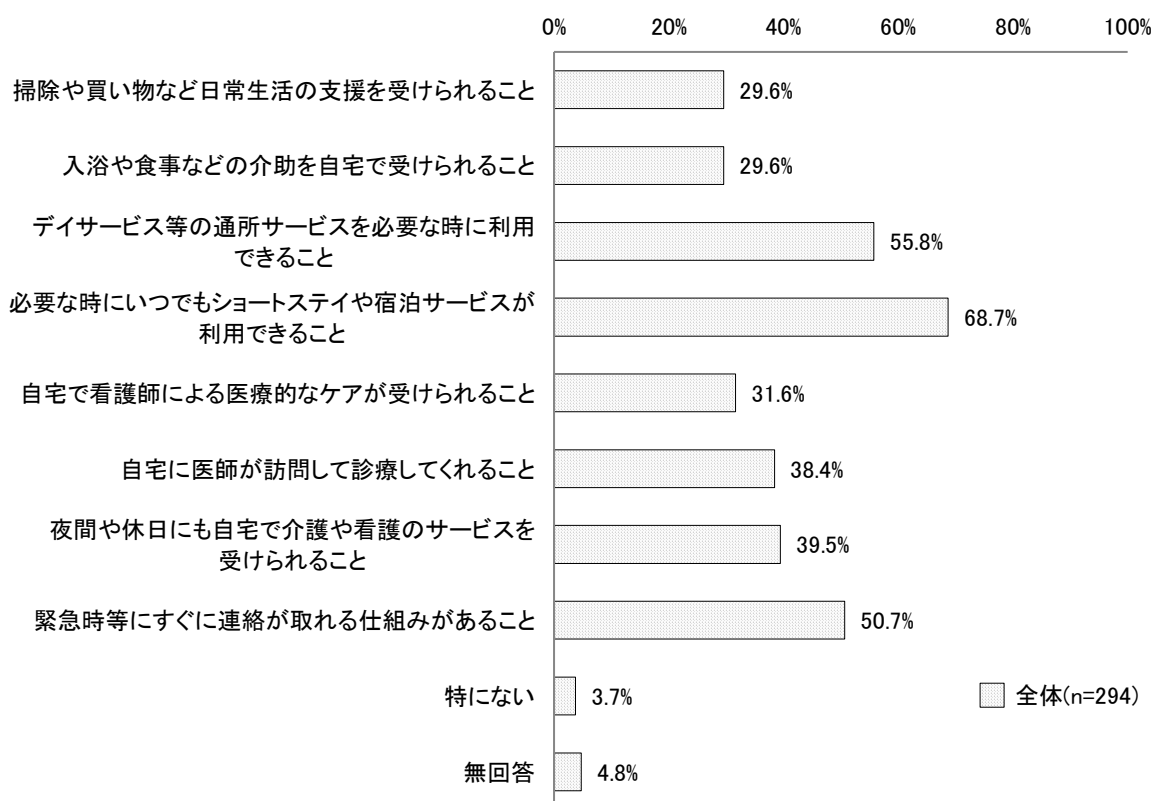
	件数	主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が転職した	介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	わからない	無回答
今回(R7)	294	5.8	1.7	3.4	1.0	65.0	3.7	20.1
前回(R4)	283	9.9	1.8	3.5	0.7	56.2	4.9	24.0

自宅で暮らし続けるために必要な支援

問4(3) ご本人がずっと自宅で暮らし続けるためには、どのような支援があればいいと思いますか。(〇はいくつでも)

「必要な時にいつでもショートステイや宿泊サービスが利用できること」が 68.7%でもっとも割合が高く、次いで「デイサービス等の通所サービスを必要な時に利用できること」が 55.8%、「緊急時等にすぐに連絡が取れる仕組みがあること」が 50.7%となっている。

要介護認定別で見ると、中・重度者で「自宅で看護師による医療的なケアが受けられること」「夜間や休日にも自宅で介護や看護のサービスを受けられること」の割合が軽度者よりも高くなっている。



	件数	掃除や買い物など日常生活の支援を受けられること	入浴や食事などの介助を自宅で受けられること	デイサービス等の通所サービスが必要な時に利用できること	必要な時にいつでもショートステイや宿泊サービスが利用できること	自宅で看護師による医療的なケアが受けられること	自宅に医師が訪問して診療してくれること	夜間や休日にも自宅で介護や看護のサービスを受けられること	緊急時等にすぐに連絡が取れる仕組みがあること	特にない	無回答	
全体	294	29.6	29.6	55.8	68.7	31.6	38.4	39.5	50.7	3.7	4.8	
世帯	単身世帯	65	43.1	38.5	50.8	63.1	33.8	40.0	50.8	61.5	1.5	9.2
	夫婦のみ世帯	74	41.9	31.1	55.4	59.5	28.4	40.5	32.4	48.6	6.8	4.1
	その他	145	17.9	25.5	58.6	75.9	32.4	37.2	37.2	46.9	2.8	2.8
認定	要介護1・2	189	29.1	27.5	54.5	67.2	25.4	34.9	33.9	49.7	2.6	4.8
	要介護3～5	104	29.8	33.7	57.7	71.2	43.3	45.2	50.0	51.9	5.8	4.8

介護・高齢者福祉に対する意見・要望

問4(4) その他、主な介護者の方からの介護・高齢者福祉に対するご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。

介護・高齢者福祉に対する意見・要望として、77件の自由記述回答があった。下記表は、項目を設定し、これに該当する件数を示したものであり、そのうちの主な意見を以下に抜粋して掲載する。

No	内容	該当数
1	在宅介護について	53
2	相談・情報提供について	5
3	施設サービスについて	8
4	認知症について	4
5	経済的負担について	22
6	移動・交通について	6
7	高齢者福祉全般について	7
8	その他	2

※1つの意見が複数の内容に当てはまる場合はそれぞれに計上しているため、該当数の合計は意見の総数とは一致しない。

1 在宅介護について

- ・ デイケアサービスに週2回お世話になっています。連絡帳などで何をしているか大体は分かりますが、どんな事をしてリハビリしているか見学できると自宅でも活用できるのではないかと思います。
- ・ 独居なので、見回り・声かけを定期巡回してほしい。民生の方がいつも気遣ってくれているが、足りない。民生の方の負担が大きい。スポットで休憩所や給水所があると良い。
- ・ 自宅で看護師もしくは医師が訪問を受けられる仕組みを広げてほしい。
- ・ 介護と仕事を両立できる法整備の拡充(例:介護者の通院のための有給消化をしない休業、休務の制定)を希望します。
- ・ 宅内に入ることでできる支援が必要。力仕事や修理等、シルバーに頼るような事もない時もあると思う。
- ・ ひとり暮らしの人の見回りをしてほしい。デイサービスに出かけていない日に日時を決めて訪問して話を聞いてくれるといいと思います。
- ・ 本人がずっと自宅で暮らし続けるための支援は全てあればいいと思いますが、現実は無理でしょう。金銭面がからんできますから。年金生活では難しい。
- ・ 現在たくさんの介護サービスを利用させてもらい、とても助かっています。ありがたいです。ただサービスの利用開始までの道のりに時間(期間)がかかり、手間暇がかかった印象を持ちました。デイサービス等が利用できる様になるまでの期間が簡素化、短期化できると良いなあと考えて過ごしていた気がします。
- ・ 現在、ホームヘルパー、訪問介護、デイサービスを利用しています。この中で、ホームヘルパーの方は勤務が多忙で負担が多く大変な労働と思います。デイサービスは利用する施設により介護にバラつきがあります。今後も様々な方法を利用し生活を続けたいと思います。
- ・ 今は介護する立場。でもやがて私自身が介護を受ける立場になります。そんな遠い未来ではありません。少子化・待遇の悪さによる介護福祉従事者の減少、高齢者の増加、サービス料の

値上がりと入院・入所の順番待ち。60代の人たちの10年20年後に安心な環境は全く描けません。色々サービスは充実してきているとは思いますが、本腰を入れた対策・方針を打ち出し、実践していただかないと…金持ち以外は死ぬと言われているように強く感じます。高負担・高福祉でない日本、世界一の高齢社会の日本の取り組みを全世界が注目しています。さすが日本…こんな声を聞けたらいいのですが。

- ・ 津島市においても、高齢の主介護者のための電動アシスト自転車の購入補助や、福祉車両購入支援を充実させてほしい。皮膚科等、内科以外の往診(訪問診療)サービスを充実させてほしい。
- ・ 今の状態は大丈夫ですが、歩けなくなった時の不安はあります。オムツ代が大変な部分があるので、支給されたらありがたいです。
- ・ 現在、歩行器の貸与サービスを受けていますが、1台しか借りられないのが残念です。(家屋内・受診時・散歩時等、内と外で使用する場合、車への積み下ろし、車輪の掃除等、頻度が高いほど負担が大きく、又、高齢者が担う場合は尚更です。2台借りられれば負担は軽減されるのでは、と思います)。

2 相談・情報提供について

- ・ 介護休暇の職場で取り方がどうしていいのかわからない。誰に言ってどういう手続きを行えば、休みを頂けるのか教えてほしい。
- ・ 各介護施設の、ある程度の費用を表示したものがあるといいかと。
- ・ 現在の所なんとか介護はしているが私自身が後期高齢者なので、いつ介護ができなくなるのかわかりません。その時はどういう手段がありますでしょうか、教えてください。
- ・ なかなか親世代、80歳以上の人に、今の介護や福祉サービスについて説明しても、親が若い時はその制度がなかったため、理解が得られない。デイやショートも自分を捨てる施設と思っている人が現実多い。デイサービスでも、動けない人や認知の人がいくところ。そんな所に自分は行くほど体が悪くないと言う。もっと高齢者に介護や福祉についてアピールする。

3 施設サービスについて

- ・ 特養、老健の入所について順番待ちと聞いていますが、介護2からいつ3になるか、わからないので申し込みができない。介護3になったら即申し込みをしておいた方が良いかかわからないです。
- ・ 高額な高齢者住宅が多すぎ。なかなか年金だけでは入居できない。介護しながらの自分の生活(仕事、孫の面倒など)に辛さを感じる時がある。
- ・ 本人、介護者のどちらかが感染症にかかると、うつってしまう。病気になると通所サービスは受けられないため、入所するしか方法がないのが現状。介護者の生活を少しでも以前の生活に近づけるためには、介護サービスを利用したいが、金銭的に実費が出てしまう。(限度額を超える)→働く必要性→余暇時間ない→疲弊してしまう。自分の老後の蓄えにも不安。本人はデイサービスを利用したい気持ちが強いので、そうしてあげたいが、介護者1人の場合、難しくなってきた。特養とデイが、利用できたらいいのになあと思う。

4 認知症について

- ・ 認知症での同居以外の自宅介護は難しいと思われれます。本人以外の誰かが一緒にいないと、何がおこるか分からないためです。その場合は施設入所か介護者が仕事を変えるか相当の

変化が必要となると思います、入所の場合は金銭面の負担もあり、どこまでできるかと思うことがあります。

- ・ 軽微な認知症以下で、人との関わりが持てる高齢者施設があると良いと思います。他人との会話や関わりが持て、自宅からの送迎を行ってもらえる施設。

5 経済的負担について

- ・ 現在配食サービスを利用しているが、もう少し安く利用できるとありがたいです。フルタイムで働きながら両親の介護をしています。とてもとても大変です。
- ・ この先介護保険制度を利用するのに、利用料が高くなるのが心配。
- ・ 介護食(レトルト等)の購入費の支援。
- ・ 介護、福祉に関する費用が高すぎる。年金での生活でいっぱい。デイ、ショートステイ、入所、低額で利用できるとありがたい。
- ・ 介護にお金がかかりすぎるので、これからも介護しやすいようにお願いします。タクシーサービスが良くなったが、付き添いの費用が高すぎて使えない。津島の今ある介護の要支援、要介護の一人 20 万まで 9 割補助は非常によい。
- ・ 3 割負担で本人国民年金のみなので、支援が十分に受けられません。今後、アルツハイマーが進行し、施設へとなった時に絶望しかありません。在宅は不可能です。経済的理由により、支援が利用できないのが現状です。
- ・ 今現在 1 割負担で、週 3 回りハビリに行っているが、高くなると週 3 回も行けなくなる。
- ・ デイサービス、ショートステイを併用しています。施設内の室温に自宅でも同様に努力していますが、エアコンの電気代が夏冬共々、家計を圧迫しています。

6 移動・交通について

- ・ 私の場合は、車で送迎(病院等)できるのでいいですが、知り合いの方には、車もなくタクシーを呼んでもまず断られると病院へも行きづらいとおっしゃっています。
- ・ 通院受診の為の移動手段の援助。
- ・ 夫は、精神障害者手帳 3 級だが、身体障害者手帳 3 級にはタクシーの補助があるのに、何もない。この先、病院に通う為、タクシーを利用する機会も増えそうなので、なんとかしてほしい。
- ・ 介護タクシー利用時の負担軽減を希望します。

7 高齢者福祉全般について

- ・ このアンケートを基にして現在よりも一つでも高齢介護の質が良くなる事を希望します。
- ・ 医療を受けるため、付き添っているときや、介護サービスを受けるとき、本人の方を見ることなく、家族にだけ話しかける従事者がいて戸惑う。本人の意思や家族の立場を気にかけていない人からサービスを受けるのは不安なので、共通認識を持ってもらえるようなシステムづくりをして欲しい。家族も持病があったり、障がい者だったり、色々抱えながらギリギリ頑張っている時もあるので、本当に困ったときは、すぐ助けてもらえるようにして欲しい。
- ・ いつも丁寧に詳しく対応してくださり、とても心強いです。これからもお世話になります。

8 その他

- ・ 現在の子育て支援、現状維持でお願いします。

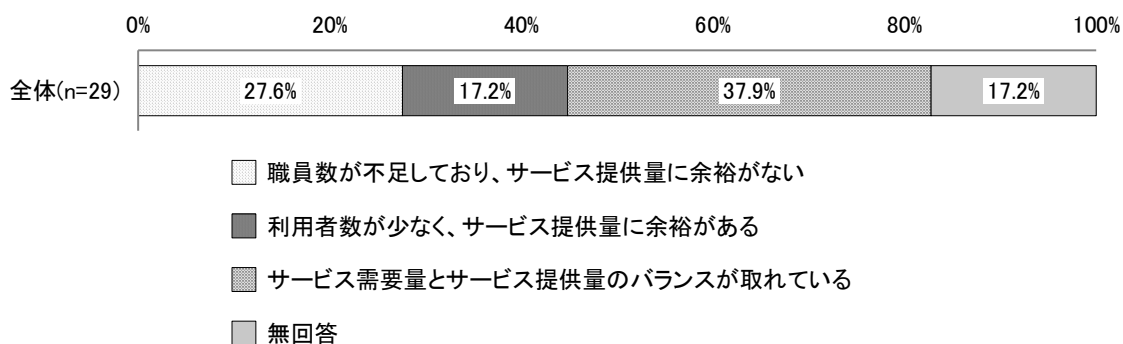
4 法人調査

(1) サービス整備・提供の意向等について

サービス提供の状況

問1(1) 現在、貴法人におけるサービス提供はどのような状況ですか。(○は1つ)

「サービス需要量とサービス提供量のバランスが取れている」が 37.9%でもっとも割合が高く、次いで「職員数が不足しており、サービス提供量に余裕がない」が 27.6%、「利用者数が少なく、サービス提供量に余裕がある」が 17.2%となっている。



	件数	職員数が不足しており、サービス提供量に余裕がない	利用者数が少なく、サービス提供量に余裕がある	サービス需要量とサービス提供量のバランスが取れている	無回答
今回 (R7)	29	27.6	17.2	37.9	17.2
前回 (R4)	31	22.6	22.6	41.9	12.9

今後のサービス提供の予定

問1(2) 貴法人における津島市内でのサービス提供の今後の予定について、各項目で該当するものに○をつけてください。

新規受入不可のサービスについては、「訪問介護」(3件)、「通所介護」(1件)、「居宅介護支援」(1件)、「訪問型サービス A」(2件)となっている。

新たに実施予定のサービスについては、「(介護予防)訪問看護」、「通所介護」、「居宅介護支援」がそれぞれ1件となっている。廃止予定のサービスについては、「訪問型サービス A」(1件)となっている。

介護サービス等	現在実施	新規受入			今後			
		受入可能	積極的ではない	受入不可	新たに実施予定	定員を増やす予定	定員を減らす予定	廃止予定
訪問介護(ホームヘルプサービス)	13	5	3	3	0	4	1	0
(介護予防)訪問入浴介護	1	1	0	0	0	0	0	0
(介護予防)訪問看護	8	4	1	0	1	5	0	0
(介護予防)訪問リハビリテーション	1	1	0	0	0	0	0	0
(介護予防)居宅療養管理指導	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護(デイサービス)	9	7	1	1	1	1	0	0
(介護予防)通所リハビリテーション	1	1	0	0	0	0	0	0
(介護予防)短期入所生活介護	2	1	1	0	0	0	0	0
(介護予防)短期入所療養介護	1	1	0	0	0	0	0	0
(介護予防)特定施設入居者生活介護	2	2	0	0	0	0	0	0
(介護予防)福祉用具貸与	3	1	1	0	0	1	0	0
(介護予防)福祉用具販売	3	1	1	0	0	1	0	0
居宅介護支援	10	3	3	1	1	2	0	0
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	0	0	0	0	0	0	0	0
夜間対応型訪問介護	0	0	0	0	0	0	0	0
地域密着型通所介護	1	1	0	0	0	0	0	0
(介護予防)認知症対応型通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0
(介護予防)小規模多機能型居宅介護	0	0	0	0	0	0	0	0
(介護予防)認知症対応型共同生活介護	0	0	0	0	0	0	0	0
地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	0	0	0	0	0	0
地域密着型介護老人福祉施設・入所者生活介護	0	0	0	0	0	0	0	0
看護小規模多機能型居宅介護	0	0	0	0	0	0	0	0
介護老人福祉施設	0	0	0	0	0	0	0	0
介護老人保健施設	1	1	0	0	0	0	0	0
介護医療院	1	1	0	0	0	0	0	0
訪問型サービスA	4	0	2	2	0	1	0	1
通所型サービスA	3	2	1	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0

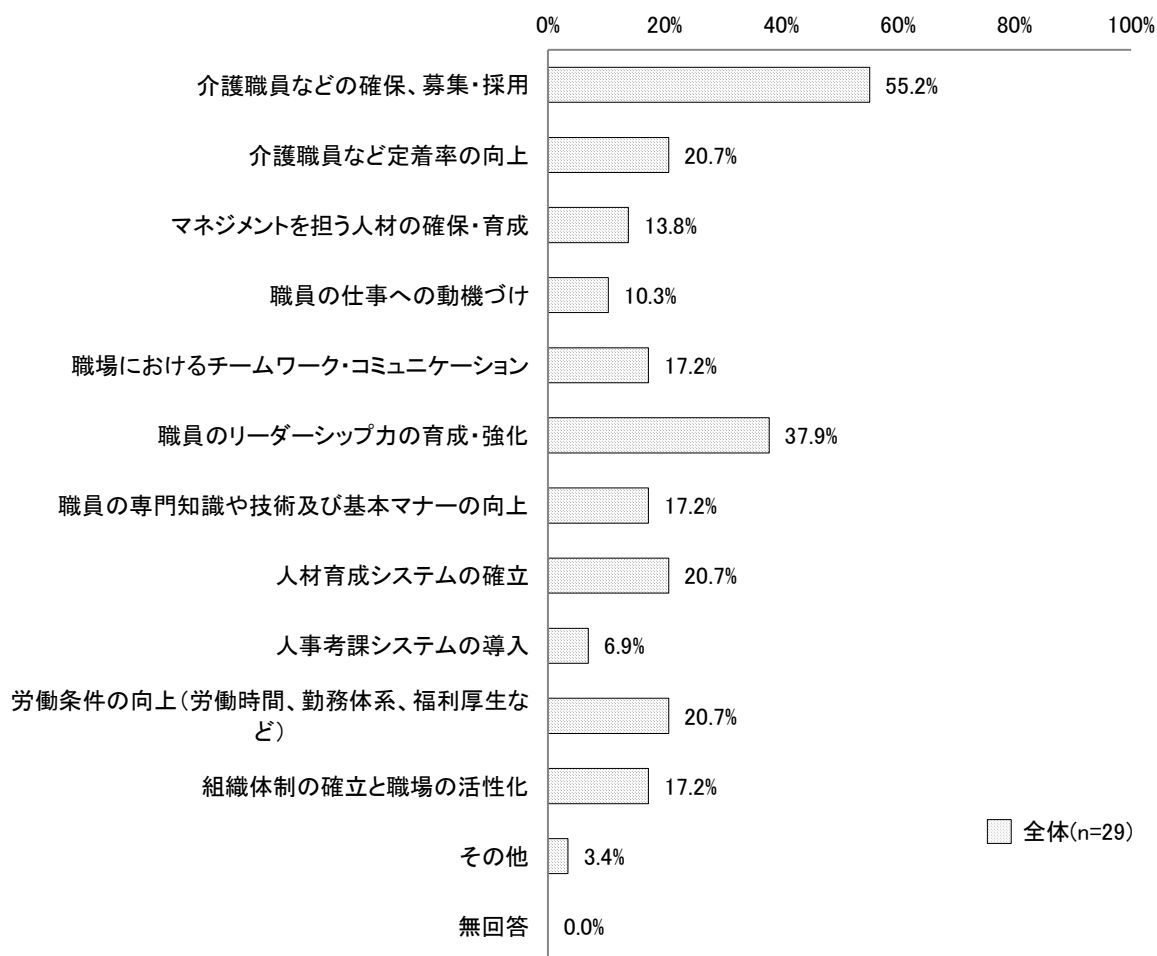
※表内の数字は回答法人数を示している

(2) 人材確保・育成について

人材マネジメント上の問題

問2(1) 貴法人では、人材マネジメント上、どのような問題を抱えていますか。(〇は3つまで)

「介護職員などの確保、募集・採用」が 55.2%でもっとも割合が高く、次いで「職員のリーダーシップ力の育成・強化」が 37.9%、「介護職員など定着率の向上」「人材育成システムの確立」「労働条件の向上(労働時間、勤務体系、福利厚生など)」が 20.7%となっている。

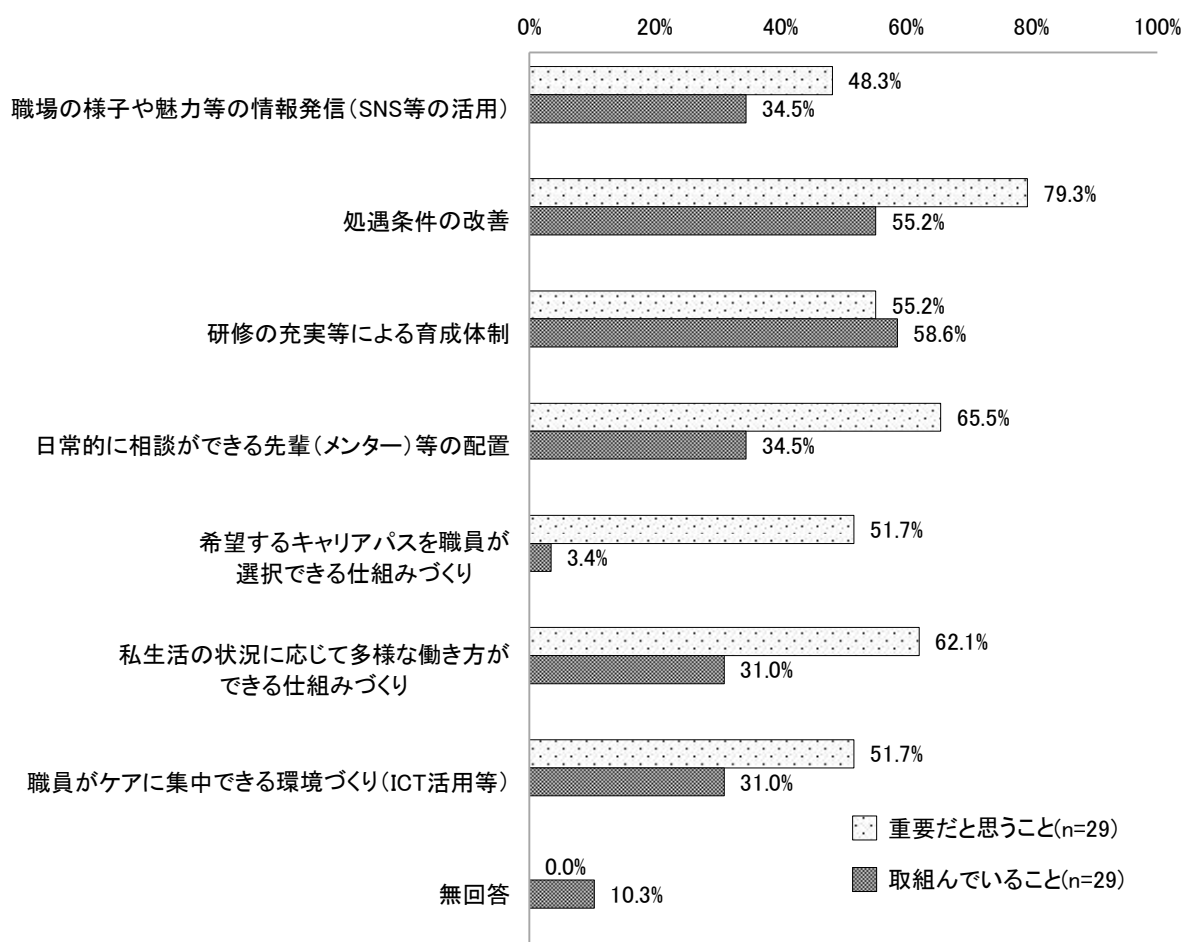


人材の確保・定着・育成に関する考えや取組

問2(2) 人材の確保・定着・育成に関して、貴法人のお考えや取組状況をお教えてください。

重要だと思うことについては、「処遇条件の改善」が79.3%でもっとも割合が高く、次いで「日常的に相談ができる先輩(メンター)等の配置」が65.5%、「私生活の状況に応じて多様な働き方ができる仕組みづくり」が62.1%となっている。

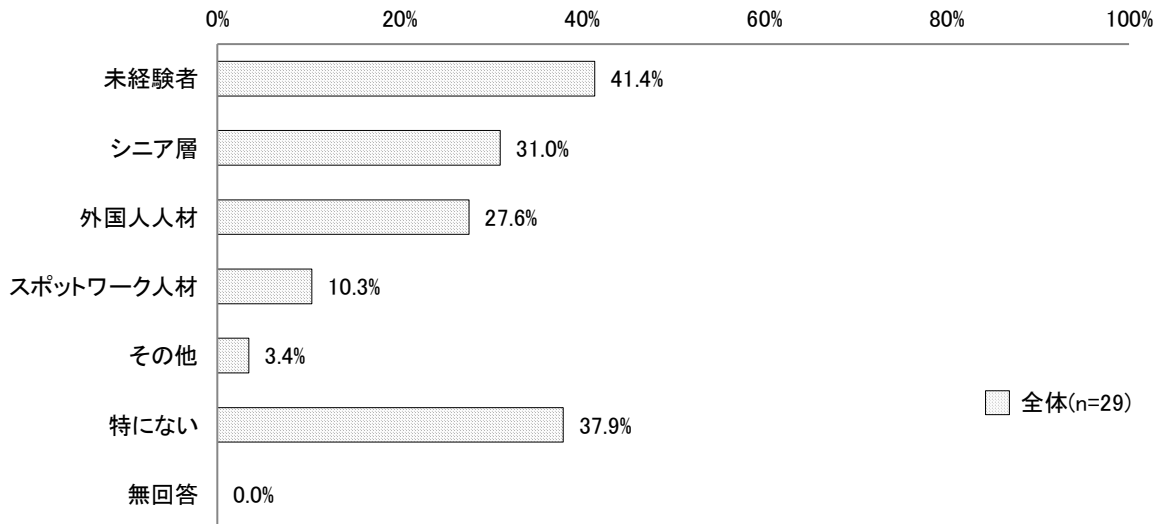
取組んでいることについては、「研修の充実等による育成体制」が58.6%でもっとも割合が高く、次いで「処遇条件の改善」が55.2%、「職場の様子や魅力等の情報発信(SNS等の活用)」が48.3%となっている。



多様な人材の受入れについて

問2(3) 多様な人材の受入れについて、貴法人において積極的に受入れを行っている人材をお教えてください。(複数回答可)

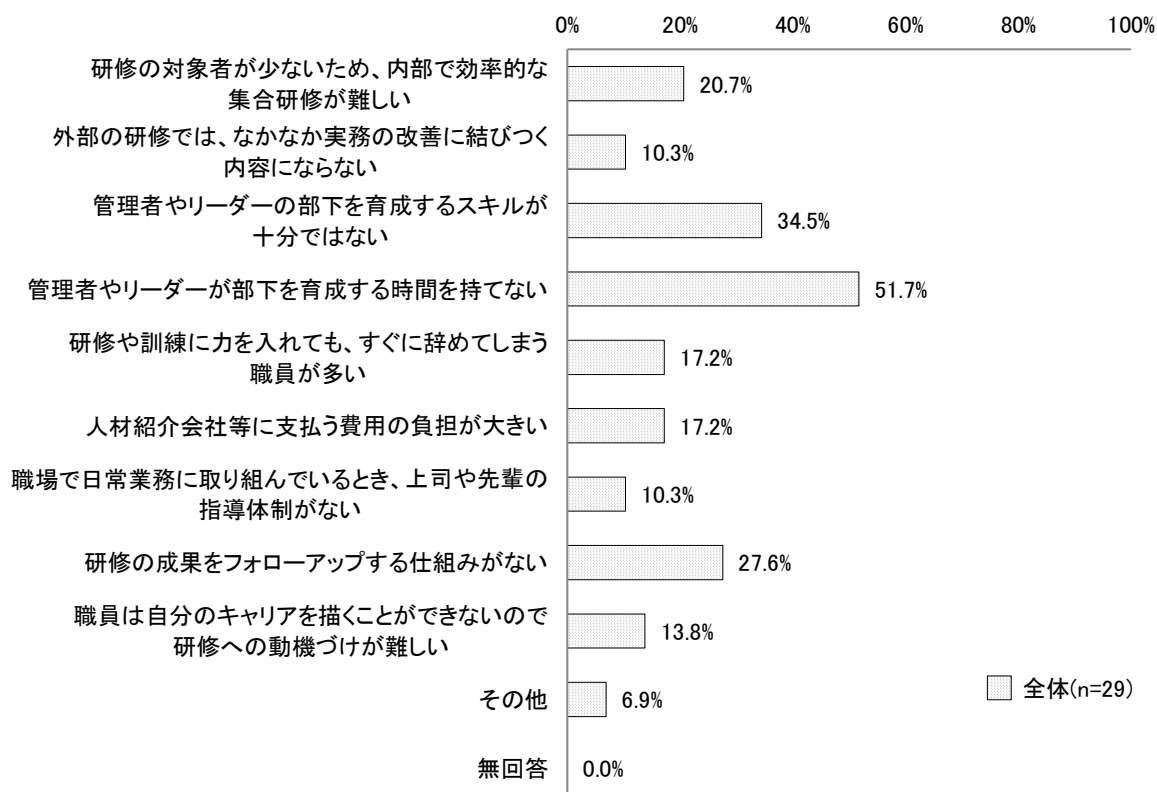
「未経験者」が41.4%でもっとも割合が高く、次いで「特にない」が37.9%、「シニア層」が31.0%となっている。



人材育成等に取り組む際の課題

問2(4) 貴法人では、人材育成等に関してどのような課題がありますか。(〇は3つまで)

「管理者やリーダーが部下を育成する時間を持ってない」が 51.7%でもっとも割合が高く、次いで「管理者やリーダーの部下を育成するスキルが十分ではない」が 34.5%、「研修の成果をフォローアップする仕組みがない」が 27.6%となっている。



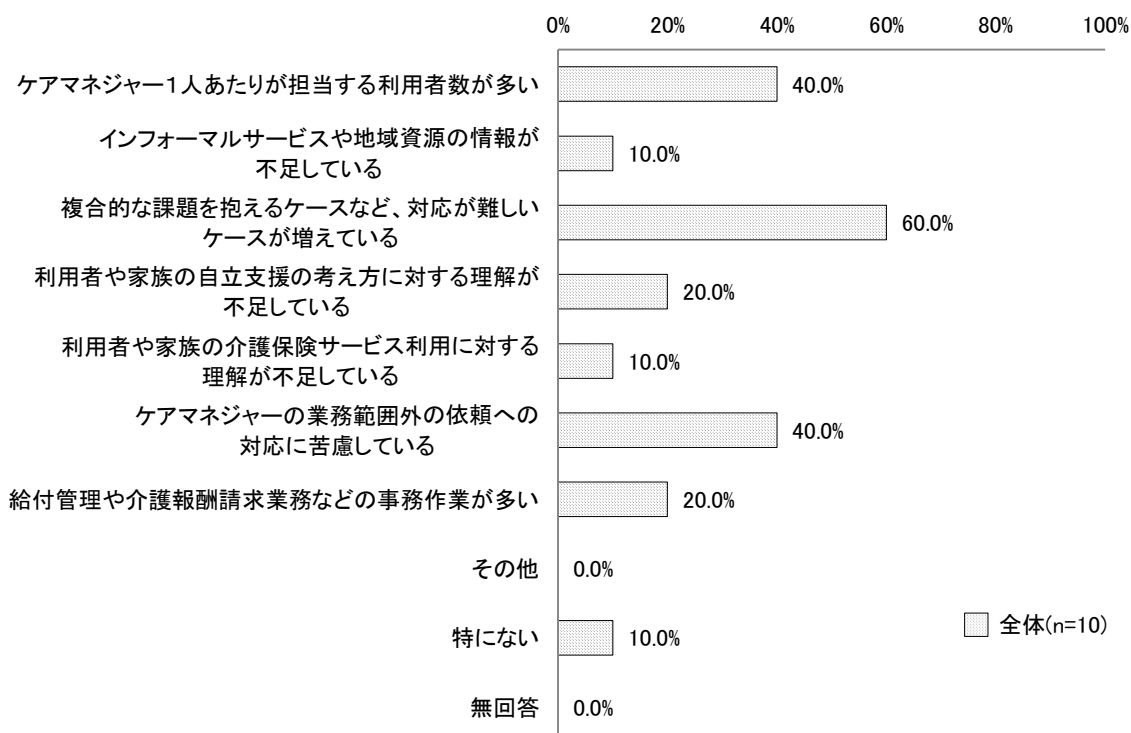
(3) 事業所運営について

居宅介護サービス計画作成時の問題点

※居宅介護支援事業所のある法人のみお聞きします。

問3(1) 居宅介護サービス計画作成するにあたって、問題があると考えているのは、どのようなことですか。(〇は3つまで)

「複合的な課題を抱えるケースなど、対応が難しいケースが増えている」が 60.0%でもっとも割合が高く、次いで「ケアマネジャー1人あたりが担当する利用者数が多い」「ケアマネジャーの業務範囲外の依頼への対応に苦慮している」が 40.0%、「利用者や家族の自立支援の考え方に対する理解が不足している」「給付管理や介護報酬請求業務などの事務作業が多い」が 20.0%となっている。

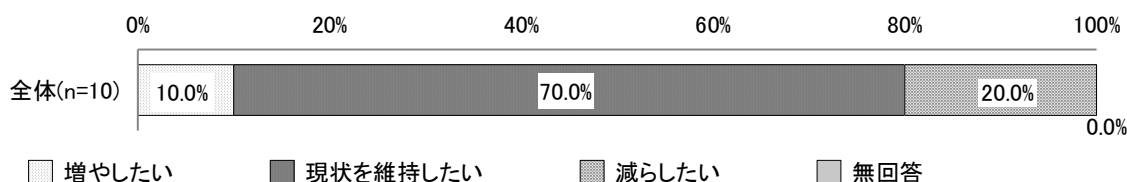


介護予防サービス計画を担当することについて

※居宅介護支援事業所のある法人のみお聞きします。

問3(2) 要支援認定者・事業対象者の介護予防サービス計画を担当(委託を含む)することについて、どのようにお考えですか。

「増やしたい」が 10.0%、「現状を維持したい」が 70.0%、「減らしたい」が 20.0%となっている。

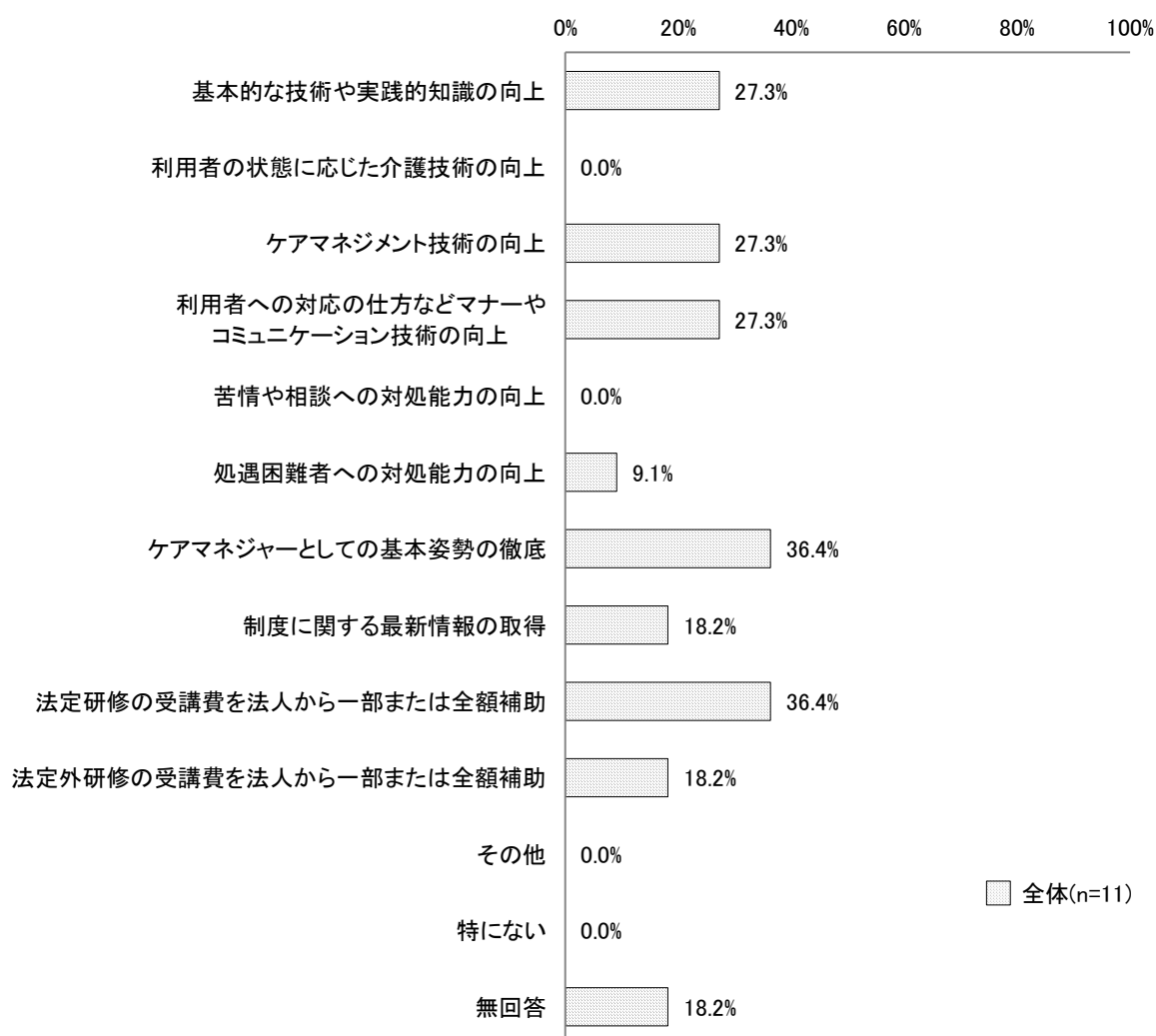


ケアマネジャーの質の確保等のために重視していること

※居宅介護支援事業所及び施設サービス事業所のある法人のみお聞きします。

問3(3) 貴法人では、ケアマネジャーの質の確保・向上を図るために、特にどのような点を重視して取り組んでいますか。(〇は3つまで)

「ケアマネジャーとしての基本姿勢の徹底」「法定研修の受講費を法人から一部または全額補助」が36.4%でもっとも割合が高く、次いで「基本的な技術や実践的知識の向上」「ケアマネジメント技術の向上」「利用者への対応の仕方などマナーやコミュニケーション技術の向上」が27.3%、「制度に関する最新情報の取得」「法定外研修の受講費を法人から一部または全額補助」が18.2%となっている。

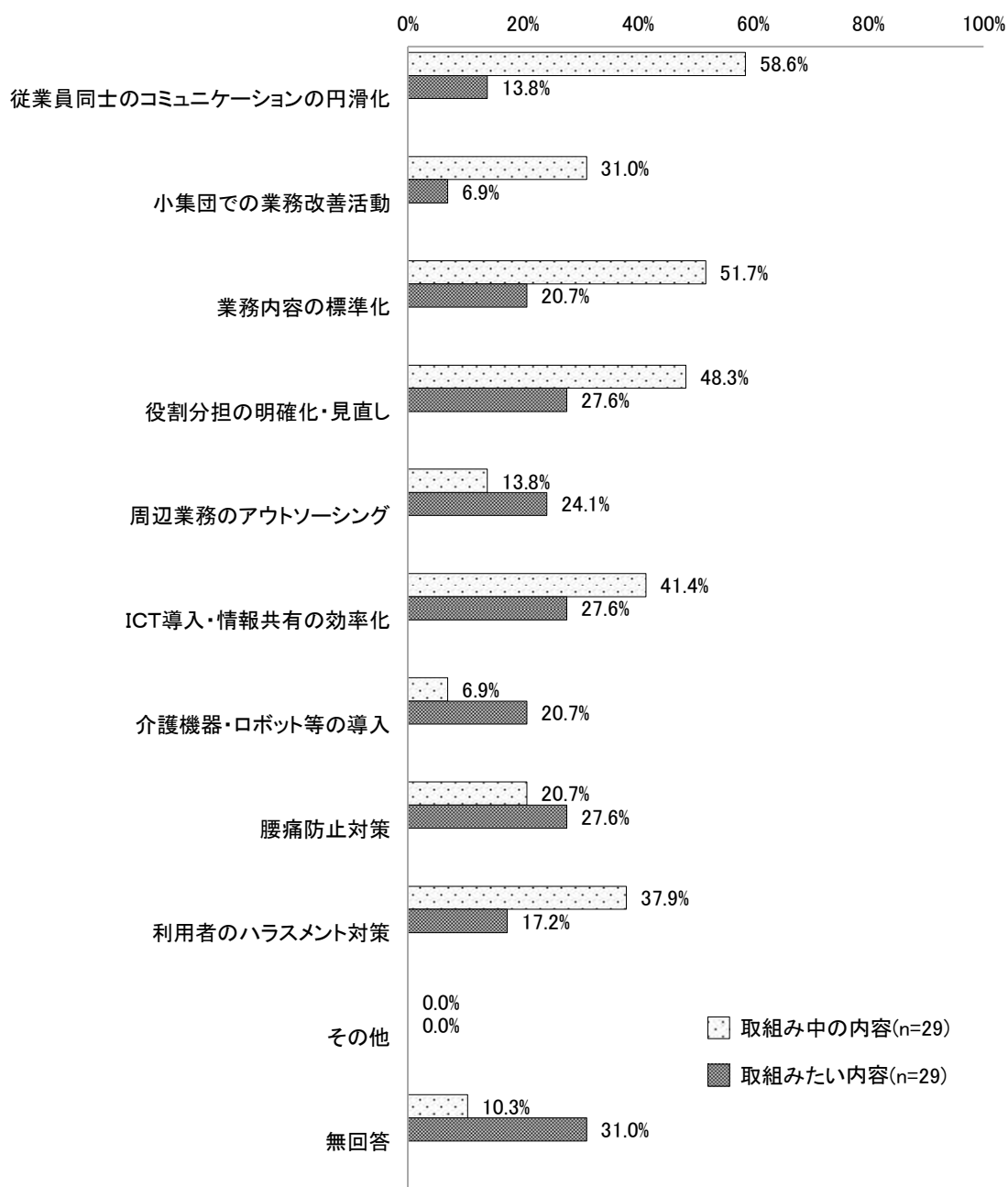


業務効率化に向けての取り組み

問3(4) 業務の効率化や生産性向上に向けて、すでに取り組んでいるものはありますか。またどのようなことに取り組みたいですか。(複数回答可)

取組み中の内容では、「従業員同士のコミュニケーションの円滑化」が58.6%でもっとも割合が高く、次いで「業務内容の標準化」が51.7%、「役割分担の明確化・見直し」が48.3%となっている。

取組みたい内容では、「役割分担の明確化・見直し」「ICT導入・情報共有の効率化」「腰痛防止対策」が27.6%でもっとも割合が高く、次いで「周辺業務のアウトソーシング」が24.1%、「業務内容の標準化」「介護機器・ロボット等の導入」が20.7%となっている。

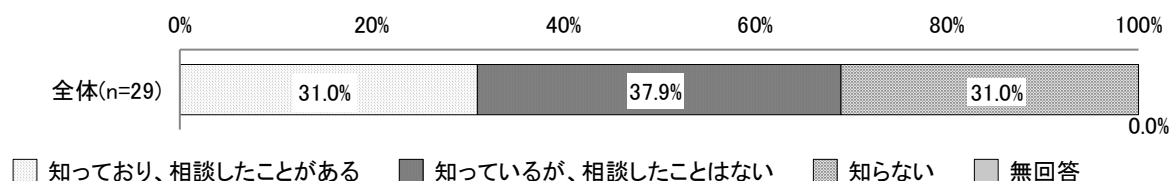


(4) 地域連携・市の施策について

生活支援コーディネーター(社協)への相談

問4(1) 社会資源に関する相談を生活支援コーディネーター(社協)に相談できることを知っていますか。(○は1つ)

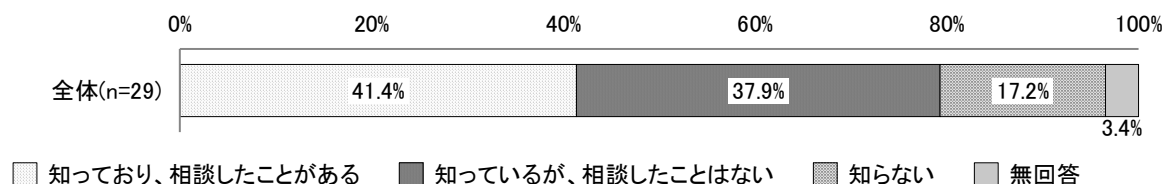
「知っているが、相談したことはない」が 37.9%でもっとも割合が高く、次いで「知っており、相談したことがある」「知らない」が 31.0%となっている。



海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター(あまさぼ)の知名度

問4(2) 海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター(あまさぼ)を知っていますか。(○は1つ)

「知っており、相談したことがある」が 41.4%でもっとも割合が高く、次いで「知っているが、相談したことはない」が 37.9%、「知らない」が 17.2%となっている。



海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター(あまさぼ)に期待すること

問4(3) 海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター(あまさぼ)の役割として今後の充実を期待することがあれば具体的に記載してください。(自由記述)

海部医療圏在宅医療・介護連携支援センター(あまさぼ)の役割に対する意見・要望として、3件の自由記述回答があった。そのうちの主な意見を抜粋して掲載する。

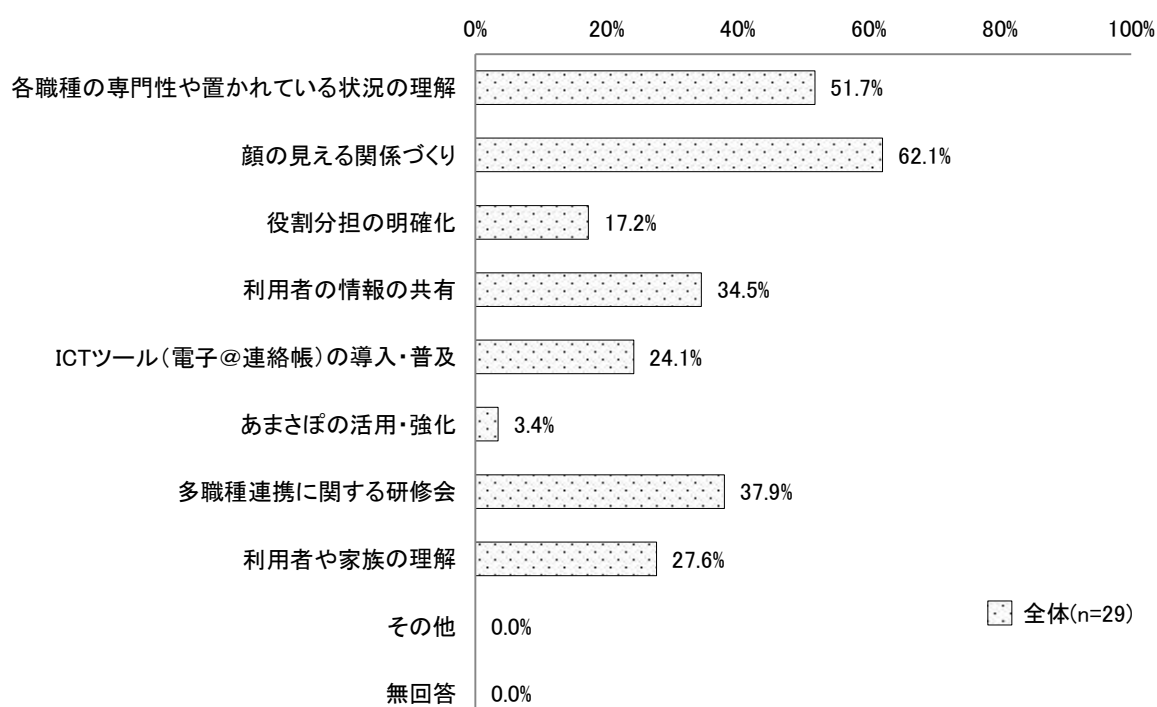
主な意見

- ・ 医療と介護のスムーズで負担の少ない連携。
- ・ 医療と介護の連携は取れているようで、実際には取れていないと感じる事が多くあります。どうしたら連携がとりやすくなるのでしょうか。

多職種連携について

問4(4) 多職種の連携を進めるために、特に何が必要だと考えますか。(〇は3つまで)

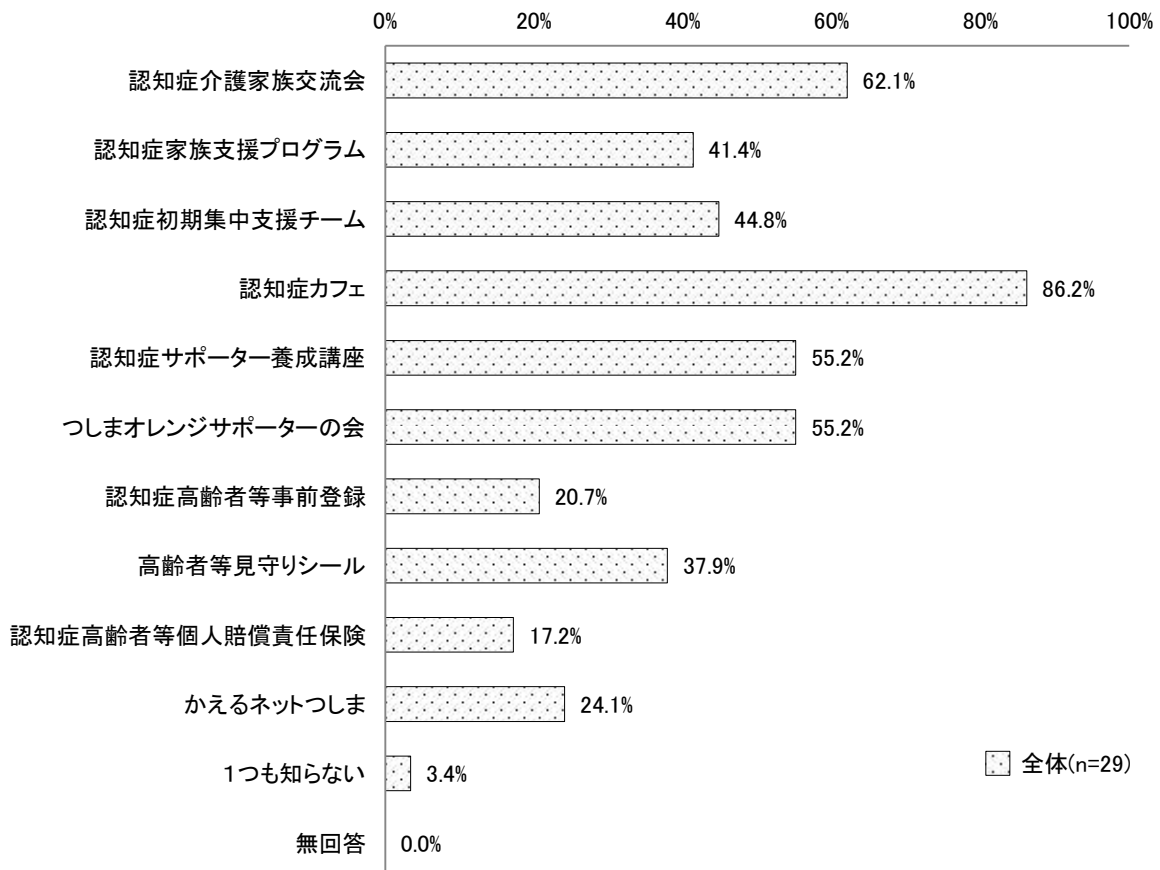
「顔の見える関係づくり」が62.1%でもっとも割合が高く、次いで「各職種の専門性や置かれている状況の理解」が51.7%、「多職種連携に関する研修会」が37.9%となっている。



認知症に関する取組について

問4(5) 認知症に関する以下の取組について知っていますか。(複数回答可)

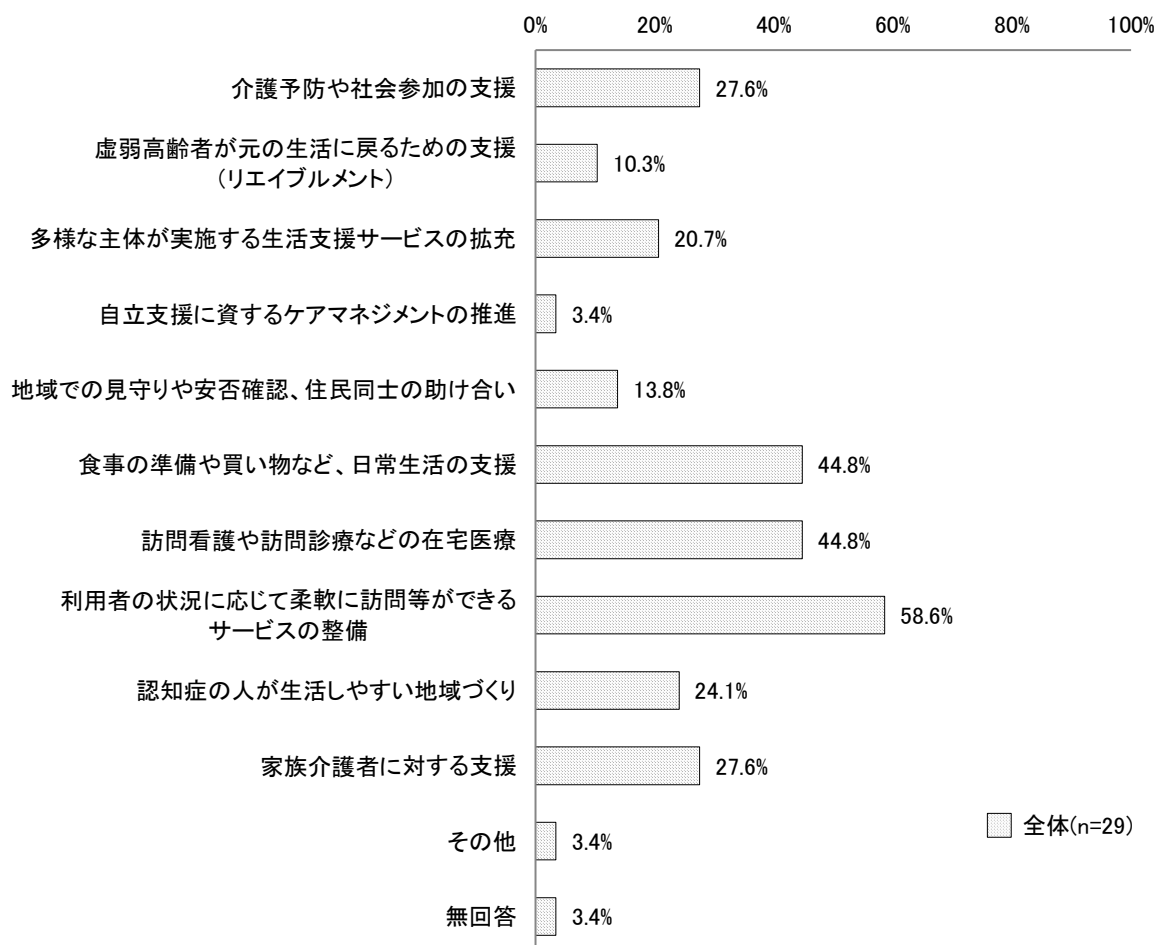
「認知症カフェ」が86.2%でもっとも割合が高く、次いで「認知症介護家族交流会」が62.1%、「認知症サポーター養成講座」「つしまオレンジサポーターの会」が55.2%となっている。



第10期計画期間で充実すべき内容

介護を必要とする方ができる限り長く在宅生活を営むために、津島市では、第10期計画期間(令和9年度～令和11年度)に、特にどのようなことの充実を図る必要があるとお考えですか。(〇は3つまで)

「利用者の状況に応じて柔軟に訪問等ができるサービスの整備」が58.6%でもっとも割合が高く、次いで「食事の準備や買い物など、日常生活の支援」「訪問看護や訪問診療などの在宅医療」が44.8%、「介護予防や社会参加の支援」「家族介護者に対する支援」が27.6%となっている。



介護・高齢者福祉に対する意見・要望

問4(7) その他、介護・高齢者福祉に関することをご意見がありましたら、ご自由に記入してください。

介護・高齢者福祉に対する意見・要望として、6件の自由記述回答があった。そのうちの主な意見を抜粋して掲載する。

主な意見

- ・ 津島市内の交通の便が悪く、津島市のルールで買い物支援が難しいと、家庭関係が良くない家での支援で困る事が多い。
- ・ 配食サービス利用まで許可に時間がかかり、急な退院決定の際に困る事がある。
- ・ 独居、高齢者世帯など、書類の理解、申請書類の提出などのケアマネジメント以外の支援が増えており、シャドウワークが多い。
- ・ 訪問介護は、スタッフ不足しており、支援があっても断わる現状です。運営が厳しい中でも何かしら行政から支援をいただき、サービスの担保ができるようにしてほしいです。
- ・ 小規模施設なのでアットホームだと初めて通所に通う方や、こまめにみてほしいというご家族の要望に応えている。居宅介護支援事業所を持っていないので、ほとんど個人のケアマネジャーからの紹介で利用者は少ない。物価高騰もあり経営的には不安定。「続けてほしい」と言われるが、在宅介護よりも施設介護に流れていっているのではないかと感じる。津島市は高齢化率も高いし、独居高齢者も多いのに、あまり福祉に力を入れていないような気がする。利用者さんもご家族も、最期まで家にいたいと言われるけど、今の時代は難しいのかと考える。津島市独自のものを作っても良いと思う。

5 調査結果のまとめ

(1) 在宅生活の継続

○介護に対する意識

- ・ 一般高齢者の 45.8%が「できるかぎり自宅に住みながら介護サービスを利用したい」と回答し、前回調査から約4ポイント増加した。また、「自宅」で最期を迎えたいと考える人は 45.3%となっているが、前回調査よりも5ポイント減少した。
- ・ 要介護認定者においても、「なるべく家族のみで、自宅で介護してもらいたい」、「介護保険制度のサービス(ホームヘルパー等)や福祉サービス等を活用しながら自宅で介護してもらいたい」との回答が 56.4%であった。一方で、高齢者住宅や介護施設への入居・入所を望む回答が 27.6%であり、その理由としては、「家族に負担をかけたくない(負担になる)から」、「ひとり暮らし(または高齢者世帯)であり、在宅の生活に不安を感じるから」、「自宅では、急な容態変化や介護者の都合などの緊急時の対応の面で不安だから」の順に割合が高かった。

○介護者の状況

- ・ 要介護認定者の介護者のうち、35.4%が 70 歳以上であった。また、被介護者が 85 歳以上で介護者が 80 歳以上は 12.9%であった。介護者の健康状態について、「要支援・要介護の認定は受けていないが、健康上の問題を抱えている」、「要支援の認定を受けている」、「要介護の認定を受けている」を合算すると 38.3%であった。
- ・ 介護者が不安を感じる介護としては、「認知症状への対応」、「夜間の排泄」、「日中の排泄」の順に割合が高かった。また、介護を断念し、入所を検討する理由としては、「認知症等による問題行動が多くなったとき」、「排泄(の介護)がむずかしくなったとき」の順に割合が高かった。
- ・ 今後の就労について、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」を合算すると 10.8%であった。

○在宅生活の継続にむけて必要な支援

- ・ 一般高齢者が市に望む介護体制の充実内容は、「自宅でも治療が受けられる在宅医療の充実」、「在宅介護サービスの充実」の順に割合が高かった。
- ・ 介護者が回答した在宅生活の継続に必要なサービスは、「必要な時にいつでもショートステイや宿泊サービスが利用できること」、「デイサービス等の通所サービスを必要な時に利用できること」の順に割合が高かった。

■調査結果の考察

- ・ 介護が必要になっても自宅で必要なサービスを利用しながら暮らし続けることを望む高齢者が多く、こうした在宅志向は前回よりも強まっている。一方で、家族の介護負担への配慮や急変時の不安などから、高齢者住宅や施設への入居・入所を検討する状況も確認された。
- ・ 介護者の高齢化が進み、介護者自身も健康上の問題を抱えているケースは今後も増加することが予測される。在宅介護を断念する理由として、認知症や排泄に係る介護などが多くなっている一方で、認知症家族介護支援プログラム等の認知度は低い水準にとどまっている。
- ・ 今後、介護が必要な高齢者が増加するなかで、高齢者の望む暮らしと介護者の不安・負担軽減を実現するためには、適切なアセスメントのもとで必要な介護保険サービスが提供される体制を確保するとともに、地域に根差した民間企業や民生委員と連携し、柔軟なサービスの利用につなげていく必要がある。

(2) 社会参加・介護予防

○外出・心身の状況

- ・ 外出頻度は年齢が上がるにつれて低下しており、85 歳以上では「週1回以下」が 36.3%であった。
- ・ 外出を控えている割合は、前回調査と比較して7ポイント減少した。また、外出を控えている理由は、年齢が上がるにつれて、「足腰などの痛み」や「交通手段がない」の割合が高かった。
- ・ 3年前と比べた健康状態は、外出頻度が多いほど「変わっていない」の割合が高く、「悪くなっている」の割合が低かった。
- ・ 就労している人の割合は、65～74 歳で 46.0%、75～84 歳で 20.6%、85 歳以上で 11.5%であった。高齢者の 64.9%が「メールや SNS を使い、家族や友人・知人と連絡をとる」と回答しており、85 歳以上に限定しても3割を超えていた。

○活動への参加意向

- ・ 地域づくり活動に参加している、または、参加意向がある高齢者は約5割で、企画・運営として参加意向がある人は約3割であった。前回調査と比較して、どちらも微増傾向がみられた。
- ・ 会やグループに参加していない理由は、「多くの人が集まる場が苦手」、「会・グループ等の情報を知らない」の順に割合が高く、特に前期高齢者ではこれらの回答割合が高かった。
- ・ ボランティアへの参加について、前期高齢者では「多少の報酬があるなら、参加してみたい」の割合が、「報酬がなくても、参加してみたい」よりも高かった。
- ・ 参加してみたいボランティア活動の内容は、「日常生活の手伝い」、「災害時の安否確認」、「地域での高齢者の会食や憩いの場づくり」の順に割合が高かった。
- ・ 住民主体の場合への参加意向は、「家から通いやすい場所にある」の割合が最も高かった。

■調査結果の考察

- ・ 全国的にも就労している高齢者が増加するなか、今回の調査においても前期高齢者では半数近くが就労していることがわかった。一方で、加齢とともに足腰の痛みや交通手段などが障壁となり、徐々に外出頻度が低下していく状況が確認された。外出や人との交流などは介護予防に寄与する要素であるため、高齢者ができるだけ長く、社会参加を続けられる環境を作っていく必要がある。
- ・ 在宅生活の継続には医療・介護のみではなく生活支援も重要となる。元気な高齢者が助け合いやボランティア活動に参加することで担い手となり、また、そうした活動が自身の介護予防になるといった好循環を実現していくことが望まれる。そのためには、身近な地域で集まることのできる場づくりや高齢者の意向をふまえた活躍の機会を作っていくことが重要である。
- ・ 就労割合の上昇やスマートフォン等の普及による情報アクセスの向上などにより、暮らしの選択肢は増え、高齢者の生活は多様化している。こうした社会の変化をふまえ、介護予防事業の内容や仕組み等を柔軟に見直し、社会参加の機会が減少する年代へのアプローチを積極的に推進していく必要がある。

(3) 認知症

○要介護認定者の状況

- ・ 介護が必要になった主な原因としては、「認知症」が 39.8%と最も割合が高かった。

○相談・介護

- ・ 認知症に関する相談窓口を知っている人は、一般高齢者の 22.5%であり、前回調査と概ね同等とであった。
- ・ 介護者が知りたいことについて、「認知症など、精神的な症状に関する知識・対応方法」は 33.0%であり、「介護保険制度や利用できるサービス」に次いで2番目に割合が高かった。
- ・ 介護者が不安に感じる介護は、「認知症状への対応」が 39.1%と最も割合が高かった。
- ・ また、介護を断念し、入所を検討する理由としては、「認知症等による問題行動が多くなったとき」が 66.7%と最も割合が高かった。特に要介護1・2では、こうした傾向が強くみられた。

○認知症施策

- ・ 市の認知症施策について、「1つも知らない」と回答した人は要介護認定者を介護する人の約4割であった。また、被介護者が認知症自立度Ⅲ以上の場合、認知症施策の認知度は高くなる傾向がみられた。
- ・ 「認知症家族交流会」、「認知症カフェ」は約2割の認知度である一方で、「認知症初期集中支援チーム」、「認知症高齢者等個人賠償責任保険」、「認知症家族支援プログラム」などは5%前後であった。

■調査結果の考察

- ・ 要介護認定者において、介護が必要となった主な原因は認知症が最も上位であった。認知症の有病率は加齢とともに高まるため、軽度認知障害(MCI)を含め、今後認知症の人が増えることが予測される。そのため、認知機能の低下が疑われる方に対して、病状や生活状況に応じて適切な認知症施策につなげて支援することが必要である。
- ・ また、適切な支援につながるためには、本人や家族が相談窓口や市の施策について把握していることが重要である。そのため、認知症の相談窓口をはじめ、認知症カフェや家族支援の施策などについて、周知・広報を一層推進していくことが求められる。
- ・ さらに、介護者が不安に感じる介護や在宅介護を断念する要因として、認知症への対応は重要なキーワードとしてあがっていることから、介護者の不安・負担について具体的に把握したうえで、その軽減に資する支援を進める必要がある。
- ・ 上記を含め、認知症の人が希望を持って暮らせる地域づくりを進めるためには、市民一人ひとりが認知症について正しく理解し、「自分ごと」として考えることが重要であり、普及・啓発活動を継続的に実施していく必要がある。

高齢者介護に関する調査
(介護予防・日常生活圏域二一ズ調査、在宅介護実態調査、法人調査)
調査結果報告書

発行年月 令和8年3月

発行 津島市

編集 津島市 福祉部 高齢介護課

〒496-8686 愛知県津島市立込町2丁目 21 番地

TEL:0567-24-1118(直通)

FAX:0567-24-1791